

令和7年度  
中央区の福祉施策の充実に関する調査  
(中央区障害者(児)実態調査)

【調査結果報告書(概要版)】

令和8(2026)年3月





# 目 次

第 1 章	調査概要	1
1	調査目的	2
2	調査種別と対象者	2
3	対象者数と実施方法	3
4	調査期間	4
5	配布数と回収結果	4
6	報告書の見方	5
第 2 章	調査結果（身体障害者・難病患者・知的障害者・精神障害者）	7
1	本人について	8
2	住まいについて	14
3	日常生活の中での介助について	16
4	相談について	18
5	障害福祉サービスについて	27
6	医療について	37
7	就労・経済状況について	39
8	社会参加・文化余暇活動の状況について	45
9	権利擁護について	48
10	障害等の理解について	51
11	今後の区取組について	54
第 3 章	調査結果（子ども）	57
1	お子さんと家族の状況について	58
2	通園・通学の状況について	59
3	サービスの利用状況について	61
4	主たる養育者の状況について	67
5	相談について	69
6	子どもの育ち等への理解について	71
7	子どもの将来について	78
8	今後の区取組について	79
第 4 章	調査結果（障害福祉サービス事業所）	83
1	事業所について	84
2	事業運営・サービス提供について	88
3	介護保険サービスについて	93
4	中央区への意見	94



# 第 1 章

## 調査概要

第 1 章  
調査概要

第 2 章  
調査結果  
(①身体障害者  
・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第 3 章  
調査結果  
(④子ども)

第 4 章  
調査結果  
(⑤障害福祉  
サービス  
事業所)

## 1 調査目的

本調査は、令和8年度をもって満了となる「障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画」の改定に向けて、計画改定の基礎資料とするため、区内在住の障害者（児）の生活状況や生活に対する意識・意向や子どもの育ち等に関する相談の実態、区民が利用している障害福祉サービス事業所の意識・意向等を把握することを目的に実施しました。

## 2 調査種別と対象者

調査種別	対象者
①身体障害者・難病患者	令和7年8月1日現在、区内在住の18歳以上の身体障害者手帳所持者および難病患者福祉手当受給者
②知的障害者	令和7年8月1日現在、区内在住の18歳以上の愛の手帳所持者
③精神障害者	令和7年8月1日現在、区内在住の18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者および自立支援医療（精神通院）受給者
④子ども	令和7年8月1日現在、区内に在住する0歳から18歳（高校3年生の学年）の子のうち、以下に該当する子を持つ保護者 【内訳】 ア．障害福祉サービス等受給者証取得児 イ．障害者手帳（身体、知的、精神）取得児 ウ．特別支援学級・特別支援教室・通級指導学級在籍児
⑤障害福祉サービス事業所	区内の障害福祉サービスを提供している事業所および区外の障害福祉サービスを提供している事業所のうち、令和7年度に区民の1か月あたりの利用者が5人以上利用した事業所

### 3 対象者数と実施方法

調査種別	対象者数 (令和7年 8月1日現在)	配布数	調査方法
①身体障害者・難病患者	3,606	1,062	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無作為抽出</li> <li>・郵送配布・回収の調査</li> <li>・督促を兼ねた礼状はがきを1回送付</li> </ul>
②知的障害者	304	304	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆調査</li> <li>・郵送配布・回収の調査</li> <li>・督促を兼ねた礼状はがきを1回送付</li> </ul>
③精神障害者	2,164	1,371	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無作為抽出</li> <li>・郵送配布・回収の調査</li> <li>・督促を兼ねた礼状はがきを1回送付</li> </ul>
④子ども	1,234	1,234	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆調査</li> <li>・対象者のア、イは郵送配布・回収、ウは学校を通じた配布、郵送回収の調査</li> <li>・対象者のア、イは督促を兼ねた礼状はがきを1回送付</li> </ul>
⑤障害福祉サービス事業所	127	127	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆調査</li> <li>・WEBによる調査</li> <li>・区内事業所はEメールによる回答ページへの案内</li> <li>・区外事業所は郵送による回答ページへの案内</li> </ul>

※身体障害者・難病患者、知的障害者、精神障害者の対象者抽出にあたり、重複して手帳及び受給者証を所持している場合は、対象者数が少ない調査に優先して振り分けを行っています。

第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

## 4 調査期間

令和7年9月4日（木）から令和7年9月26日（金）

## 5 配布数と回収結果

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
①身体障害者・難病患者	1,062	614	57.8%
②知的障害者	304	179	58.9%
③精神障害者	1,371	581	42.4%
④子ども	1,234	583	47.2%
⑤障害福祉サービス事業所	127	54	42.5%

## 6 報告書の見方

### ●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果を記載しています。

### ●「n」について

グラフ中の「n」とは、number of casesの略で、各設問に該当する回答者総数を表します。したがって、各選択肢の%に「n」を乗じることで、その選択肢の回答者が計算できます。

### ●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）の場合は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

### ●設問文・選択肢の記載について

設問文やグラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略や修正を行っています。

### ●「無回答」について

グラフ中において「無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。

## 第1章

調査概要

## 第2章

調査結果

- ①身体障害者  
・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

## 第3章

調査結果

- (④子ども)

## 第4章

調査結果

- (⑤障害福祉  
サービス  
事業所)



# 第2章

## 調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

# 1 本人について

問 あなたの令和7年9月1日現在の年齢を教えてください。

<身体障害者・難病患者 問2>

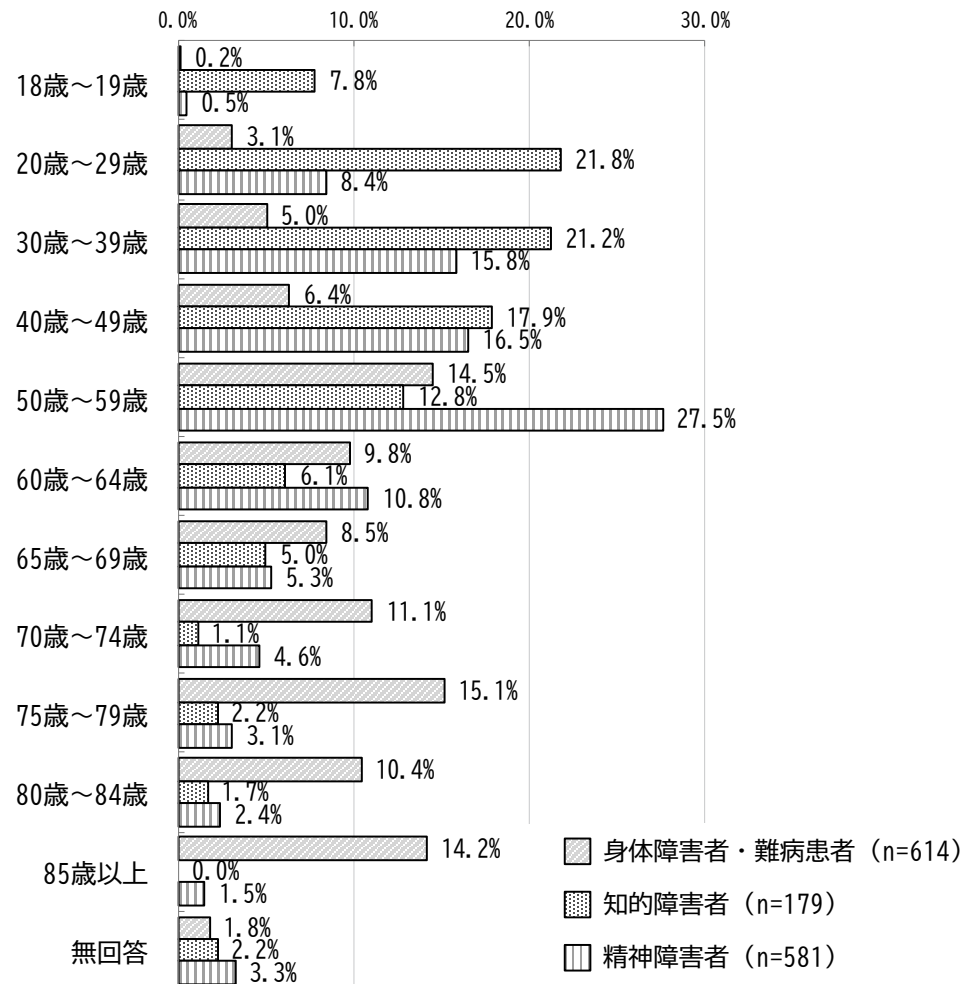
<知的障害者 問2>

<精神障害者 問2>

年齢について、身体障害者・難病患者では「75歳～79歳」が15.1%と最も高く、次いで「50歳～59歳」が14.5%、「85歳以上」が14.2%となっています。

知的障害者では「20歳～29歳」が21.8%と最も高く、次いで「30歳～39歳」が21.2%、「40歳～49歳」が17.9%となっています。

精神障害者では「50歳～59歳」が27.5%と最も高く、次いで「40歳～49歳」が16.5%、「30歳～39歳」が15.8%となっています。



問 あなたが持っている障害者手帳または医療受給者証などはどれですか。また、お持ちの手帳の障害の等級や程度の区分を選択してください。

<身体障害者・難病患者 問5>

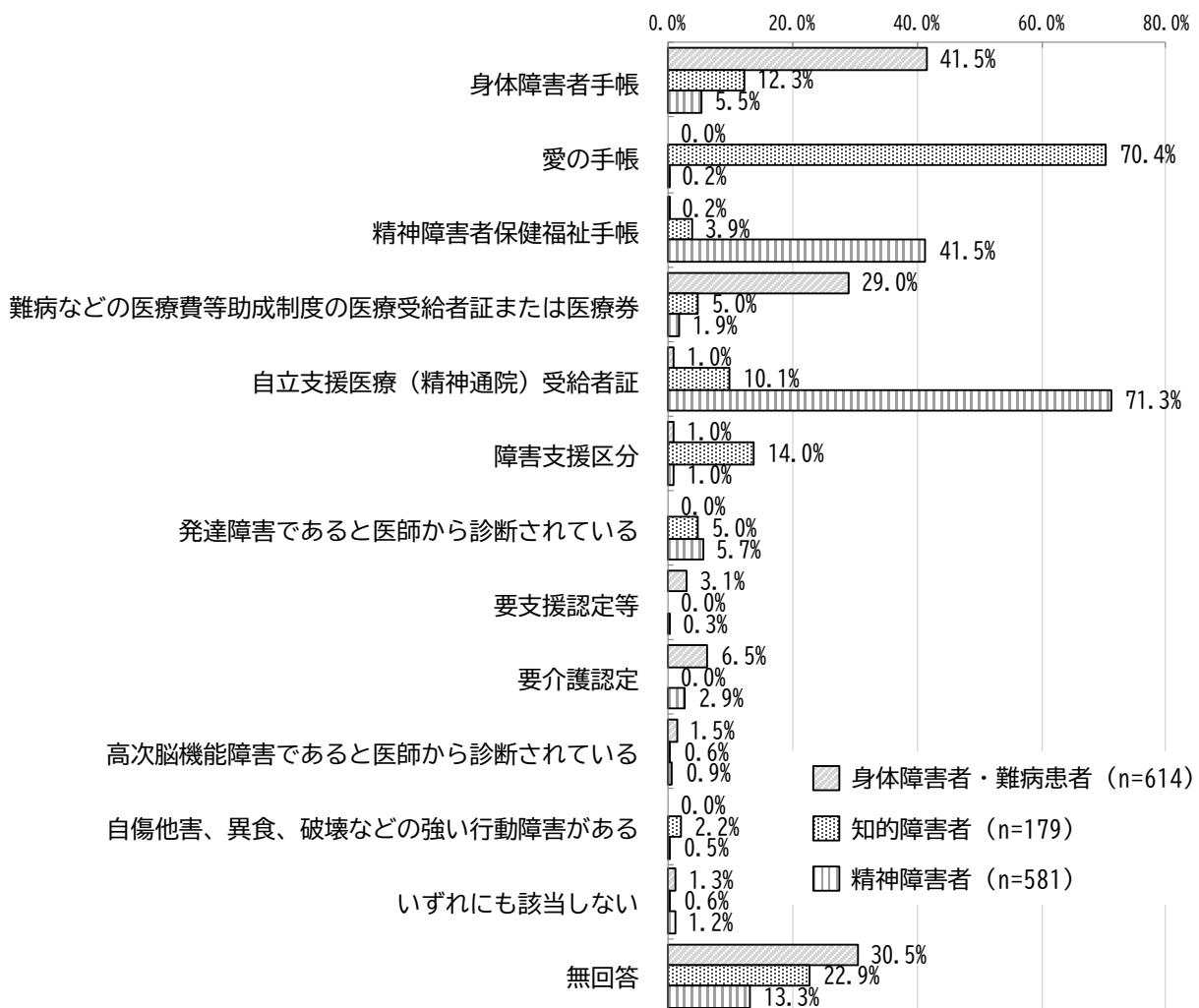
<知的障害者 問5>

<精神障害者 問5>

持っている手帳・医療受給者証の種類について、身体障害者・難病患者では「身体障害者手帳」が41.5%と最も高く、次いで「難病などに医療費等助成制度の医療受給者証または医療券」が29.0%、「要介護認定」が6.5%となっています。

知的障害者では「愛の手帳」が70.4%と最も高く、次いで「障害支援区分」が14.0%、「身体障害者手帳」が12.3%となっています。

精神障害者では「自立支援医療（精神通院）受給者証」が71.3%と最も高く、次いで「精神障害者保険福祉手帳」が41.5%、「発達障害であると医師から診断されている」が5.7%となっています。

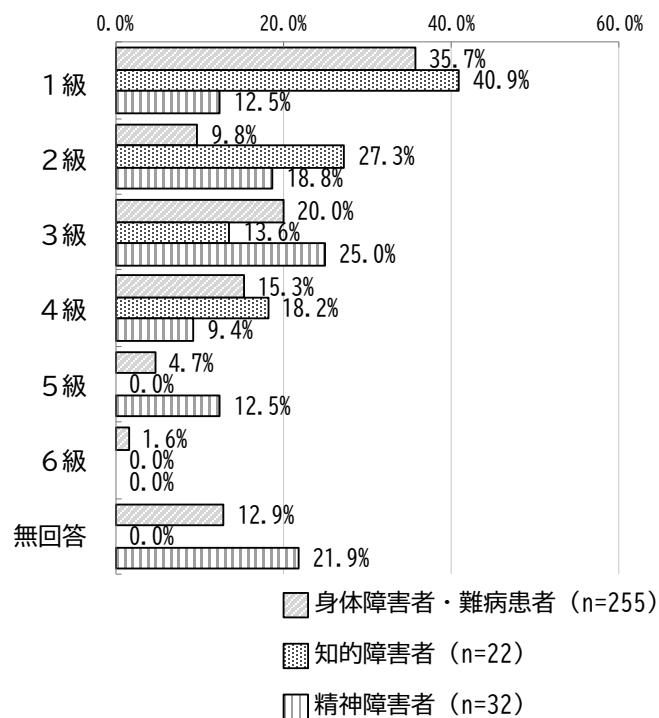


### ① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級について、身体障害者・難病患者では「1級」が35.7%と最も高く、次いで「3級」が20.0%、「4級」が15.3%となっています。

知的障害者では「1級」が40.9%と最も高く、次いで「2級」が27.3%、「4級」が18.2%となっています。

精神障害者では「3級」が25.0%と最も高く、次いで「2級」が18.8%、「1級」、「5級」が12.5%となっています。

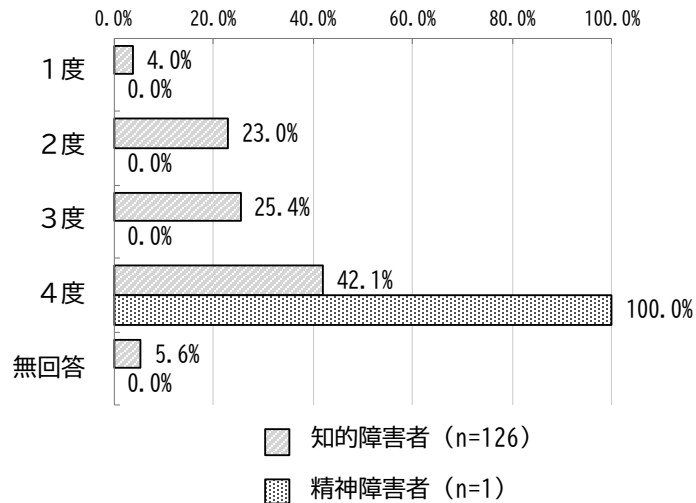


## ② 愛の手帳の等級

愛の手帳の等級について、身体障害者・難病患者では回答がありませんでした。

知的障害者では「4度」が42.1%と最も高く、次いで「3度」が25.4%、「2度」が23.0%となっています。

精神障害者では回答が1件となっています。

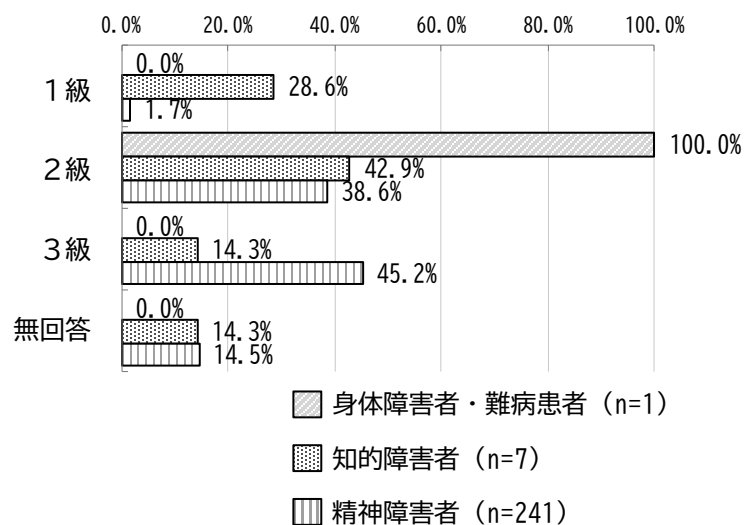


## ③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級について、身体障害者・難病患者では回答が1件となっています。

知的障害者では回答が7件となっています。

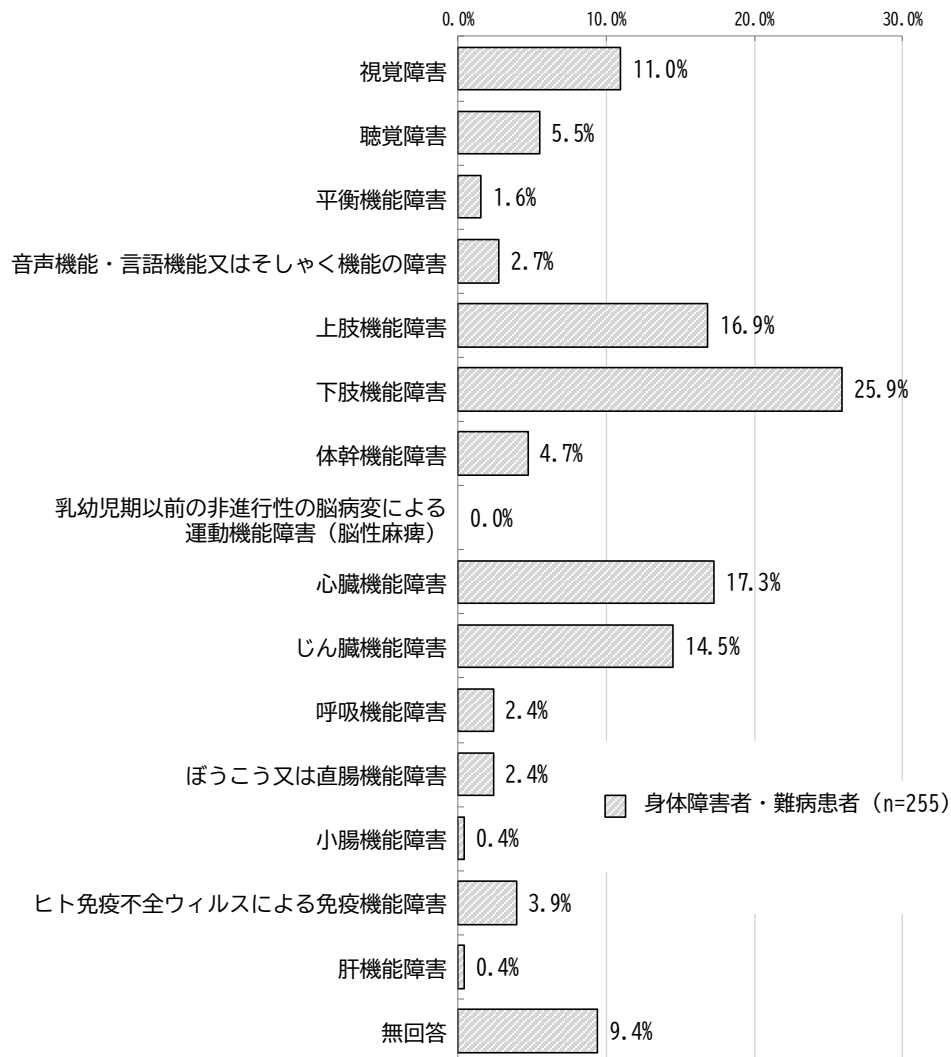
精神障害者では「3級」が45.2%と最も高く、次いで「2級」が38.6%、「1級」が1.7%となっています。



問 あなたの身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって、「1番目」と「2番目」を記入してください。

<身体障害者・難病患者 問5-1>

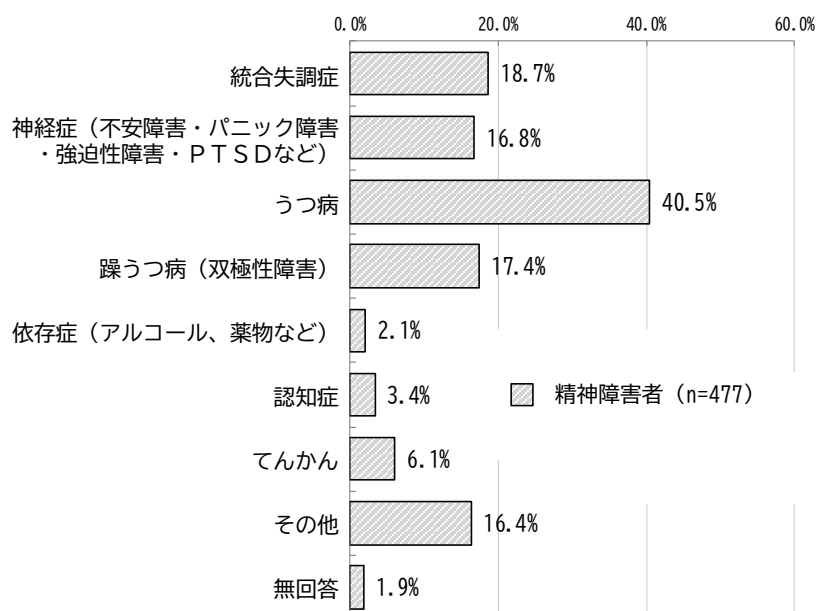
障害の種類について、身体障害者・難病患者では「下肢機能障害」が25.9%と最も高く、次いで「心臓機能障害」が17.3%、「上肢機能障害」が16.9%となっています。



問 かかっている疾患は次のどれですか。

<精神障害者 問5-1>

疾患の種類について、精神障害者では「うつ病」が40.5%と最も高く、次いで「統合失調症」が18.7%、「躁うつ病（双極性障害）」が17.4%となっています。



## 2 住まいについて

問 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。

<身体障害者・難病患者 問6>

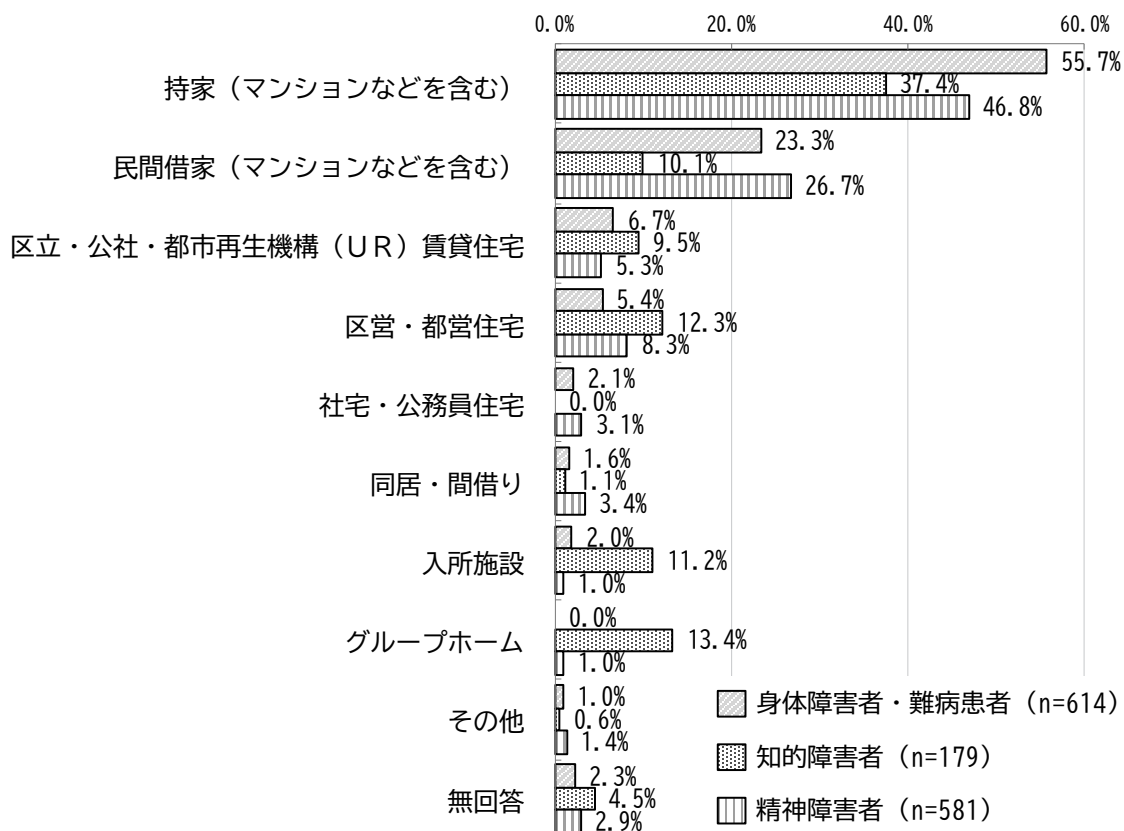
<知的障害者 問6>

<精神障害者 問6>

居住形態について、身体障害者・難病患者では「持家（マンションなどを含む）」が55.7%と最も高く、次いで「民間借家（マンションなどを含む）」が23.3%、「区立・公社・都市再生機構（UR）賃貸住宅」が6.7%となっています。

知的障害者では「持家（マンションなどを含む）」が37.4%と最も高く、次いで「グループホーム」が13.4%、「区営・都営住宅」が12.3%となっています。

精神障害者では「持家（マンションなどを含む）」が46.8%と最も高く、次いで「民間借家（マンションなどを含む）」が26.7%、「区営・都営住宅」が8.3%となっています。



問 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問7>

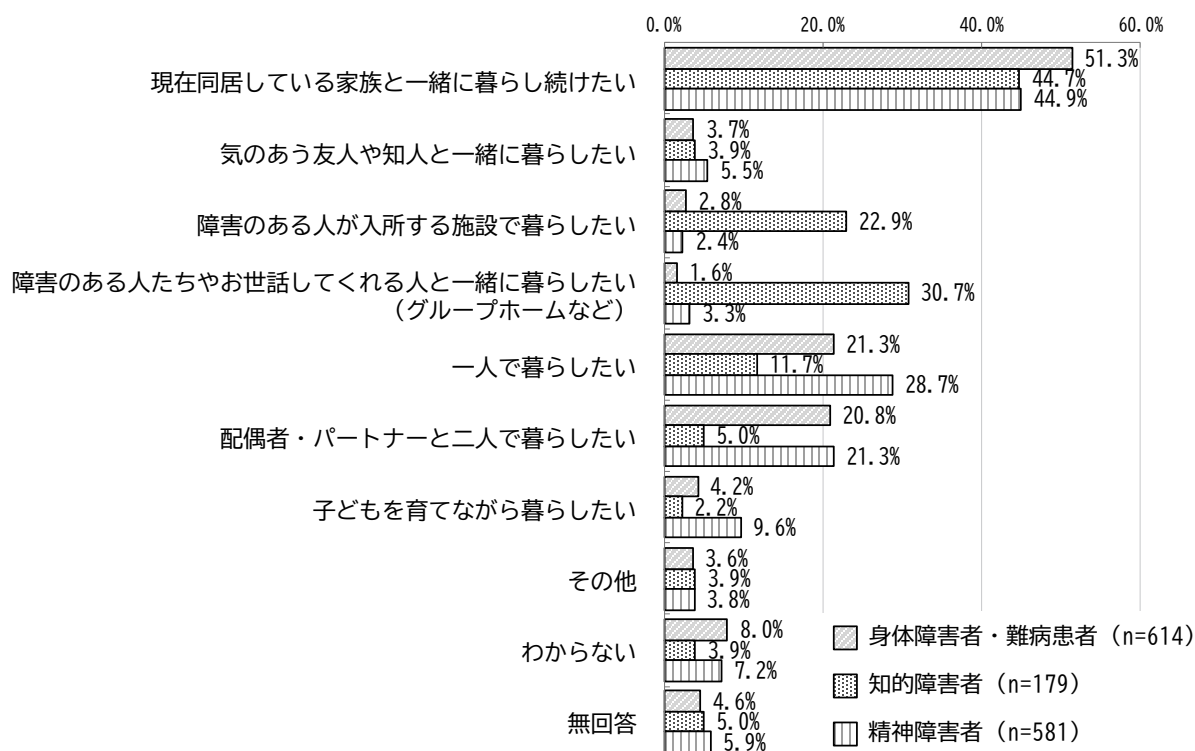
<知的障害者 問7>

<精神障害者 問7>

今後の暮らしの希望について、身体障害者・難病患者では「現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい」が51.3%と最も高く、次いで「一人で暮らしたい」が21.3%、「配偶者・パートナーと二人で暮らしたい」が20.8%となっています。

知的障害者では「現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい」が44.7%と最も高く、次いで「障害のある人たちやお世話してくれる人と一緒に暮らしたい（グループホームなど）」が30.7%、「障害のある人が入所する施設で暮らしたい」が22.9%となっています。

精神障害者では「現在同居している家族と一緒に暮らし続けたい」が44.9%と最も高く、次いで「一人で暮らしたい」が28.7%、「配偶者・パートナーと二人で暮らしたい」が21.3%となっています。



第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

### 3 日常生活の中での介助について

問 日常的に手助け（介助）してくれる方は、主にどなたですか。

<身体障害者・難病患者 問8>

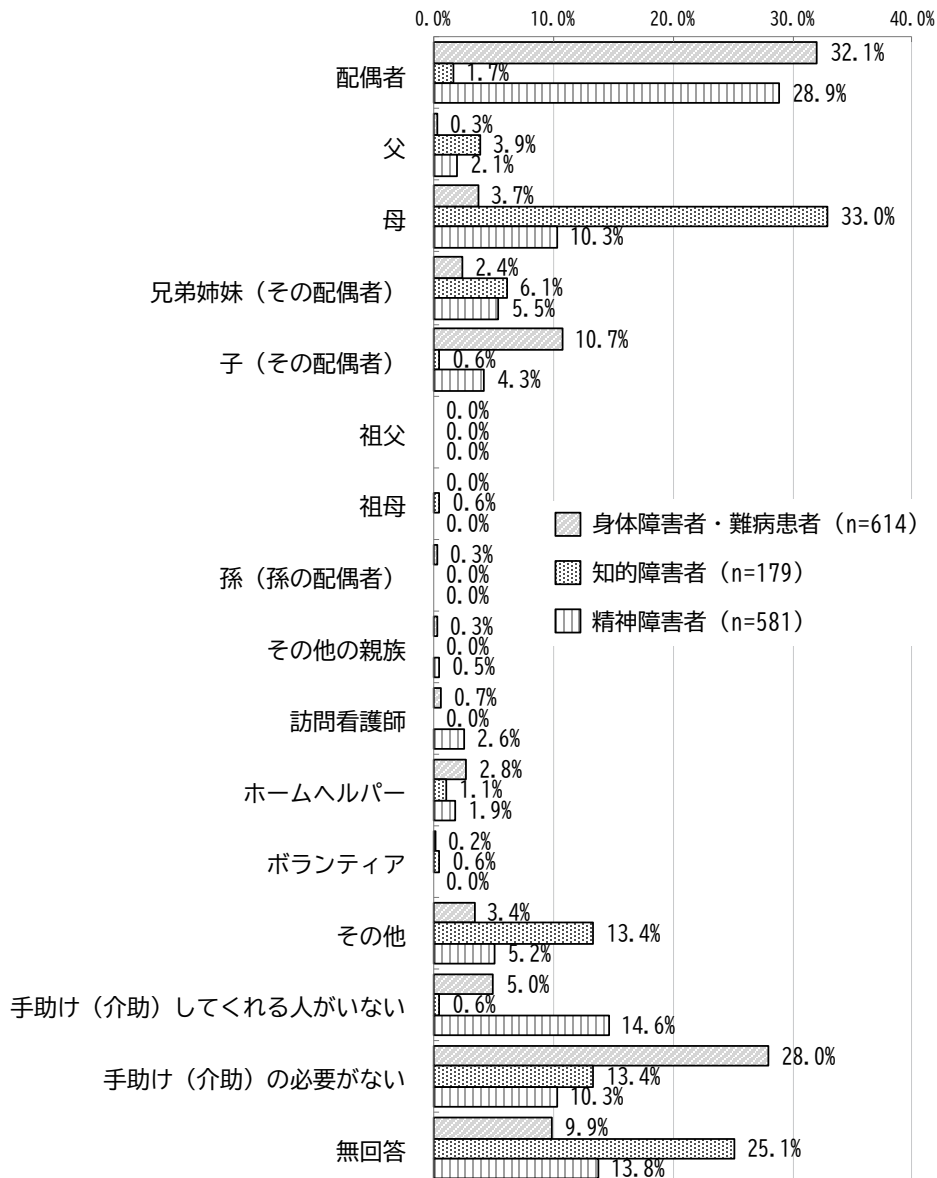
<知的障害者 問8>

<精神障害者 問8>

日常的な介助者について、身体障害者・難病患者では「配偶者」が32.1%と最も高く、次いで「手助け（介助）の必要がない」が28.0%、「子（その配偶者）」が10.7%となっています。

知的障害者では「母」が33.0%と最も高く、次いで「手助け（介助）の必要がない」「その他」が13.4%、「兄弟姉妹（その配偶者）」が6.1%となっています。

精神障害者では「配偶者」が28.9%と最も高く、次いで「手助け（介助）してくれる人がいない」が14.6%、「母」「手助け（介助）の必要がない」が10.3%となっています。



問 主に支援をしてくれる方の年齢はいくつですか。

<身体障害者・難病患者 問8-1>

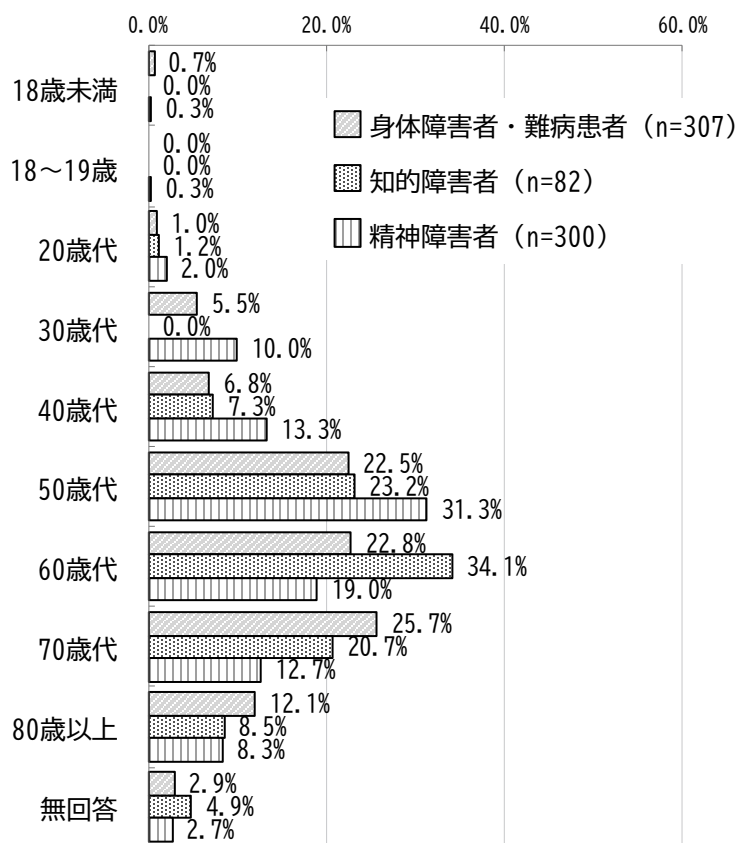
<知的障害者 問8-1>

<精神障害者 問8-1>

日常的な介助者の年齢について、身体障害者・難病患者では「70歳代」が25.7%と最も高く、次いで「60歳代」が22.8%、「50歳代」が22.5%となっています。

知的障害者では「60歳代」が34.1%と最も高く、次いで「50歳代」が23.2%、「70歳代」が20.7%となっています。

精神障害者では「50歳代」が31.3%と最も高く、次いで「60歳代」が19.0%、「40歳代」が13.3%となっています。



## 第1章

調査概要

## 第2章

調査結果

- (①身体障害者・難病患者)
- (②知的障害者)
- (③精神障害者)

## 第3章

調査結果  
(④子ども)

## 第4章

調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

## 4 相談について

問 あなたは、現在の暮らしの中で何か困っていることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問9>

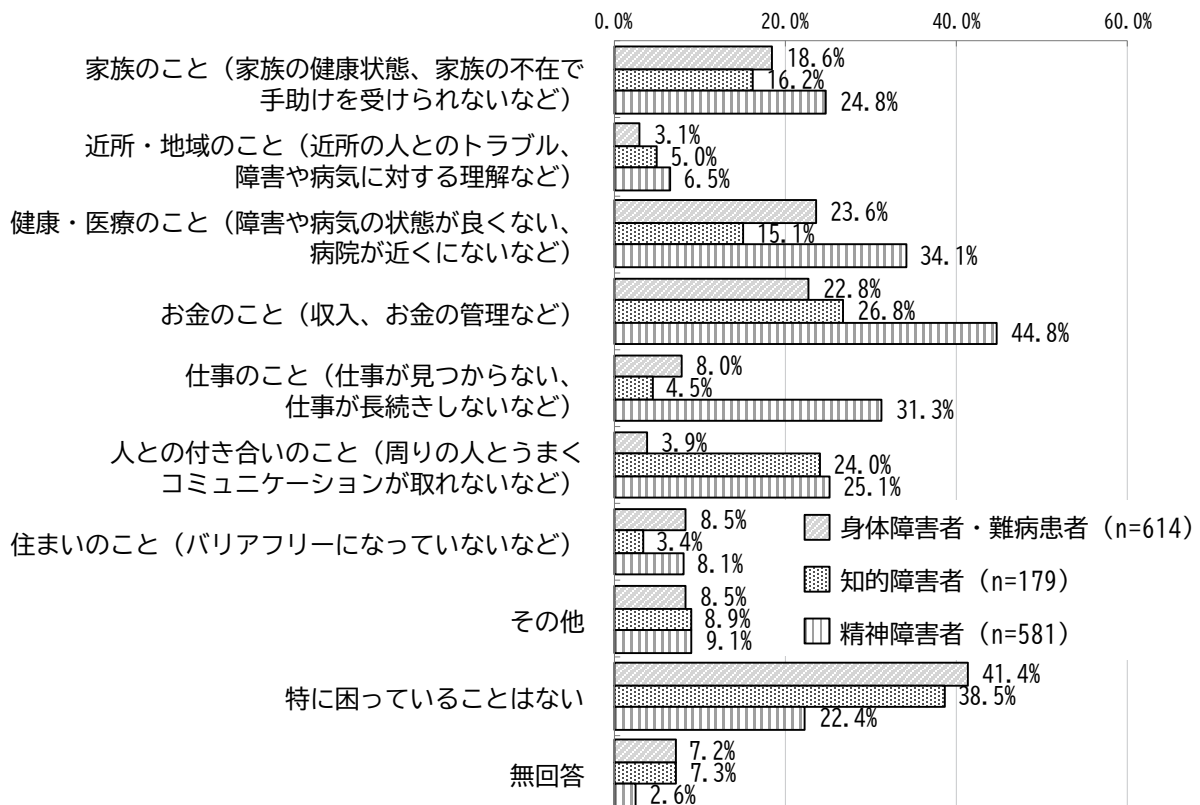
<知的障害者 問10>

<精神障害者 問10>

相談したい暮らしの困りごと（現在）について、身体障害者・難病患者では「特に困っていることはない」が41.4%と最も高く、次いで「健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）」が23.6%、「お金のこと（収入、お金の管理など）」が22.8%となっています。

知的障害者では「特に困っていることはない」が38.5%と最も高く、次いで「お金のこと（収入、お金の管理など）」が26.8%、「人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）」が24.0%となっています。

精神障害者では「お金のこと（収入、お金の管理など）」が44.8%と最も高く、次いで「健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）」が34.1%、「仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）」が31.3%となっています。



問 あなたが、将来のことで、不安に感じていることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問10>

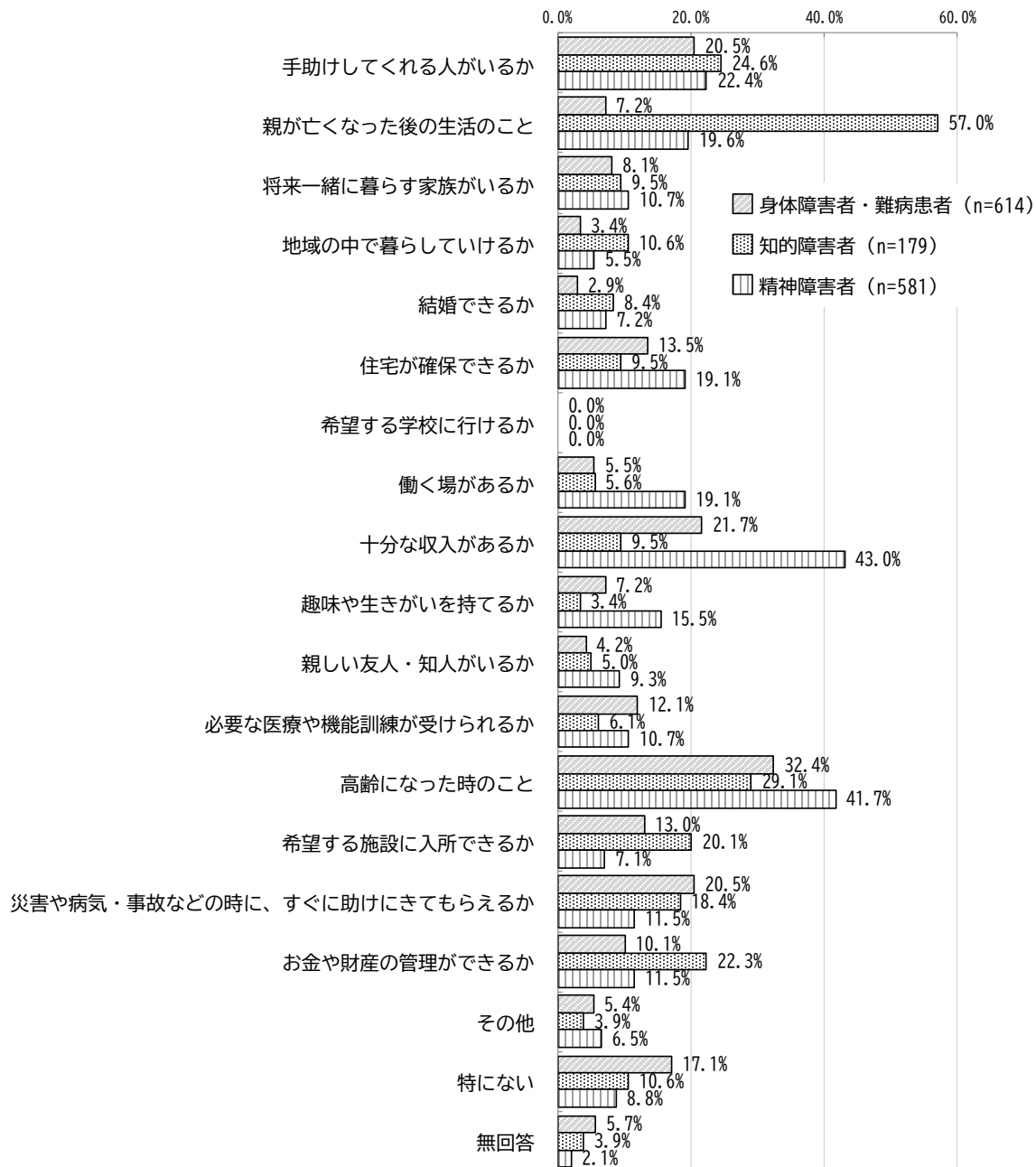
<知的障害者 問11>

<精神障害者 問11>

将来の不安について、身体障害者・難病患者では「高齢になった時のこと」が32.4%と最も高く、次いで「十分な収入があるか」が21.7%、「手助けしてくれる人がいるか」「災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか」が20.5%となっています。

知的障害者では「親が亡くなった後の生活のこと」が57.0%と最も高く、次いで「高齢になった時のこと」が29.1%、「手助けしてくれる人がいるか」が24.6%となっています。

精神障害者では「十分な収入があるか」が43.0%と最も高く、次いで「高齢になった時のこと」が41.7%、「手助けしてくれる人がいるか」が22.4%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

## 令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の将来の不安の調査結果を比較すると、各障害で将来不安と感ずることの傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「高齢になった時のこと」が35.8%から32.4%と3.4ポイント低く、「十分な収入があるか」が26.0%から21.7%と4.3ポイント低く、「災害や病気・事故などの時に、すぐに助けにきてもらえるか」が19.6%から20.5%と0.9ポイント高くなっています。

知的障害者では「親が亡くなった後の生活のこと」が56.2%から57.0%と0.8ポイント高く、「高齢になった時のこと」が24.7%から29.1%と4.4ポイント高く、「手助けしてくれる人がいるか」が23.5%から24.6%と1.1ポイント高くなっています。

精神障害者では「十分な収入があるか」が45.9%から43.0%と2.9ポイント低く、「高齢になった時のこと」が41.1%から41.7%と0.6ポイント高く、「働く場があるか」が23.8%から19.1%と4.7ポイント低くなっています。



問 あなたが将来希望する生活を送るために必要なことは何ですか。

<身体障害者・難病患者 問11>

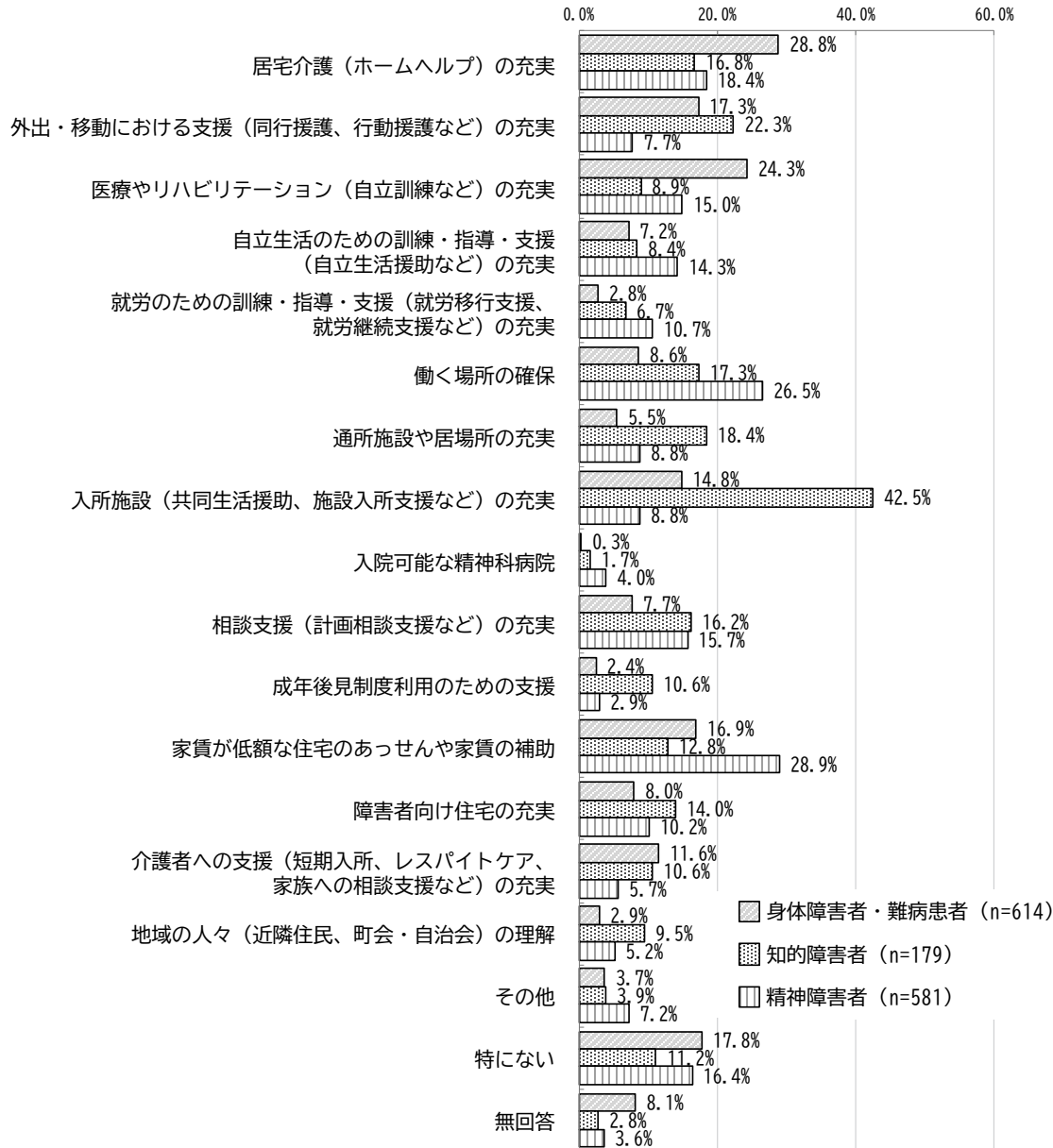
<知的障害者 問12>

<精神障害者 問12>

将来希望する生活を送るために必要なことについて、身体障害者・難病患者では「居宅介護（ホームヘルプ）の充実」が28.8%と最も高く、次いで「医療やリハビリテーション（自立訓練など）の充実」が24.3%、「特にない」が17.8%となっています。

知的障害者では「入所施設（共同生活援助、施設入所支援など）の充実」が42.5%と最も高く、次いで「外出・移動における支援（同行援護、行動援護など）の充実」が22.3%、「通所施設や居場所の充実」が18.4%となっています。

精神障害者では「家賃が低額な住宅のあっせんや家賃の補助」が28.9%と最も高く、次いで「働く場所の確保」が26.5%、「居宅介護（ホームヘルプ）の充実」が18.4%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

問 あなたは、何か困ったとき、誰に（どこに）相談したり、頼んだりしていますか。

<身体障害者・難病患者 問12>

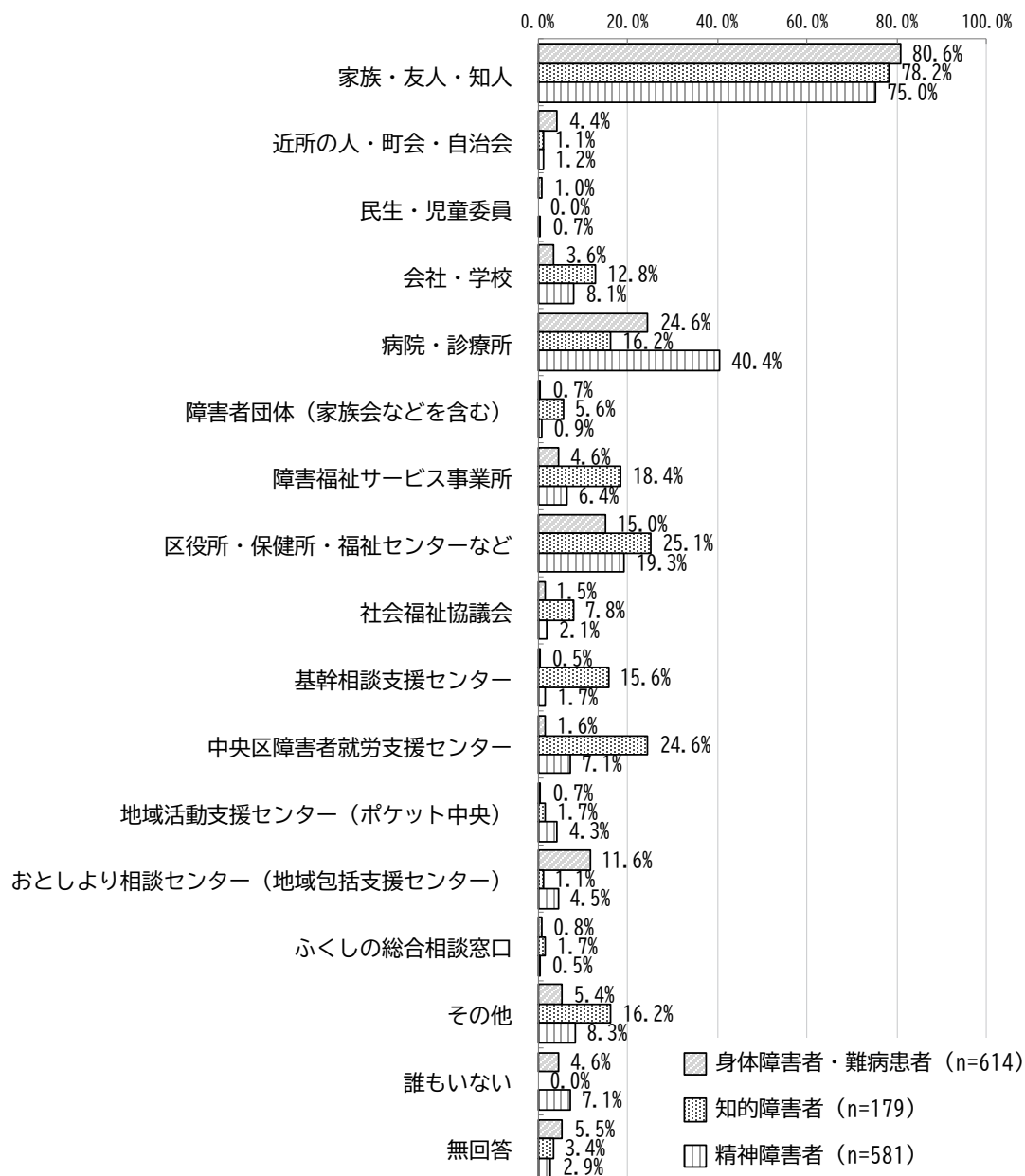
<知的障害者 問13>

<精神障害者 問13>

困りごとの相談先について、身体障害者・難病患者では「家族・友人・知人」が80.6%と最も高く、次いで「病院・診療所」が24.6%、「区役所・保健所・福祉センターなど」が15.0%となっています。

知的障害者では「家族・友人・知人」が78.2%と最も高く、次いで「区役所・保健所・福祉センターなど」が25.1%、「中央区障害者就労支援センター」が24.6%となっています。

精神障害者では「家族・友人・知人」が75.0%と最も高く、次いで「病院・診療所」が40.4%、「区役所・保健所・福祉センターなど」が19.3%となっています。



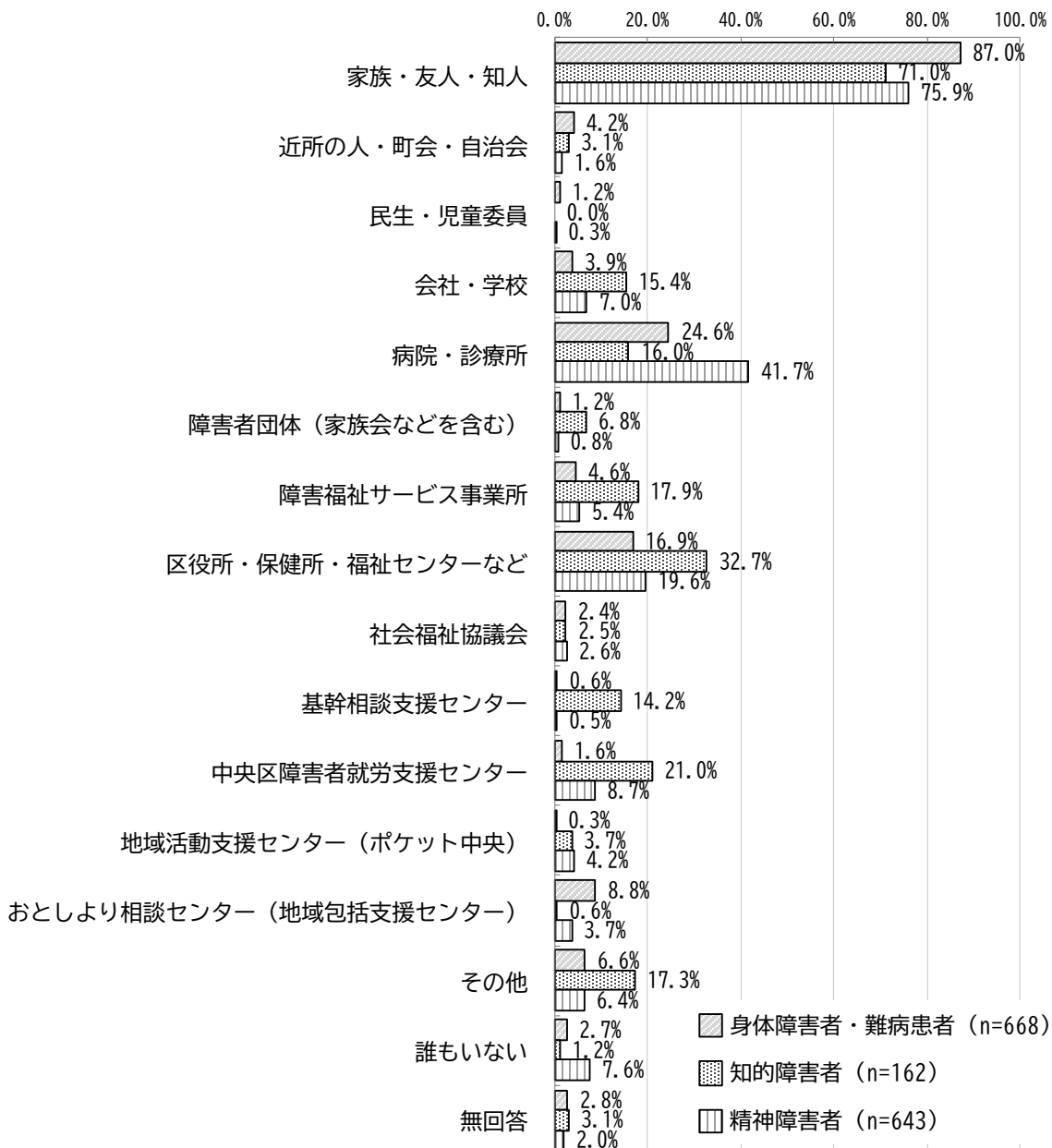
## 令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の困りごとの相談先の調査結果を比較すると、各障害で相談先の傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「家族・友人・知人」が87.0%から80.6%と6.4ポイント低くなっており、「病院・診療所」が24.6%から変化がなく、「区役所・保健所・福祉センターなど」が16.9%から15.0%と1.9ポイント低くなっています。

知的障害者では「家族・友人・知人」が71.0%から78.2%と7.2ポイント高くなっており、「区役所・保健所・福祉センターなど」が32.7%から25.1%と7.6ポイント低く、「中央区障害者就労支援センター」が21.0%から24.6%と3.6ポイント高くなっています。

精神障害者では「家族・友人・知人」が75.9%から75.0%と0.9ポイント低くなっており、「病院・診療所」が41.7%から40.4%と1.3ポイント低く、「区役所・保健所・福祉センターなど」が19.6%から19.3%と0.3ポイント低くなっています。



問 あなたは、次の相談・支援の窓口をご存知ですか。ア)～ウ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

<身体障害者・難病患者 問13>

<知的障害者 問14>

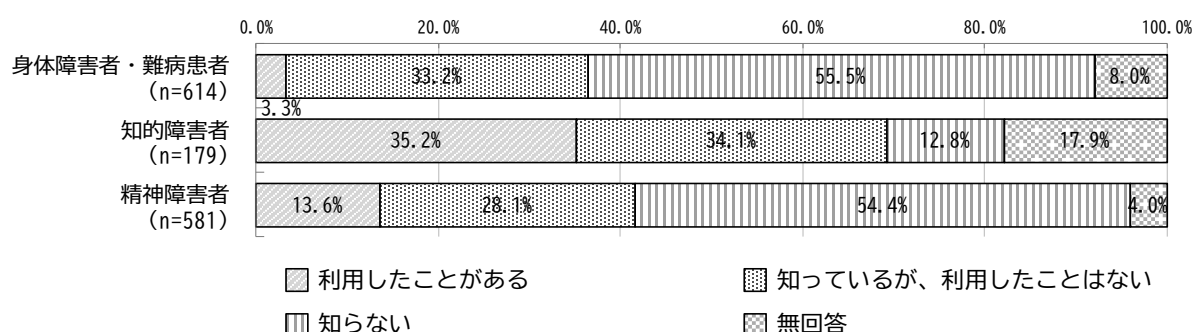
<精神障害者 問14>

ア) 中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況

中央区障害者就労支援センターの認知度・利用状況について、身体障害者・難病患者では「知らない」が55.5%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が33.2%、「利用したことがある」が3.3%となっています。

知的障害者では「利用したことがある」が35.2%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が34.1%、「知らない」が12.8%となっています。

精神障害者では「知らない」が54.4%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が28.1%、「利用したことがある」が13.6%となっています。

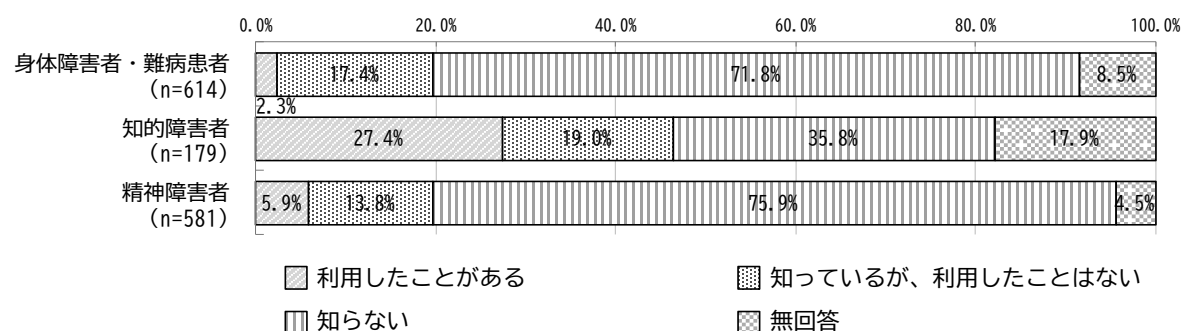


イ) 基幹相談支援センターの認知度・利用状況

基幹相談支援センターの認知度・利用状況について、身体障害者・難病患者では「知らない」が71.8%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が17.4%、「利用したことがある」が2.3%となっています。

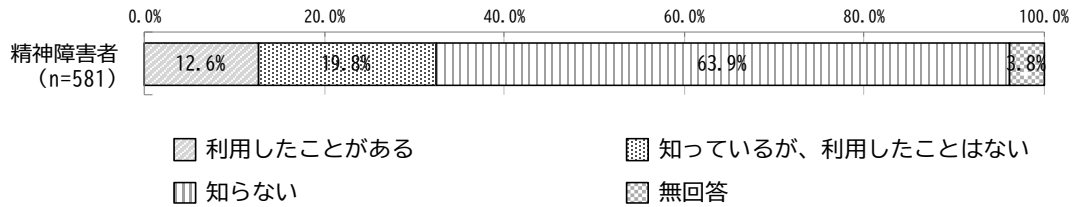
知的障害者では「知らない」が35.8%と最も高く、次いで「利用したことがある」が27.4%、「知っているが、利用したことはない」が19.0%となっています。

精神障害者では「知らない」が75.9%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が13.8%、「利用したことがある」が5.9%となっています。



ウ) 中央区精神障害者地域活動支援センター（ポケット中央）の認知度・利用状況

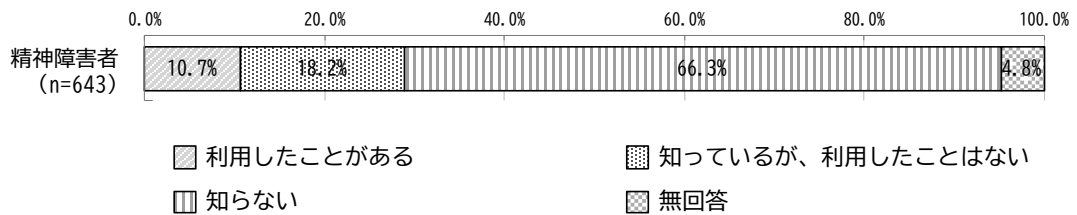
中央区精神障害者地域活動支援センター（ポケット中央）の認知度・利用状況について、精神障害者では「知らない」が63.9%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が19.8%、「利用したことがある」が12.6%となっています。



令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の中央区精神障害者地域活動支援センター（ポケット中央）の認知度・利用状況の調査結果を比較すると、傾向に大きな変化はありません。

「知らない」が66.3%から63.9%と2.4ポイント低く、「知っているが、利用したことはない」が18.2%から19.8%と1.6ポイント高く、「利用したことがある」が10.7%から12.6%と1.9ポイント高くなっています。



問 あなたは、区内の相談・支援の窓口が利用しやすくなるには、どのようなことが必要だと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問14>

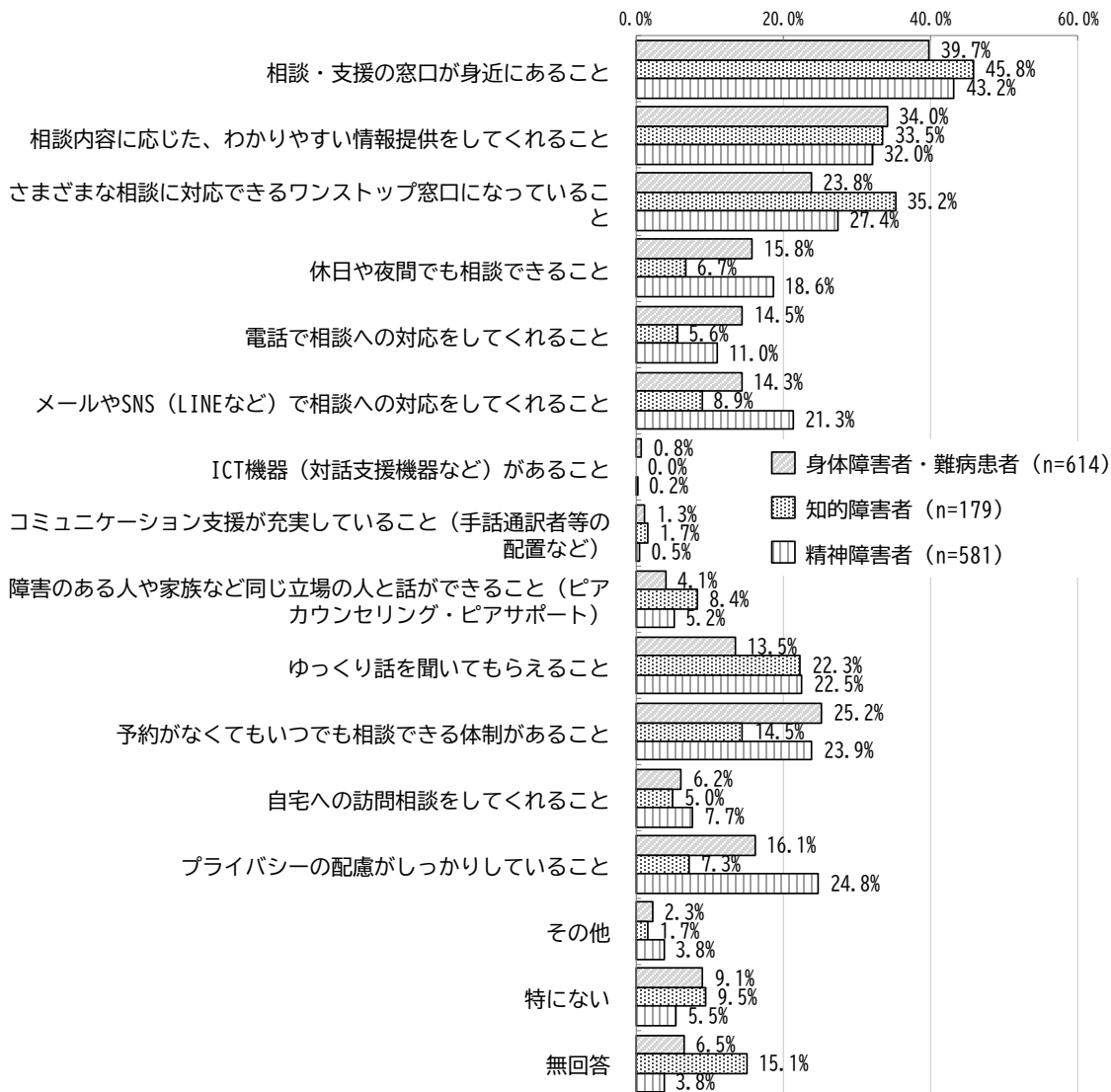
<知的障害者 問15>

<精神障害者 問15>

区の相談窓口・機関への要望について、身体障害者・難病患者では「相談・支援の窓口が身近にあること」が39.7%と最も高く、次いで「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が34.0%、「予約がなくてもいつでも相談できる体制があること」が25.2%となっています。

知的障害者では「相談・支援の窓口が身近にあること」が45.8%と最も高く、次いで「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること」が35.2%、「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が33.5%となっています。

精神障害者では「相談・支援の窓口が身近にあること」が43.2%と最も高く、次いで「相談内容に応じた、わかりやすい情報提供をしてくれること」が32.0%、「さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口になっていること」が27.4%となっています。



## 5 障害福祉サービスについて

問 (1) 令和6年4月以降、あなたは、次の障害福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア)～ノ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2) あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。ア)～ノ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

<身体障害者・難病患者 問15>

<知的障害者 問16>

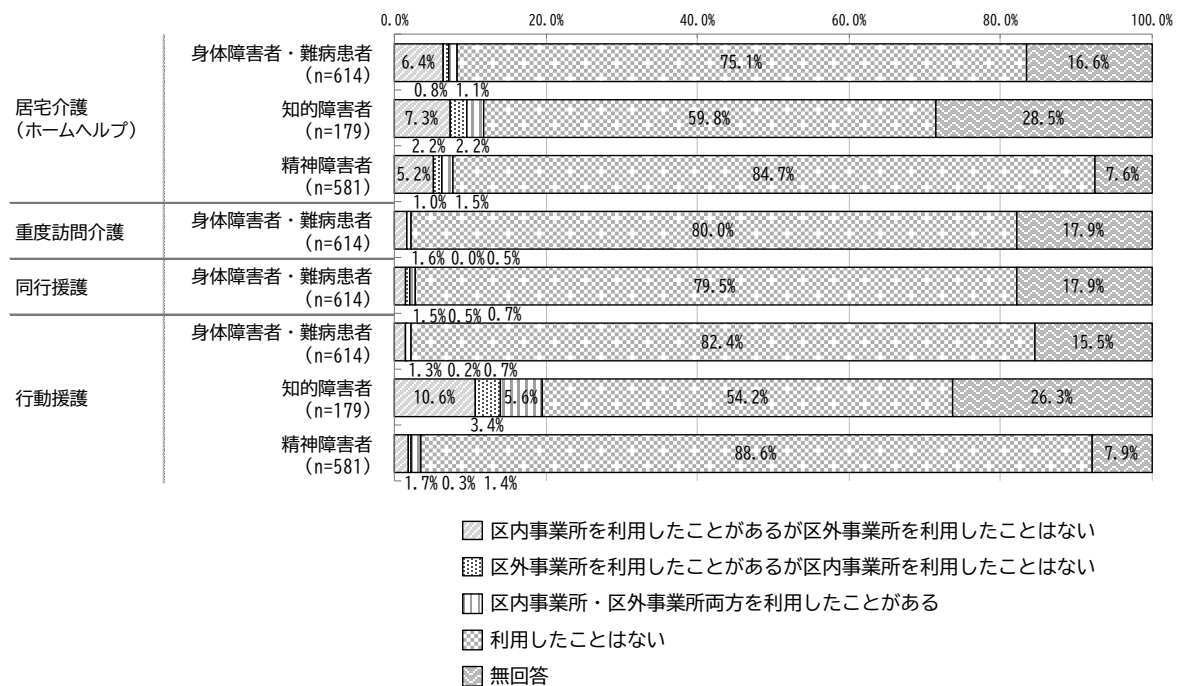
<精神障害者 問16>

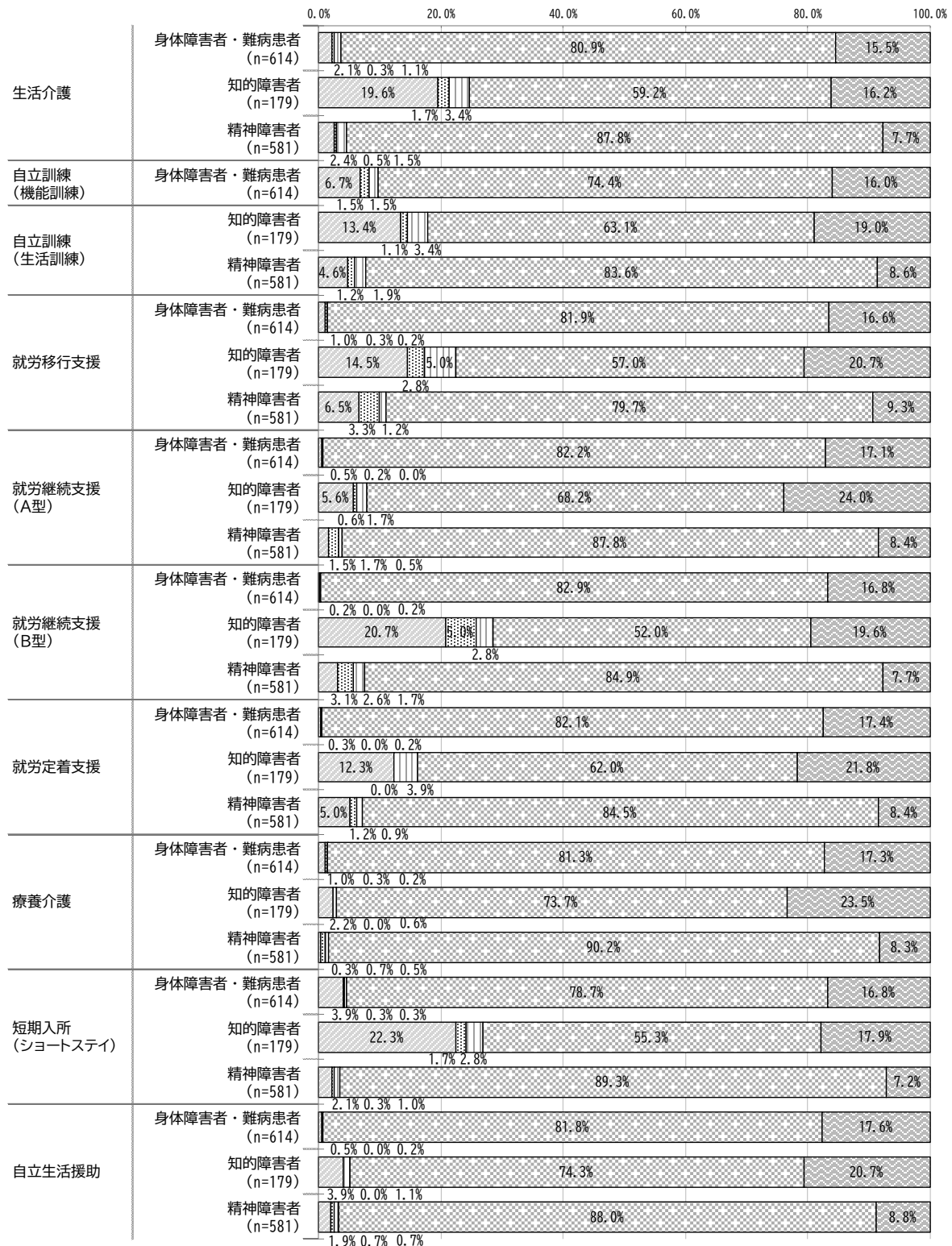
(1) 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況について、身体障害者・難病患者では居宅介護（ホームヘルプ）、自立訓練（機能訓練）において5.0%以上の方が利用しています。

知的障害者では居宅介護（ホームヘルプ）、行動援護、生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）、就労定着支援、短期入所（ショートステイ）、自立生活援助、共同生活援助（グループホーム）、移動支援事業（個別支援型）、日中一時支援において5.0%以上の方が利用しています。

精神障害者では居宅介護（ホームヘルプ）、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（B型）、就労定着支援、精神障害者地域活動支援において5.0%以上の方が利用しています。





- 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない
- 区外事業所を利用したことがあるが区内事業所を利用したことはない
- 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある
- 利用したことはない
- 無回答

# 第1章

## 調査概要

# 第2章

## 調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

# 第3章

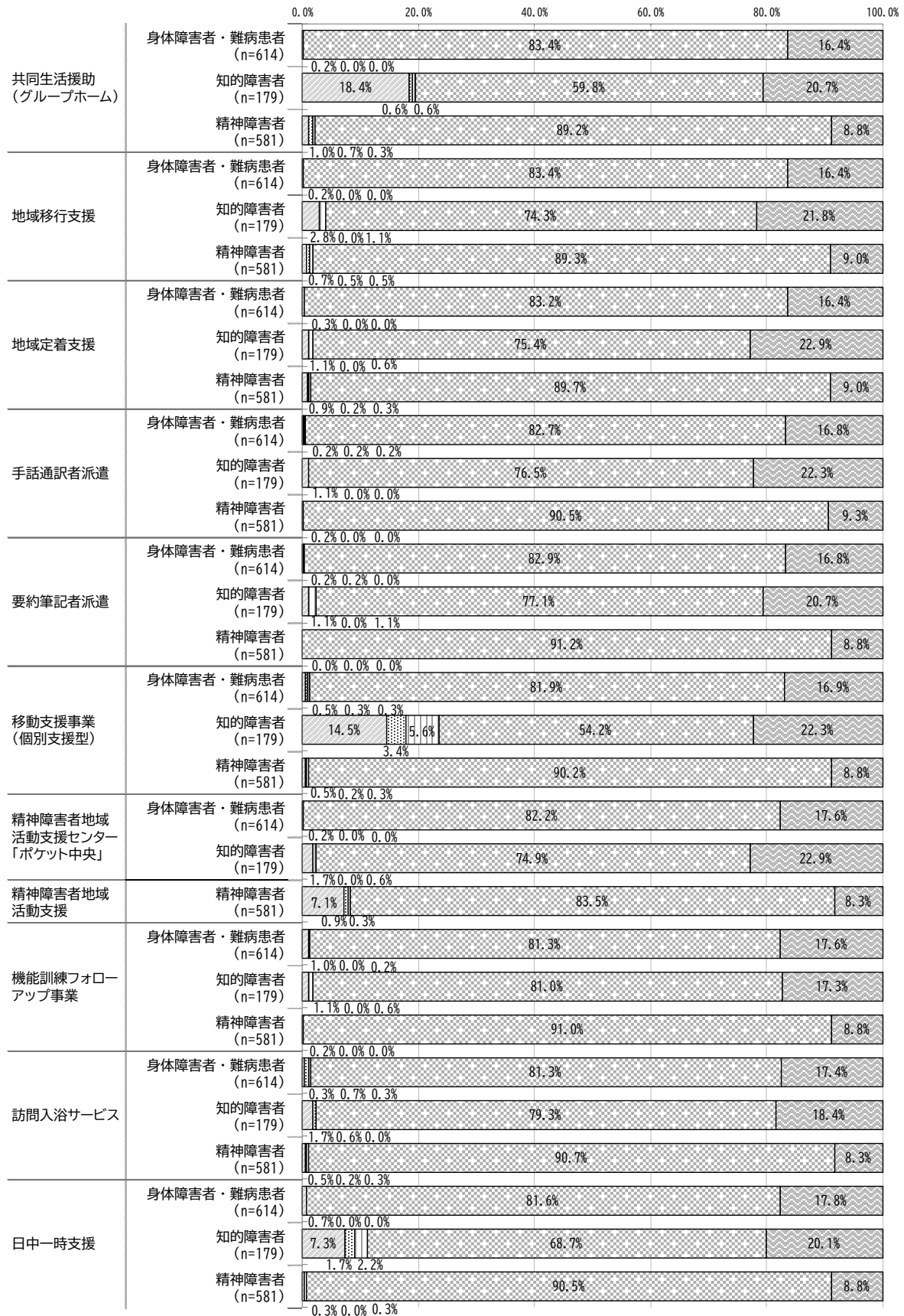
## 調査結果

- ④子ども

# 第4章

## 調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所



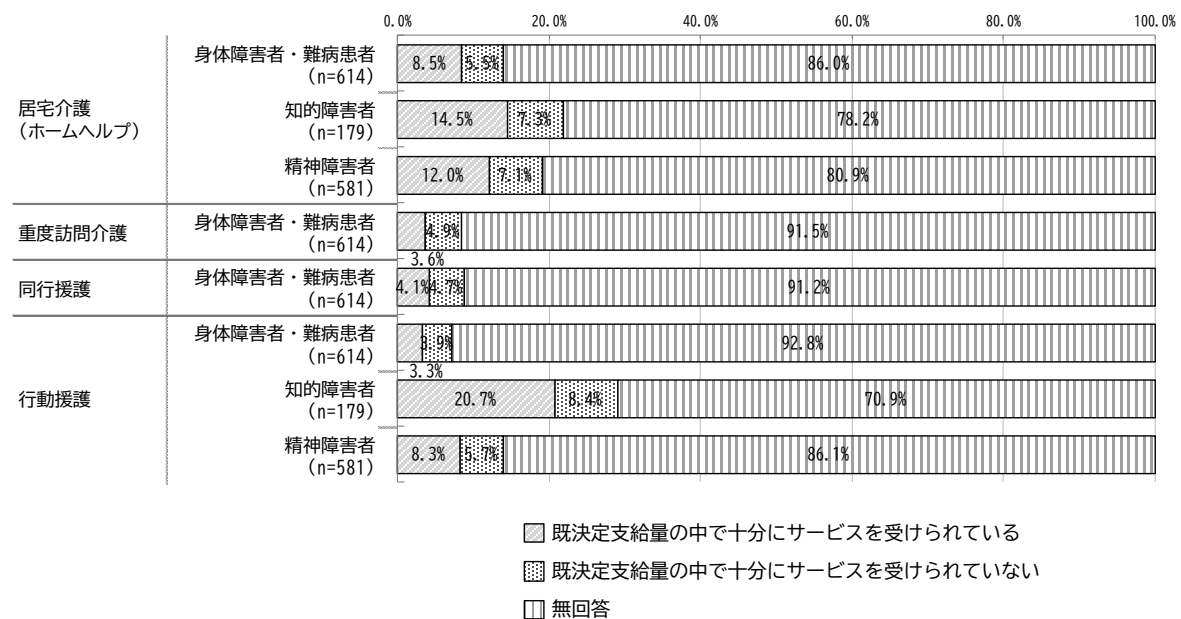
- 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない
- 区外事業所を利用したことがあるが区内事業所を利用したことはない
- 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある
- 利用したことはない
- 無回答

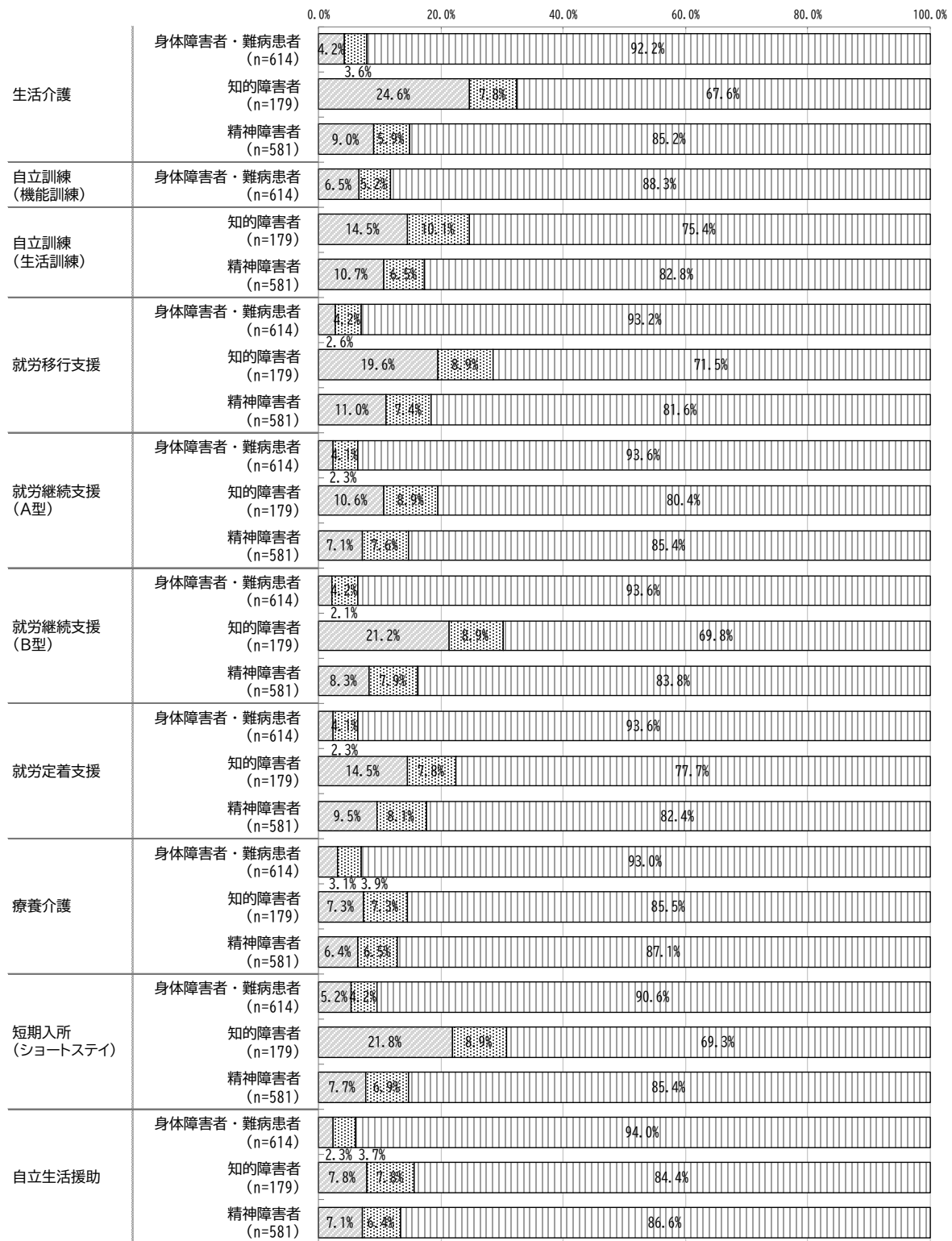
## (2) 障害福祉サービス支給量のニーズ充足度

障害福祉サービス支給量のニーズ充足度について、身体障害者・難病患者では重度訪問介護、同行援護、行動援護、就労移行支援、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）、就労定着支援、療養介護、自立生活援助、共同生活援助（グループホーム）、地域移行支援、地域定着支援、手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、移動支援事業（個別支援型）、精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」、機能訓練フォローアップ事業、訪問入浴サービス、日中一時支援において「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を上回っています。

知的障害者では地域定着支援、手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」、機能訓練フォローアップ事業、訪問入浴サービスにおいて「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を上回っています。

精神障害者では就労継続支援（A型）、療養介護、共同生活援助（グループホーム）、地域移行支援、地域定着支援、手話通訳者派遣、において「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を上回っています。





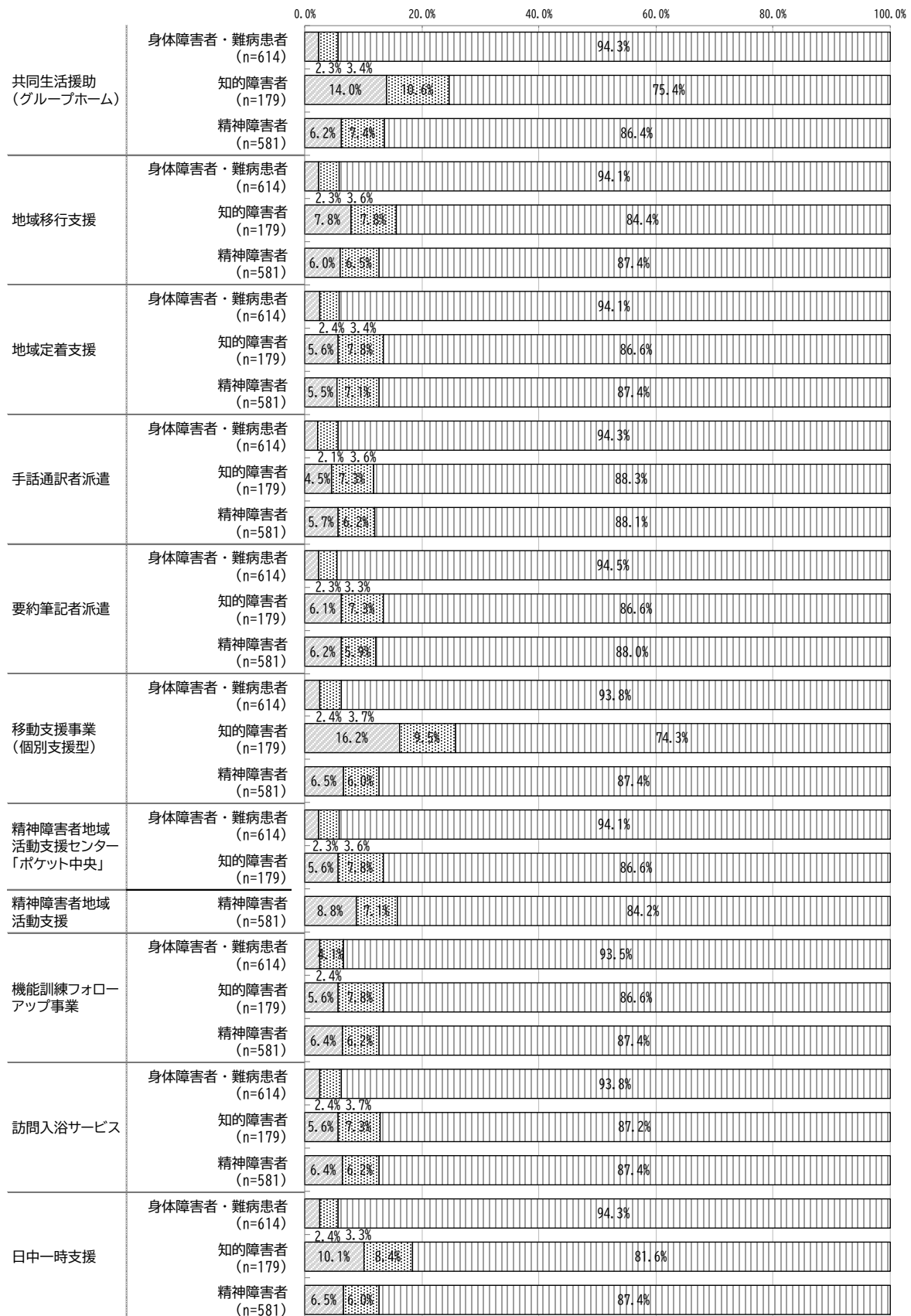
既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている  
 既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない  
 無回答

第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)



既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている  
 既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない  
 無回答

問 共同生活援助（グループホーム）はいつから利用したいですか。

<身体障害者・難病患者 問15-1>

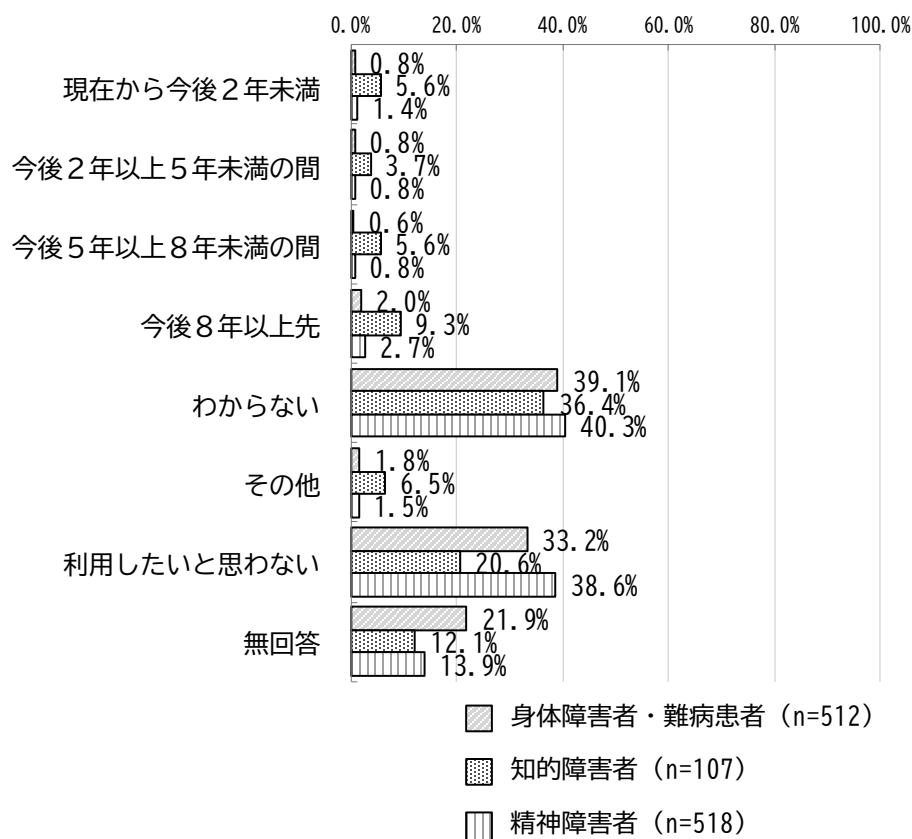
<知的障害者 問16-1>

<精神障害者 問16-1>

グループホームの利用を開始したい時期について、身体障害者・難病患者では「わからない」が39.1%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が33.2%、「今後8年以上先」が2.0%となっています。

知的障害者では「わからない」が36.4%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が20.6%、「今後8年以上先」が9.3%となっています。

精神障害者では「わからない」が40.3%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が38.6%、「今後8年以上先」が2.7%となっています。



問 あなたは、サービスの利用で、困ったり、不便だと思うことはありますか。

<身体障害者・難病患者 問17>

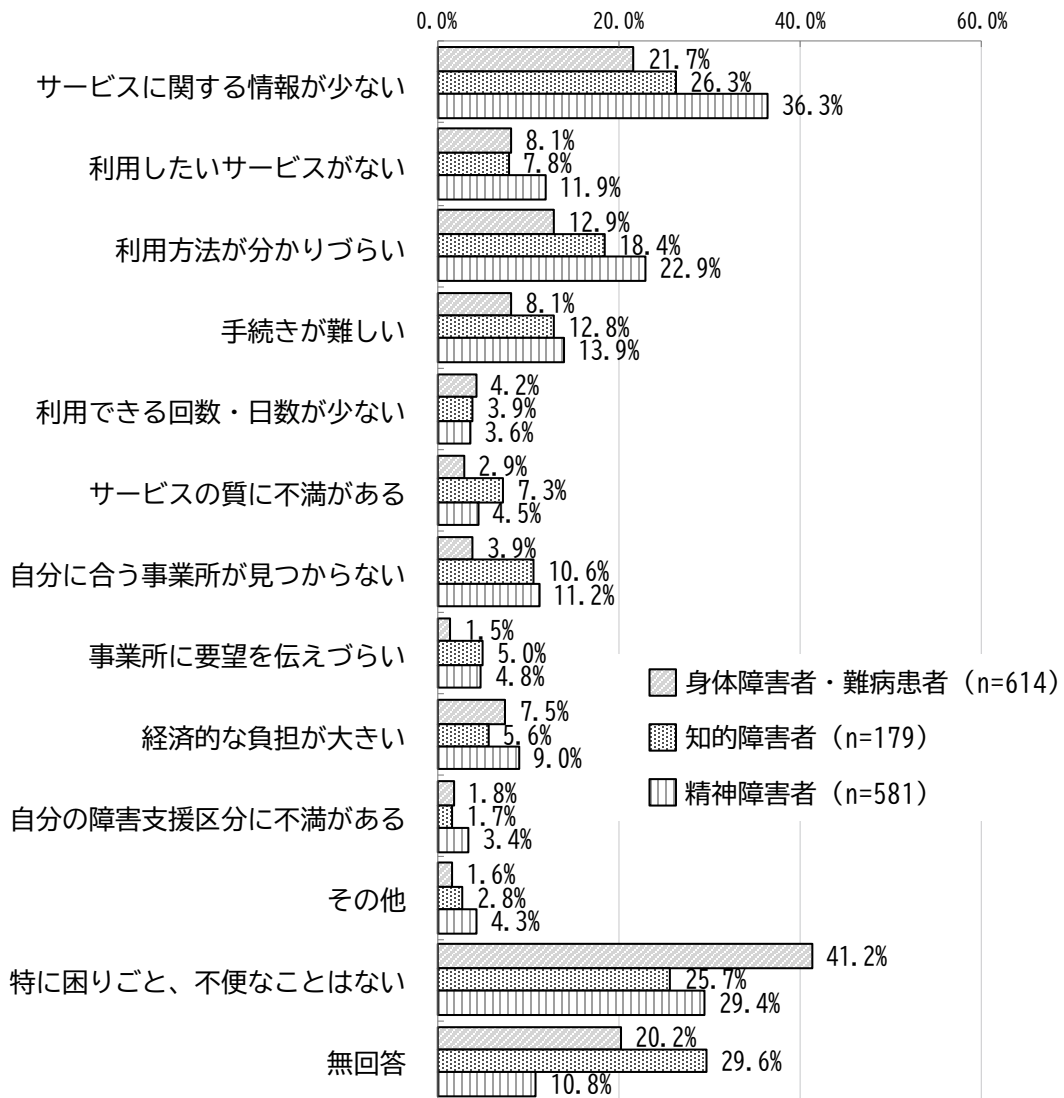
<知的障害者 問18>

<精神障害者 問18>

サービス利用での困りごとについて、身体障害者・難病患者では「特に困りごと、不便なことはない」が 41.2%と最も高く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が 21.7%、「利用方法が分かりづらい」が 12.9%となっています。

知的障害者では「サービスに関する情報が少ない」が 26.3%と最も高く、次いで「特に困りごと、不便なことはない」が 25.7%、「利用方法が分かりづらい」が 18.4%となっています。

精神障害者では「サービスに関する情報が少ない」が 36.3%と最も高く、次いで「特に困りごと、不便なことはない」が 29.4%、「利用方法が分かりづらい」が 22.9%となっています。



問 あなたは、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。

<身体障害者・難病患者 問18>

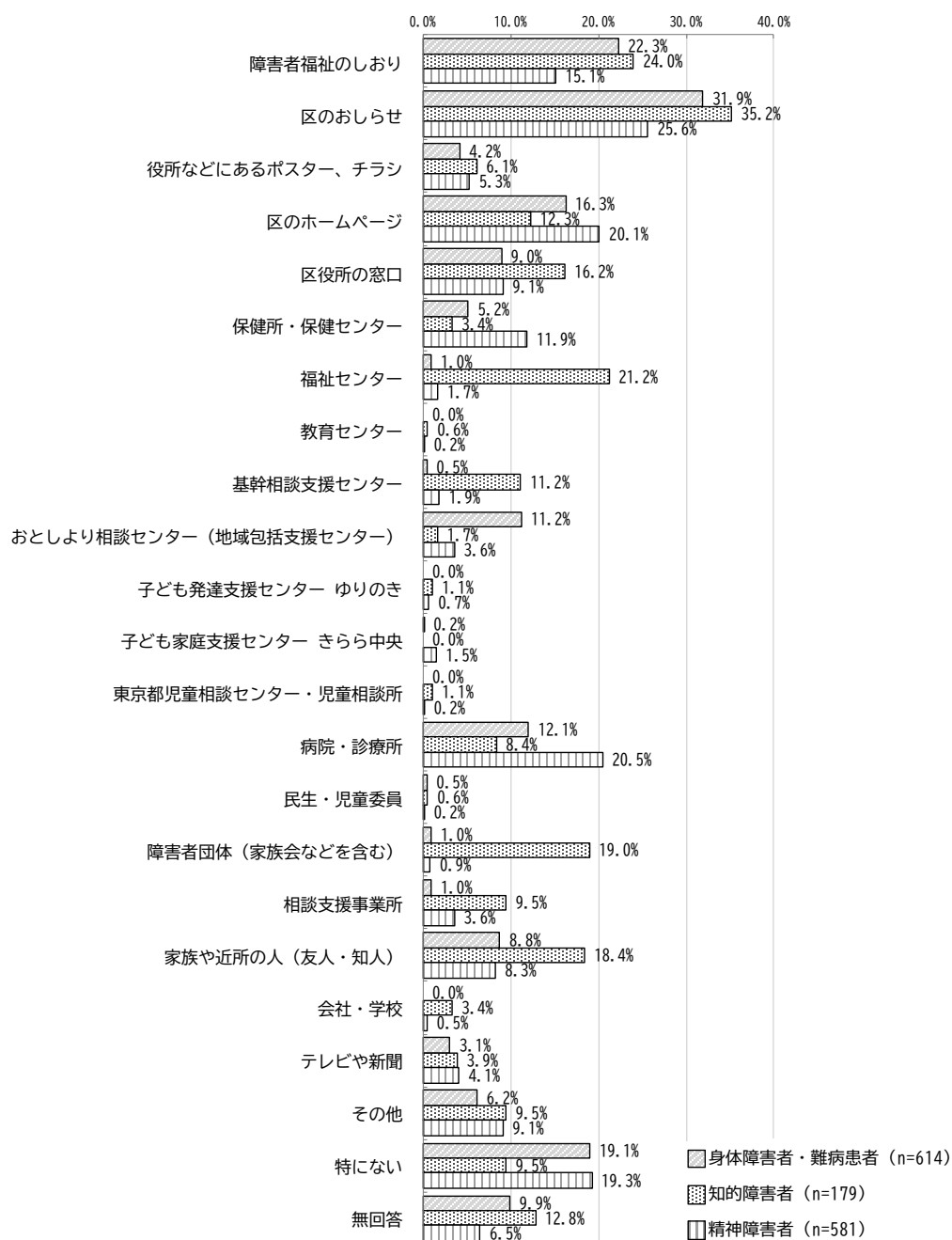
<知的障害者 問19>

<精神障害者 問19>

福祉サービスの情報入手先について、身体障害者・難病患者では「区のおしらせ」が31.9%と最も高く、次いで「障害者福祉のしおり」が22.3%、「特にない」が19.1%となっています。

知的障害者では「区のおしらせ」が35.2%と最も高く、次いで「障害者福祉のしおり」が24.0%、「福祉センター」が21.2%となっています。

精神障害者では「区のおしらせ」が25.6%と最も高く、次いで「病院・診療所」が20.5%、「区のホームページ」が20.1%となっています。



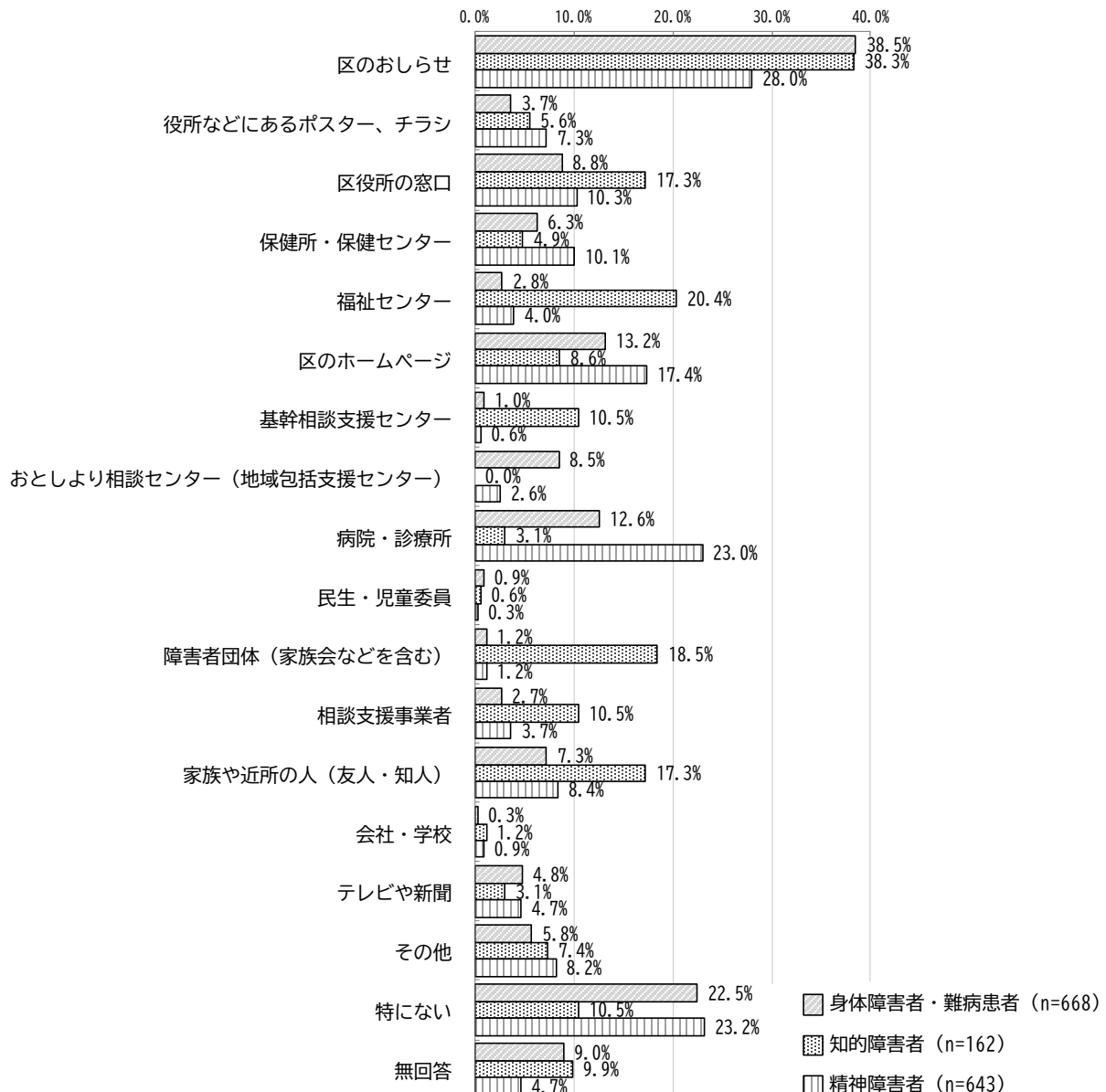
## 令和4年度調査結果との比較

令和4年度と令和7年度の福祉サービスの情報入手先の調査結果を比較すると、令和5年12月に発行した「障害者福祉のしおり」から情報を入力している方が比較的多くなっていますが、その他の傾向に大きな変化はありません。

身体障害者・難病患者では「区のおしらせ」が38.5%から31.9%と6.6ポイント低く、「区のホームページ」が13.2%から16.3%と3.1ポイント高く、「病院・診療所」が12.6%から12.1%と0.5ポイント低くなっています。

知的障害者では「区のおしらせ」が38.3%から35.2%と3.1ポイント低く、「福祉センター」が20.4%から21.2%と0.8ポイント高く、「障害者団体（家族会などを含む）」が18.5%から19.0%と0.5ポイント高くなっています。

精神障害者では「区のおしらせ」が28.0%から25.6%と2.4ポイント低く、「病院・診療所」が23.0%から20.5%と2.5ポイント低く、「区のホームページ」が17.4%から20.1%と2.7ポイント高くなっています。



## 6 医療について

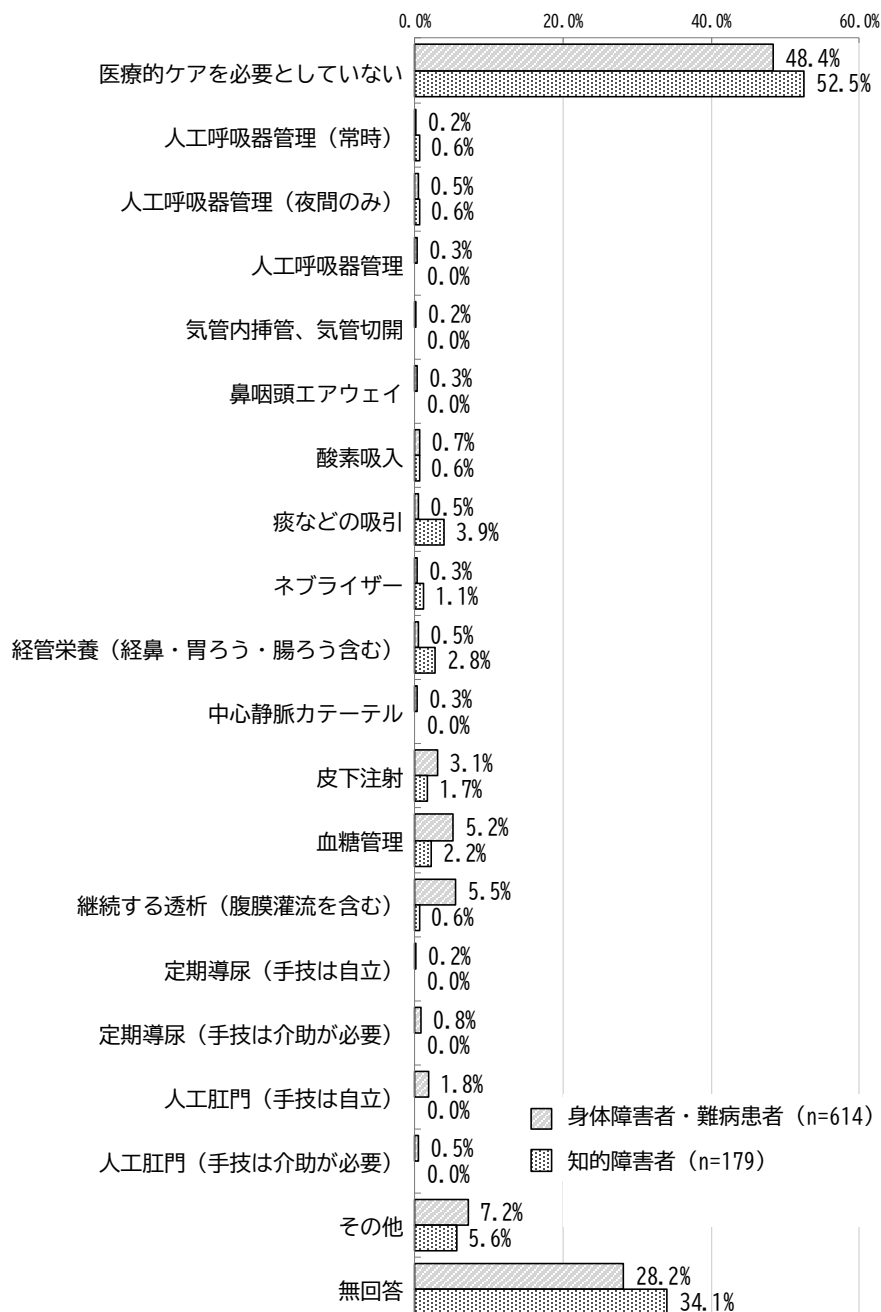
問 あなたは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。

<身体障害者・難病患者 問20>

<知的障害者 問20>

日常的に必要としている医療的ケアについて、身体障害者・難病患者では「医療的ケアを必要としていない」が48.4%と最も高く、次いで「その他」が7.2%、「継続する透析（腹膜灌流を含む）」が5.5%となっています。

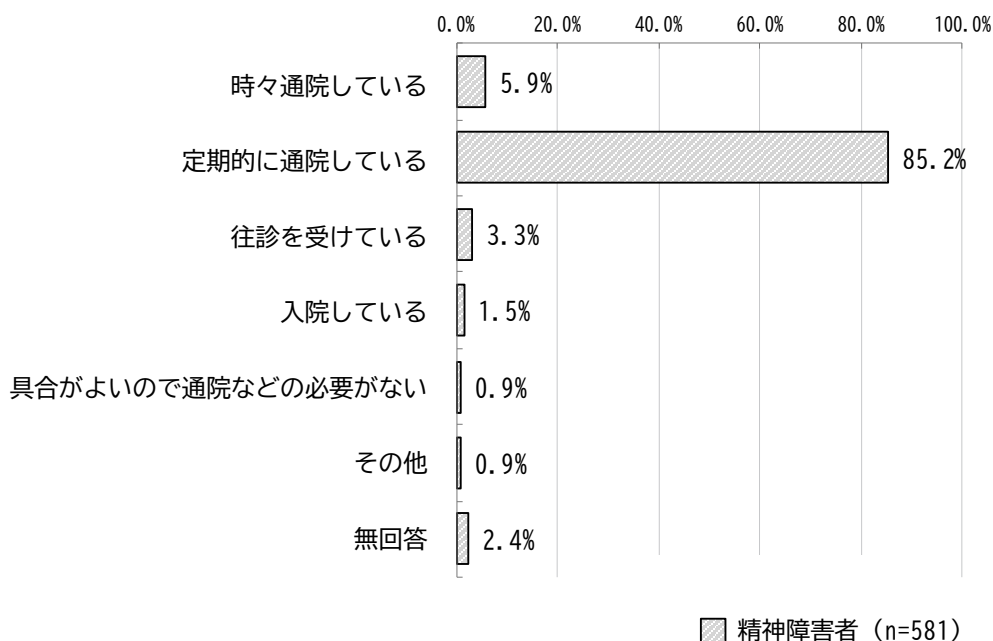
知的障害者では「医療的ケアを必要としていない」が52.5%と最も高く、次いで「その他」が5.6%、「痰などの吸引」が3.9%となっています。



問 あなたは、現在、通院や入院をしていますか。

<精神障害者 問20>

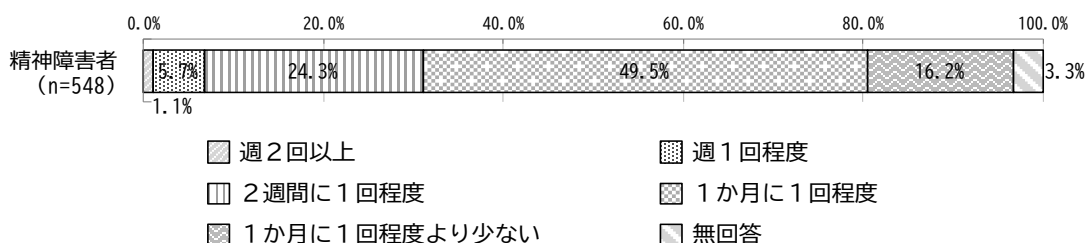
通院・入院状況について、精神障害者では「定期的に通院している」が85.2%と最も高く、次いで「時々通院している」が5.9%、「往診を受けている」が3.3%となっています。



問 通院や往診などの回数はどれくらいですか。

<精神障害者 問20-1>

通院・往診の回数について、精神障害者では「1か月に1回程度」が49.5%と最も高く、次いで「2週間に1回程度」が24.3%、「1か月に1回程度より少ない」が16.2%となっています。



## 7 就労・経済状況について

問 現在のあなたの就労（福祉的就労も含む）の状況について、お答えください。金額に関わらず工賃が発生している方は「働いている」に○をつけてください。

<身体障害者・難病患者 問21>

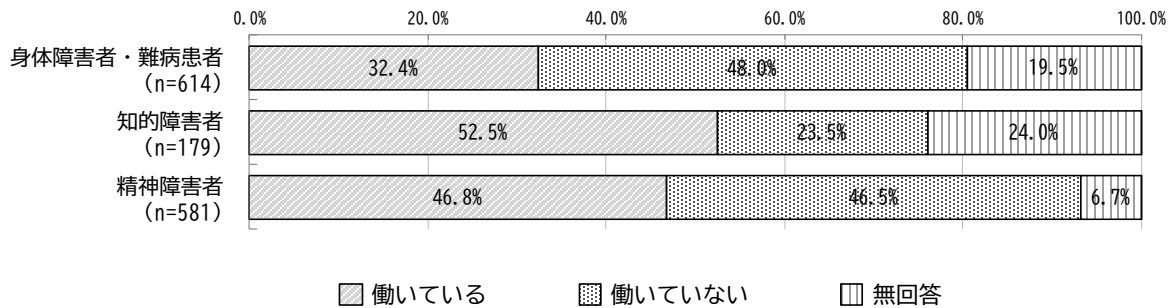
<知的障害者 問21>

<精神障害者 問21>

就労の状況について、身体障害者・難病患者では「働いている」が32.4%、「働いていない」が48.0%となっています。

知的障害者では「働いている」が52.5%、「働いていない」が23.5%となっています。

精神障害者では「働いている」が46.8%、「働いていない」が46.5%となっています。



第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

## クロス集計結果

年齢ごとにみると、身体障害者・難病患者、知的障害者では 20 歳～29 歳で「働いている」が他の年齢と比較して高くなっています。

精神障害者では 30 歳～39 歳で「働いている」が他の年齢と比較して高くなっています。

1 段目 人 2 段目 %	合 計	問 就労の状況			
		働 い て い る	働 い て い な い	無 回 答	
（身体障害者・難病患者 問2（2） 年齢	18歳～19歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	19 100.0%	15 78.9%	4 21.1%	0 0.0%
	30歳～39歳	31 100.0%	21 67.7%	3 9.7%	7 22.6%
	40歳～49歳	39 100.0%	22 56.4%	7 17.9%	10 25.6%
	50歳～59歳	89 100.0%	56 62.9%	20 22.5%	13 14.6%
	60歳～64歳	60 100.0%	29 48.3%	21 35.0%	10 16.7%
	65歳～69歳	52 100.0%	16 30.8%	27 51.9%	9 17.3%
	70歳～74歳	68 100.0%	15 22.1%	36 52.9%	17 25.0%
	75歳～79歳	93 100.0%	14 15.1%	68 73.1%	11 11.8%
	80歳～84歳	64 100.0%	4 6.3%	44 68.8%	16 25.0%
	85歳以上	87 100.0%	5 5.7%	60 69.0%	22 25.3%
（知的障害者 問2（2） 年齢	18歳～19歳	14 100.0%	7 50.0%	5 35.7%	2 14.3%
	20歳～29歳	39 100.0%	28 71.8%	6 15.4%	5 12.8%
	30歳～39歳	38 100.0%	20 52.6%	8 21.1%	10 26.3%
	40歳～49歳	32 100.0%	19 59.4%	9 28.1%	4 12.5%
	50歳～59歳	23 100.0%	8 34.8%	7 30.4%	8 34.8%
	60歳～64歳	11 100.0%	6 54.5%	1 9.1%	4 36.4%
	65歳～69歳	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	4 44.4%
	70歳～74歳	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	75歳～79歳	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%
	80歳～84歳	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
	85歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

1 段目 人 2 段目 %	合 計	問 就労の状況			
		働 い て い る	働 い て い な い	無 回 答	
（精神障害者 問2（2） 年齢	18歳～19歳	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
	20歳～29歳	49 100.0%	30 61.2%	18 36.7%	1 2.0%
	30歳～39歳	92 100.0%	64 69.6%	24 26.1%	4 4.3%
	40歳～49歳	96 100.0%	55 57.3%	35 36.5%	6 6.3%
	50歳～59歳	160 100.0%	79 49.4%	71 44.4%	10 6.3%
	60歳～64歳	63 100.0%	22 34.9%	37 58.7%	4 6.3%
	65歳～69歳	31 100.0%	10 32.3%	15 48.4%	6 19.4%
	70歳～74歳	27 100.0%	4 14.8%	21 77.8%	2 7.4%
	75歳～79歳	18 100.0%	2 11.1%	15 83.3%	1 5.6%
	80歳～84歳	14 100.0%	0 0.0%	12 85.7%	2 14.3%
	85歳以上	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%

問 仕事の内容や働く場などで、あなたの障害に対する配慮がありますか。

<身体障害者・難病患者 問21-3>

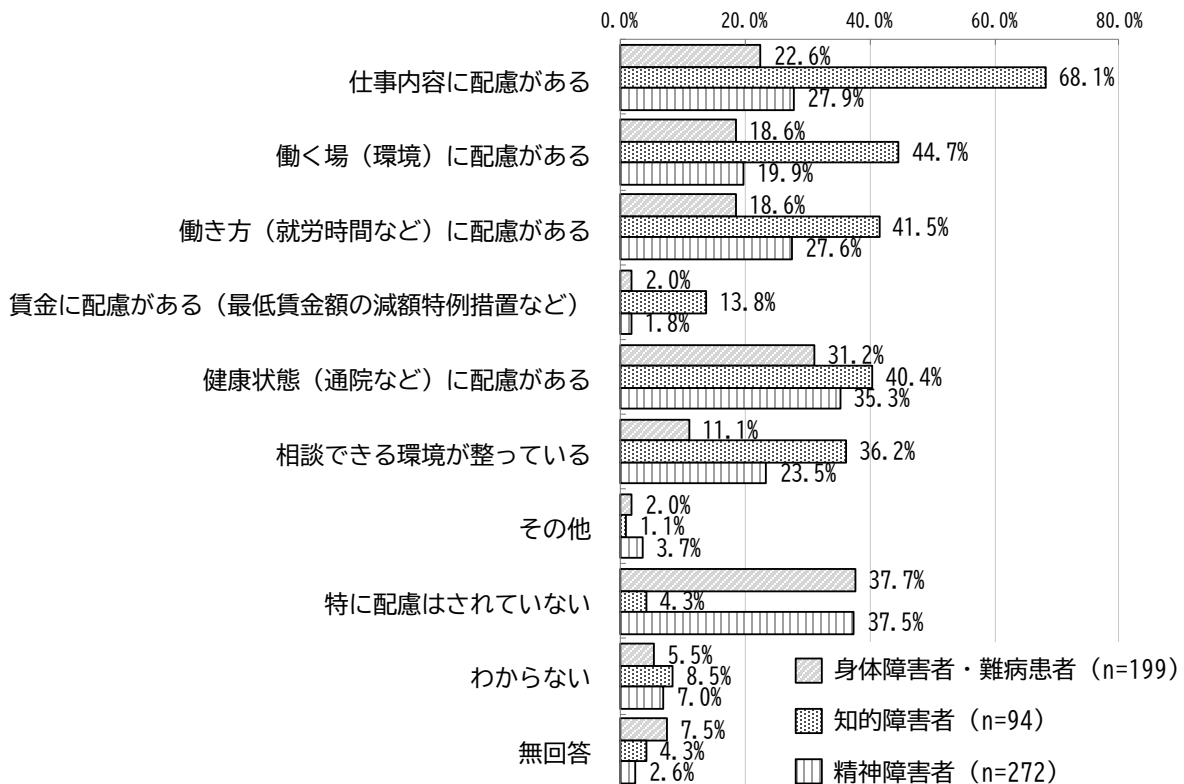
<知的障害者 問21-3>

<精神障害者 問21-3>

就労先で何かしらの配慮がされているかについて、身体障害者・難病患者では「特に配慮はされていない」が37.7%と最も高く、次いで「健康状態（通院など）に配慮がある」が31.2%、「仕事内容に配慮がある」が22.6%となっています。

知的障害者では「仕事内容に配慮がある」が68.1%と最も高く、次いで「働く場（環境）に配慮がある」が44.7%、「働き方（就労時間など）に配慮がある」が41.5%となっています。

精神障害者では「特に配慮はされていない」が37.5%と最も高く、次いで「健康状態（通院など）に配慮がある」が35.3%、「仕事内容に配慮がある」が27.9%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

## クロス集計結果

相談したい暮らしの困りごと（現在）ごとにとみると、身体障害者・難病患者では仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）、人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）で「特に配慮はされていない」が他の相談したい暮らしの困りごと（現在）と比較して高くなっています。

知的障害者では、仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）、住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）で「特に配慮はされていない」が他の相談したい暮らしの困りごと（現在）と比較して高くなっています。

精神障害者では、家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）、仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）、人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）で「特に配慮はされていない」が他の相談したい暮らしの困りごと（現在）と比較して高くなっています。

	1段目 人 2段目 %	合計	問 就労先で何かしらの配慮がされているか									
			仕事内容に配慮がある	働く場（環境）に配慮がある	働き方（就労時間など）に配慮がある	特例措置など）	賃金に配慮がある（最低賃金額の減額	健康状態（通院など）に配慮がある	相談できる環境が整っている	その他	特に配慮はされていない	わからない
（身体障害者・難病患者の困りごと（現在）相談した	家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）	39 100.0%	11 28.2%	8 20.5%	13 33.3%	1 2.6%	15 38.5%	4 10.3%	2 5.1%	9 23.1%	2 5.1%	2 5.1%
	近所・地域のこと（近所の人とのトラブル、障害や病気に対する理解など）	11 100.0%	4 36.4%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%
	健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）	41 100.0%	10 24.4%	9 22.0%	9 22.0%	0 0.0%	10 24.4%	2 4.9%	1 2.4%	17 41.5%	2 4.9%	2 4.9%
	お金のこと（収入、お金の管理など）	52 100.0%	10 19.2%	11 21.2%	12 23.1%	1 1.9%	21 40.4%	5 9.6%	3 5.8%	18 34.6%	0 0.0%	4 7.7%
	仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）	20 100.0%	4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	12 60.0%	0 0.0%	1 5.0%
	人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 62.5%	0 0.0%	1 12.5%
	住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）	16 100.0%	5 31.3%	4 25.0%	6 37.5%	1 6.3%	4 25.0%	3 18.8%	0 0.0%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%
	その他	20 100.0%	7 35.0%	5 25.0%	6 30.0%	3 15.0%	4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%	9 45.0%	0 0.0%	2 10.0%
	特に困っていることはない	87 100.0%	16 18.4%	13 14.9%	12 13.8%	1 1.1%	28 32.2%	12 13.8%	1 1.1%	35 40.2%	4 4.6%	9 10.3%

1段目 人 2段目 %	合計	問 就労先で何かしらの配慮がされているか										無回答
		仕事内容に配慮がある	働く場（環境）に配慮がある	働き方（就労時間など）に配慮がある	賃金に配慮がある（最低賃金額の減額特例措置など）	健康状態（通院など）に配慮がある	相談できる環境が整っている	その他	特に配慮はされていない	わからない		
（知的障害者の困りごと）（現在）相談したい暮らし	家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）	29	9	6	11	3	6	4	0	0	3	13
	100.0%	31.0%	20.7%	37.9%	10.3%	20.7%	13.8%	0.0%	0.0%	10.3%	44.8%	
	近所・地域のこと（近所の人とのトラブル、障害や病気に対する理解など）	9	2	1	1	0	2	0	0	1	0	6
	100.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	66.7%	
	健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）	27	11	8	8	1	8	3	0	1	1	11
	100.0%	40.7%	29.6%	29.6%	3.7%	29.6%	11.1%	0.0%	3.7%	3.7%	40.7%	
	お金のこと（収入、お金の管理など）	48	19	14	13	6	14	10	0	3	4	19
	100.0%	39.6%	29.2%	27.1%	12.5%	29.2%	20.8%	0.0%	6.3%	8.3%	39.6%	
	仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）	8	2	1	1	0	2	1	0	2	1	3
100.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%		
（精神障害者の困りごと）（現在）相談したい暮らし	人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）	43	22	14	12	3	12	11	0	2	0	15
	100.0%	51.2%	32.6%	27.9%	7.0%	27.9%	25.6%	0.0%	4.7%	0.0%	34.9%	
	住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）	6	2	3	3	1	2	1	0	2	0	1
	100.0%	33.3%	50.0%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	
	その他	16	4	3	3	0	1	0	1	1	0	9
	100.0%	25.0%	18.8%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	56.3%	
	特に困っていることはない	69	35	26	23	9	19	20	0	1	3	22
	100.0%	50.7%	37.7%	33.3%	13.0%	27.5%	29.0%	0.0%	1.4%	4.3%	31.9%	
	（知的障害者の困りごと）（現在）相談したい暮らし	家族のこと（家族の健康状態、家族の不在で手助けを受けられないなど）	144	21	13	19	1	26	23	4	30	6
100.0%		14.6%	9.0%	13.2%	0.7%	18.1%	16.0%	2.8%	20.8%	4.2%	47.9%	
近所・地域のこと（近所の人とのトラブル、障害や病気に対する理解など）		38	4	2	3	1	6	6	0	6	2	25
100.0%		10.5%	5.3%	7.9%	2.6%	15.8%	15.8%	0.0%	15.8%	5.3%	65.8%	
健康・医療のこと（障害や病気の状態が良くない、病院が近くにないなど）		198	29	16	26	2	35	24	4	27	11	109
100.0%		14.6%	8.1%	13.1%	1.0%	17.7%	12.1%	2.0%	13.6%	5.6%	55.1%	
お金のこと（収入、お金の管理など）		260	41	30	36	4	43	32	6	40	16	137
100.0%		15.8%	11.5%	13.8%	1.5%	16.5%	12.3%	2.3%	15.4%	6.2%	52.7%	
仕事のこと（仕事が見つからない、仕事が長続きしないなど）		182	25	17	30	4	35	21	6	32	11	86
100.0%	13.7%	9.3%	16.5%	2.2%	19.2%	11.5%	3.3%	17.6%	6.0%	47.3%		
（精神障害者の困りごと）（現在）相談したい暮らし	人との付き合いのこと（周りの人とうまくコミュニケーションが取れないなど）	146	27	19	24	3	27	20	3	29	7	71
	100.0%	18.5%	13.0%	16.4%	2.1%	18.5%	13.7%	2.1%	19.9%	4.8%	48.6%	
	住まいのこと（バリアフリーになっていないなど）	47	8	4	5	1	3	6	0	8	4	28
	100.0%	17.0%	8.5%	10.6%	2.1%	6.4%	12.8%	0.0%	17.0%	8.5%	59.6%	
	その他	53	8	6	6	1	9	7	2	8	3	29
	100.0%	15.1%	11.3%	11.3%	1.9%	17.0%	13.2%	3.8%	15.1%	5.7%	54.7%	
	特に困っていることはない	130	17	11	15	0	25	16	2	33	6	50
	100.0%	13.1%	8.5%	11.5%	0.0%	19.2%	12.3%	1.5%	25.4%	4.6%	38.5%	

第1章  
調査概要

第2章

調査結果  
①身体障害者  
・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者

第3章

調査結果  
④子ども

第4章

調査結果  
⑤障害福祉  
サービス  
事業所

問 あなたは、障害などのある人が働くために、どのような環境が必要だと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問22>

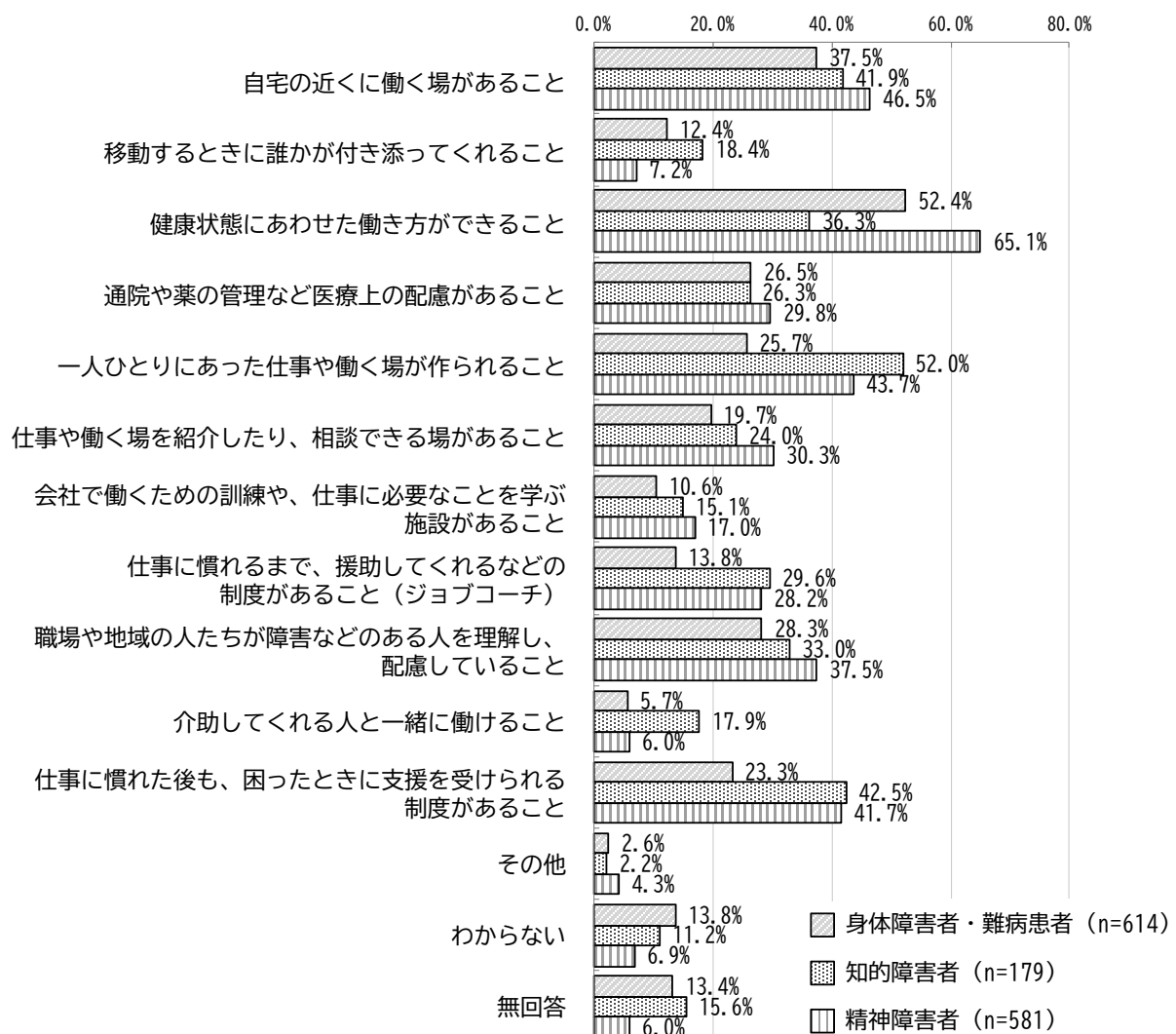
<知的障害者 問22>

<精神障害者 問22>

障害のある人が働くために必要な環境について、身体障害者・難病患者では「健康状態にあわせた働き方ができること」が52.4%と最も高く、次いで「自宅の近くに働く場があること」が37.5%、「職場や地域の人たちが障害などのある人を理解し、配慮していること」が28.3%となっています。

知的障害者では「一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること」が52.0%と最も高く、次いで「仕事に慣れた後も、困ったときに支援を受けられる制度があること」が42.5%、「自宅の近くに働く場があること」が41.9%となっています。

精神障害者では「健康状態にあわせた働き方ができること」が65.1%と最も高く、次いで「自宅の近くに働く場があること」が46.5%、「一人ひとりにあった仕事や働く場が作られること」が43.7%となっています。



## 8 社会参加・文化余暇活動の状況について

問 あなたは、地域（町会など）や区が行うイベントや行事に参加したことはありますか。

<身体障害者・難病患者 問23>

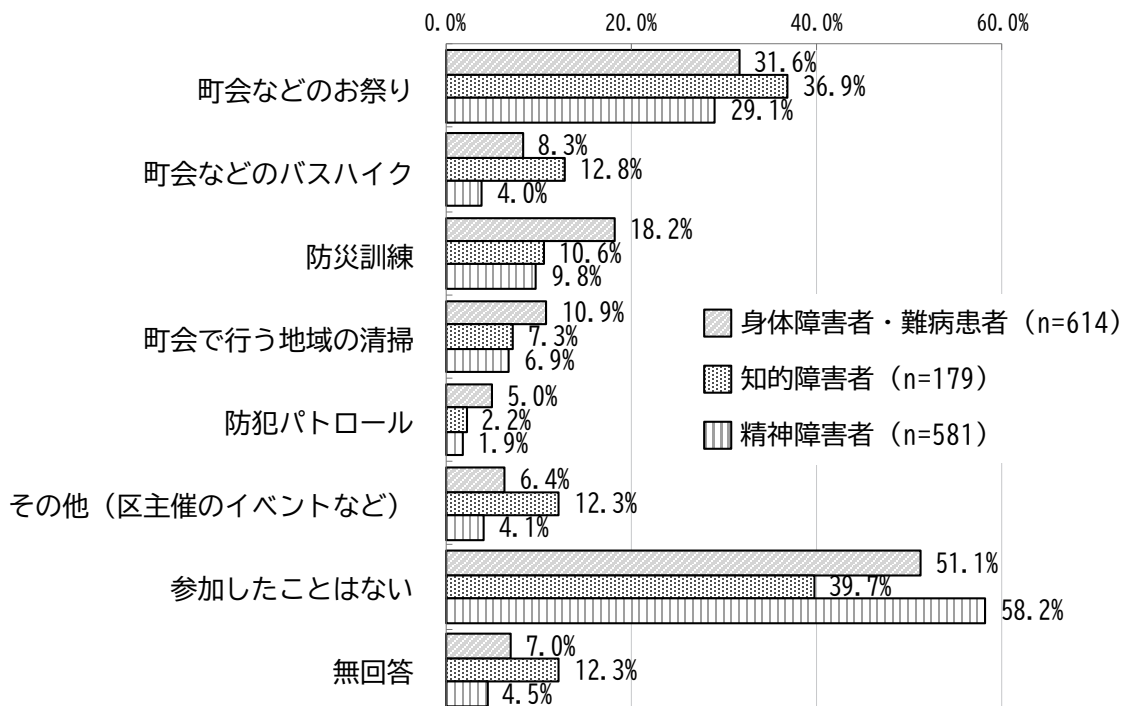
<知的障害者 問23>

<精神障害者 問23>

地域（町会など）が行うイベントの参加状況について、身体障害者・難病患者では「参加したことはない」が 51.1%と最も高く、次いで「町会などのお祭り」が 31.6%、「防災訓練」が 18.2%となっています。

知的障害者では「参加したことはない」が 39.7%と最も高く、次いで「町会などのお祭り」が 36.9%、「町会などのバスハイク」が 12.8%となっています。

精神障害者では「参加したことはない」が 58.2%と最も高く、次いで「町会などのお祭り」が 29.1%、「防災訓練」が 9.8%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章

調査結果  
(④子ども)

第4章

調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

問 あなたは、どのような文化・芸術・余暇活動に参加したいですか。

<身体障害者・難病患者 問24>

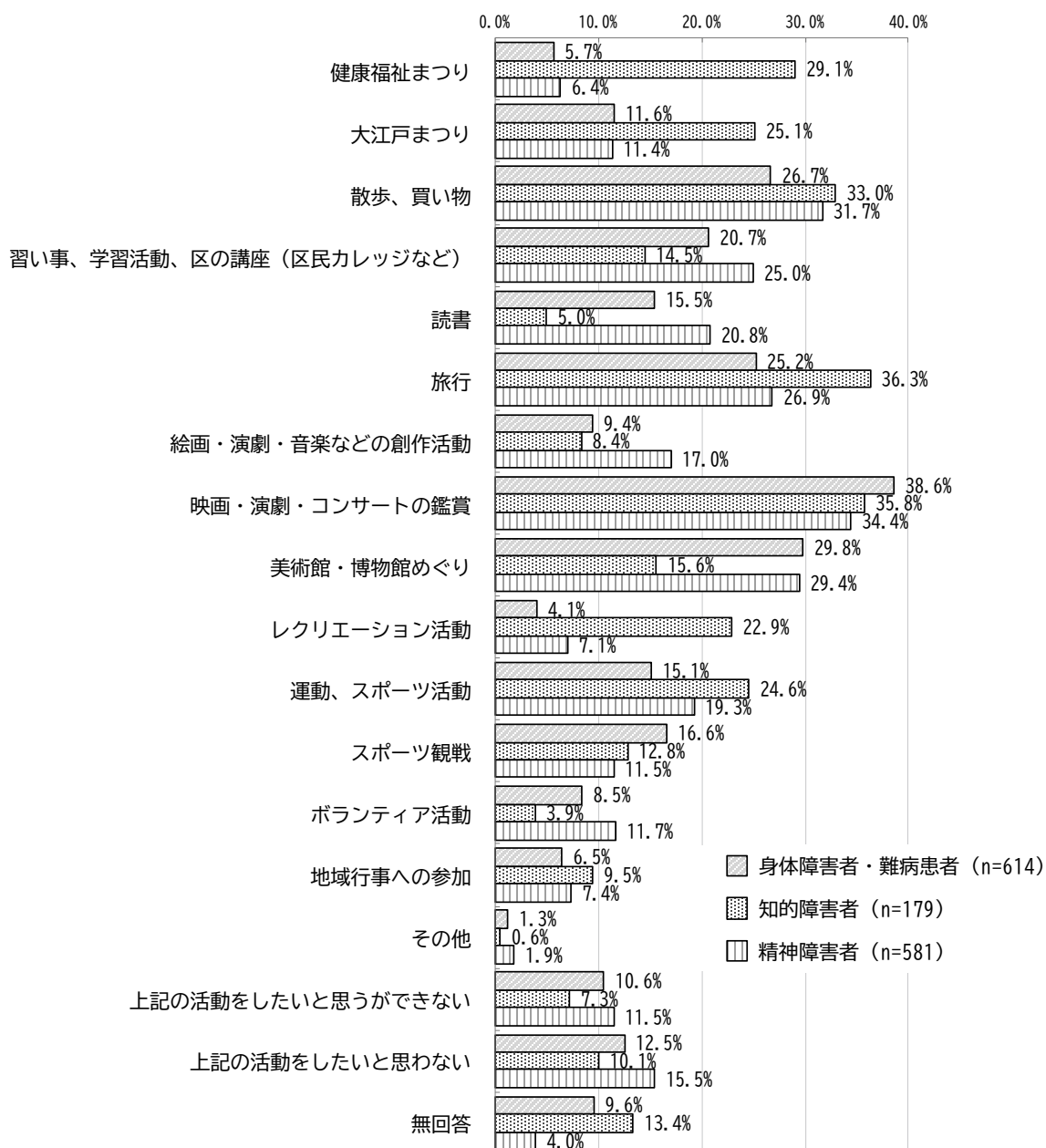
<知的障害者 問24>

<精神障害者 問24>

参加したい文化・芸術・余暇活動について、身体障害者・難病患者では「映画・演劇・コンサートなどの鑑賞」が38.6%と最も高く、次いで「美術館・博物館めぐり」が29.8%、「散歩・買い物」が26.7%となっています。

知的障害者では「旅行」が36.3%と最も高く、次いで「映画・演劇・コンサートなどの鑑賞」が35.8%、「散歩・買い物」が33.0%となっています。

精神障害者では「映画・演劇・コンサートなどの鑑賞」が34.4%と最も高く、次いで「散歩・買い物」が31.7%、「美術館・博物館めぐり」が29.4%となっています。



問 あなたは、外出や社会参加の困りごとや妨げになっていることはありますか。

<身体障害者・難病患者 問25>

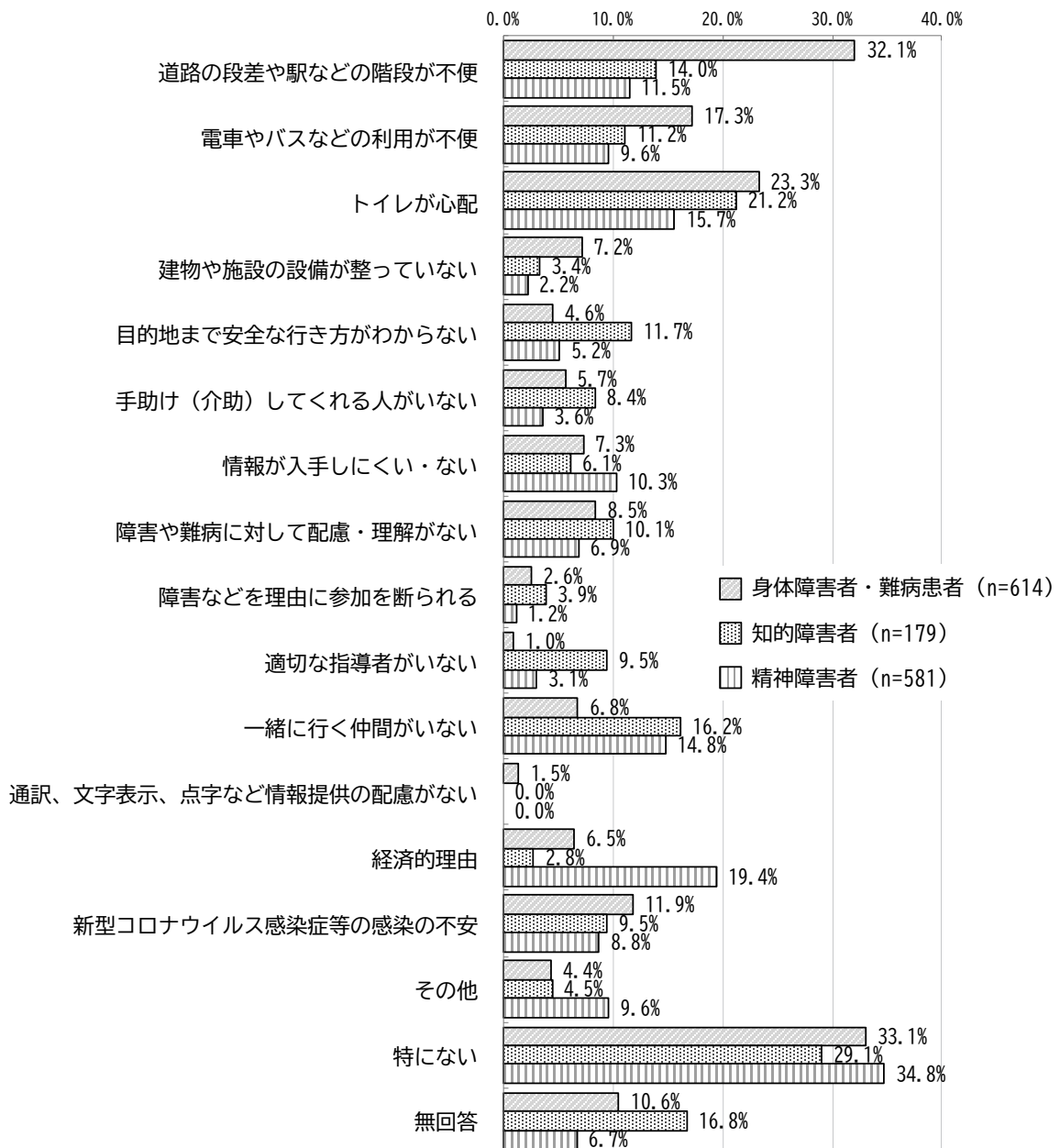
<知的障害者 問25>

<精神障害者 問25>

外出や社会参加の困りごと・妨げになっていることについて、身体障害者・難病患者では「特にない」が33.1%と最も高く、次いで「道路の段差や駅などの階段が不便」が32.1%、「トイレが心配」が23.3%となっています。

知的障害者では「特にない」が29.1%と最も高く、次いで「トイレが心配」が21.2%、「一緒に行く仲間がいない」が16.2%となっています。

精神障害者では「特にない」が34.8%と最も高く、次いで「経済的理由」が19.4%、「トイレが心配」が15.7%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果

- ④子ども

第4章

調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

## 9 権利擁護について

問 あなたは、「成年後見制度」について内容を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問26>

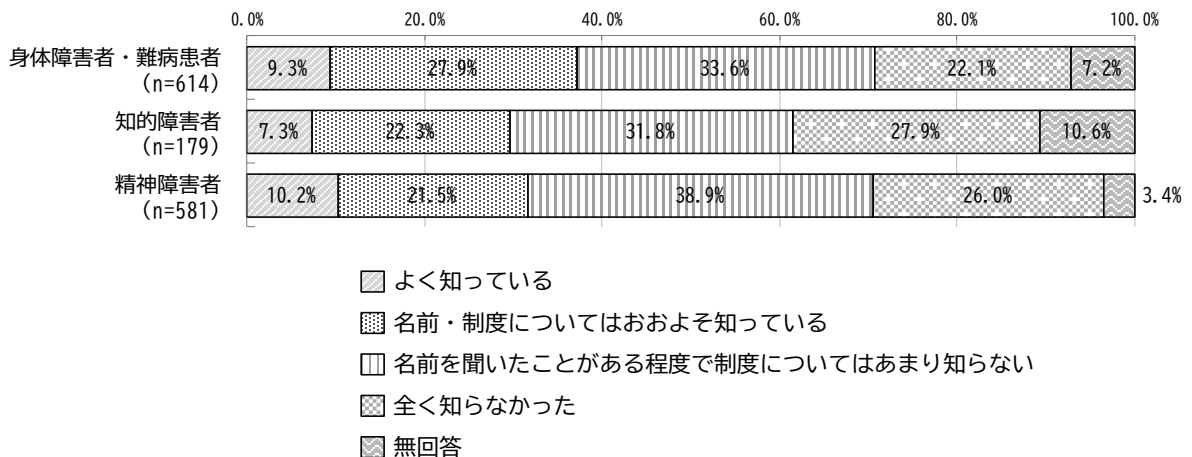
<知的障害者 問26>

<精神障害者 問26>

成年後見制度の内容の認知状況について、身体障害者・難病患者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が33.6%と最も高く、次いで「名前・制度についてはおおよそ知っている」が27.9%、「全く知らなかった」が22.1%となっています。

知的障害者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が31.8%と最も高く、次いで「全く知らなかった」が27.9%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が22.3%となっています。

精神障害者では「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が38.9%と最も高く、次いで「全く知らなかった」が26.0%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が21.5%となっています。



問 あなたは、「法人後見」について内容を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問27>

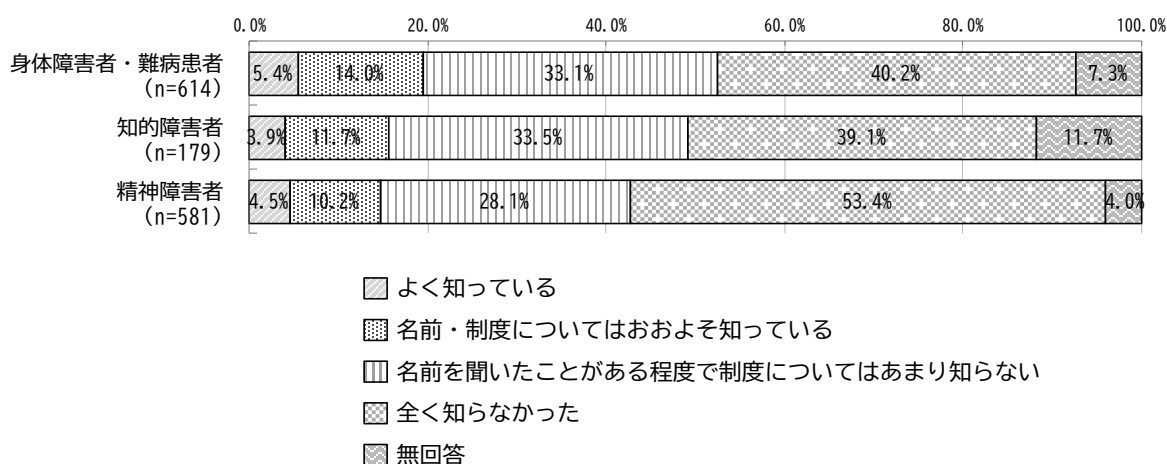
<知的障害者 問27>

<精神障害者 問27>

法人後見制度の内容の認知状況について、身体障害者・難病患者では「全く知らなかった」が40.2%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が33.1%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が14.0%となっています。

知的障害者では「全く知らなかった」が39.1%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が33.5%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が11.7%となっています。

精神障害者では「全く知らなかった」が53.4%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が28.1%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が10.2%となっています。



問 あなたは、「法人後見」を利用したいと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問28>

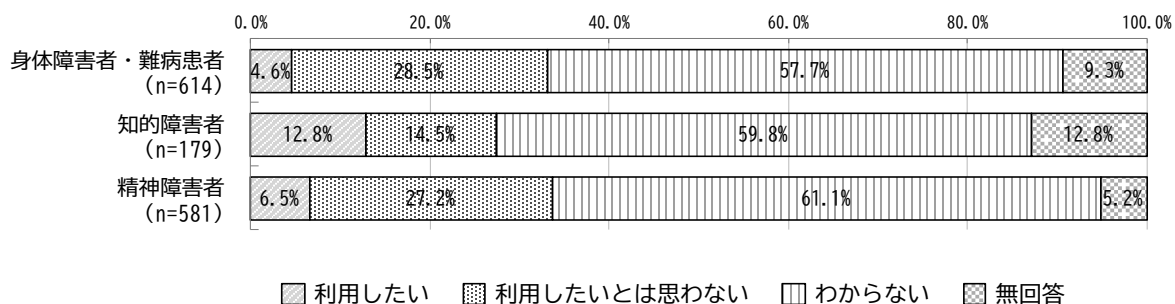
<知的障害者 問28>

<精神障害者 問28>

法人後見制度の利用意向について、身体障害者・難病患者では「わからない」が57.7%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が28.5%、「利用したい」が4.6%となっています。

知的障害者では「わからない」が59.8%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が14.5%、「利用したい」が12.8%となっています。

精神障害者では「わからない」が61.1%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が27.2%、「利用したい」が6.5%となっています。



## 10 障害等の理解について

問 あなたは、障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解について、どのように感じていますか。

<身体障害者・難病患者 問29>

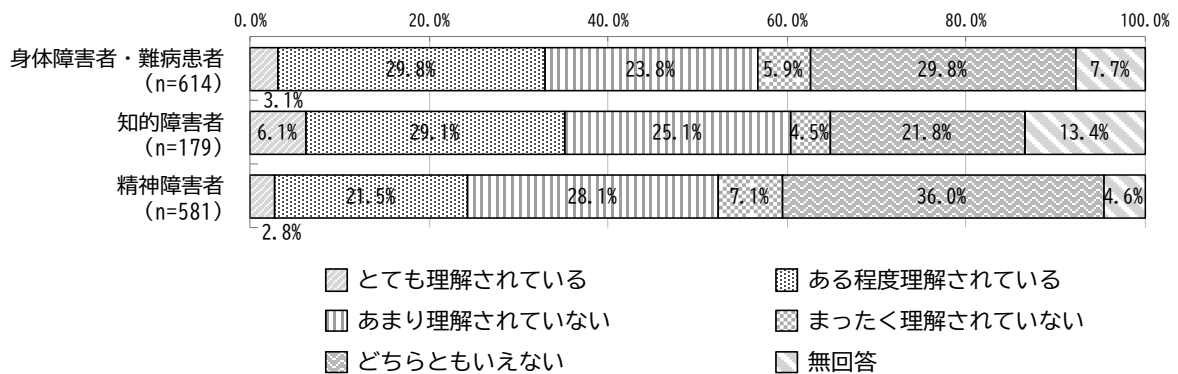
<知的障害者 問29>

<精神障害者 問29>

障害や障害者、難病や難病患者に対する区民の理解度について、身体障害者・難病患者では「ある程度理解されている」「どちらともいえない」が29.8%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」が23.8%、「まったく理解されていない」が5.9%となっています。

知的障害者では「ある程度理解されている」が29.1%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」が25.1%、「どちらともいえない」が21.8%となっています。

精神障害者では「どちらともいえない」が36.0%と最も高く、次いで「あまり理解されていない」が28.1%、「ある程度理解されている」が21.5%となっています。



## 第1章

調査概要

## 第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

## 第3章

調査結果

- (④子ども)

## 第4章

調査結果

- (⑤障害福祉サービス事業所)

問 あなたは、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと思いますか。

<身体障害者・難病患者 問32>

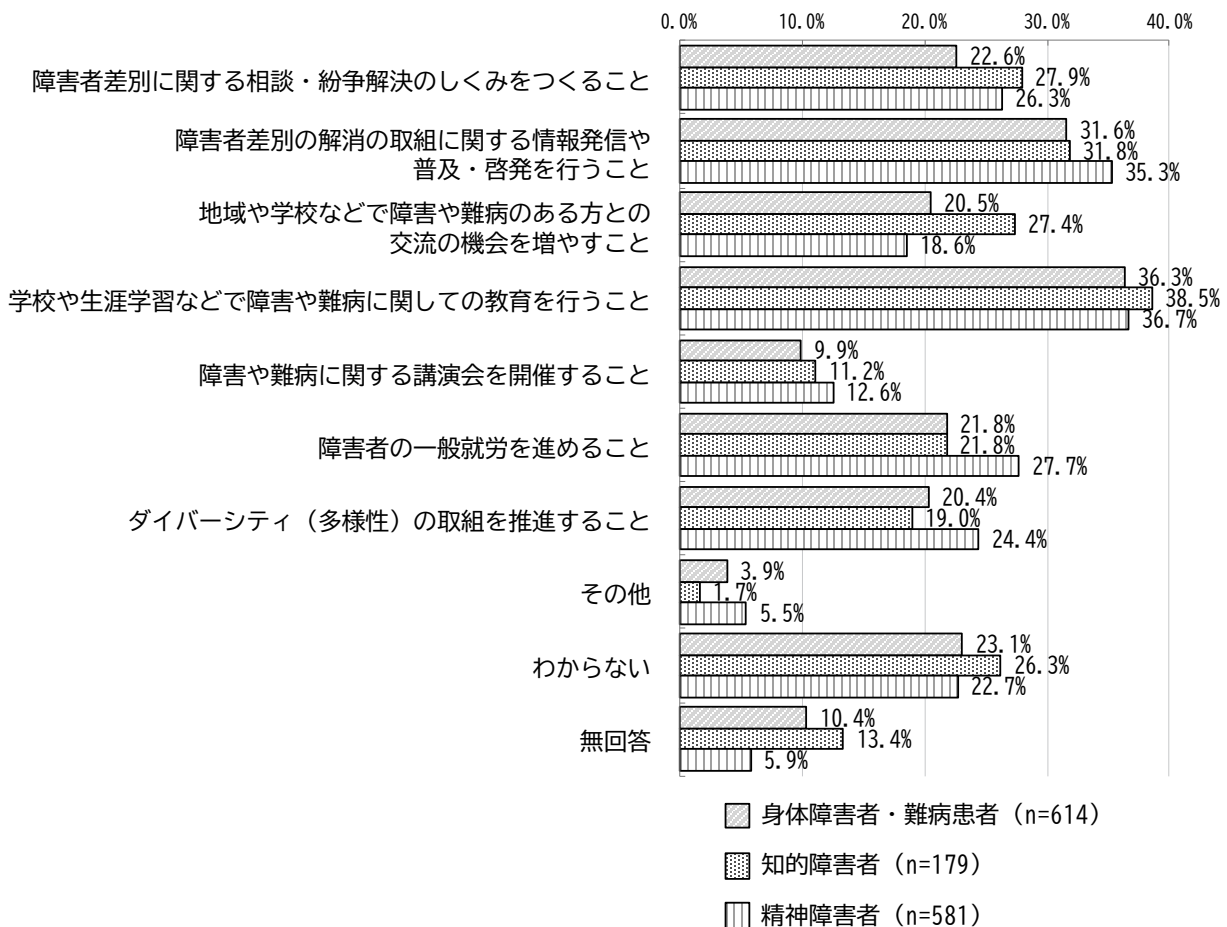
<知的障害者 問32>

<精神障害者 問32>

差別解消の推進に必要なと思うものについて、身体障害者・難病患者では「学校や生涯学習などで障害や難病についての教育を行うこと」が36.3%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が31.6%、「わからない」が23.1%となっています。

知的障害者では「学校や生涯学習などで障害や難病についての教育を行うこと」が38.5%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が31.8%、「障害者差別に関する相談・紛争解決のしくみをつくること」が27.9%となっています。

精神障害者では「学校や生涯学習などで障害や難病についての教育を行うこと」が36.7%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が35.3%、「障害者の一般就労を進めること」が27.7%となっています。



問 あなたは、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。

<身体障害者・難病患者 問34>

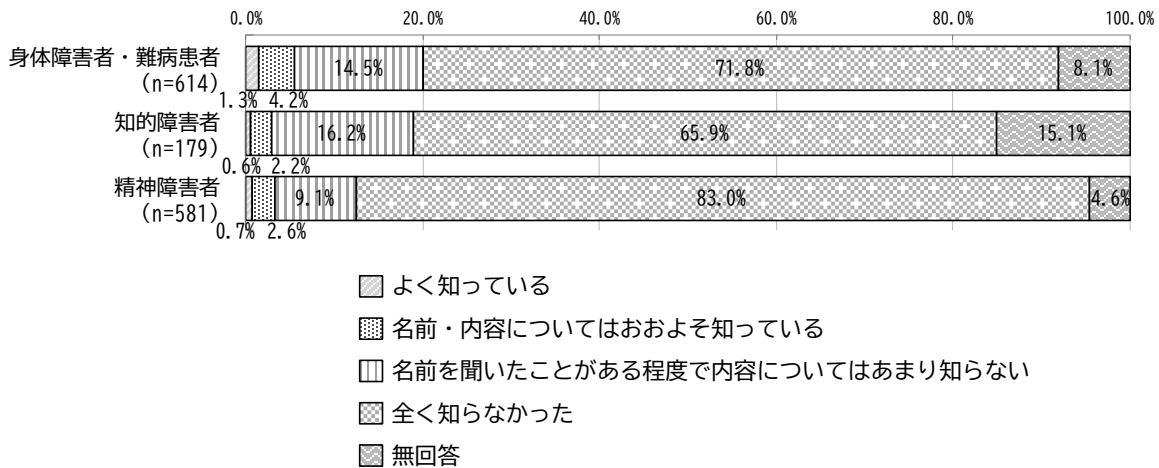
<知的障害者 問34>

<精神障害者 問34>

「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況について、身体障害者・難病患者では「全く知らなかった」が71.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が14.5%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が4.2%となっています。

知的障害者では「全く知らなかった」が65.9%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が16.2%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が2.2%となっています。

精神障害者では「全く知らなかった」が83.0%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が9.1%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が2.6%となっています。



## 11 今後の区の取組について

問 あなたは、中央区で実施している障害者（児）および難病患者を対象とした施策について満足していますか。

<身体障害者・難病患者 問37>

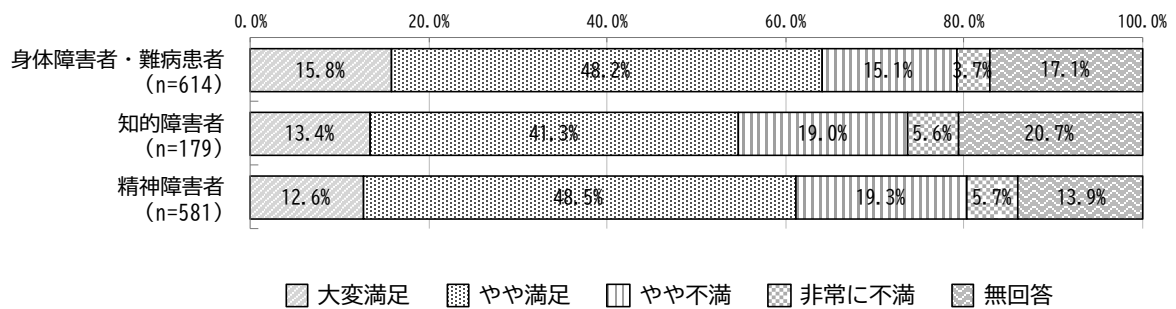
<知的障害者 問37>

<精神障害者 問37>

中央区の施策・サービスの満足度について、身体障害者・難病患者では「やや満足」が48.2%と最も高く、次いで「大変満足」が15.8%、「やや不満」が15.1%となっています。

知的障害者では「やや満足」が41.3%と最も高く、次いで「やや不満」が19.0%、「大変満足」が13.4%となっています。

精神障害者では「やや満足」が48.5%と最も高く、次いで「やや不満」が19.3%、「大変満足」が12.6%となっています。



問 あなたにとって、区の障害者施策に限らず中央区での暮らしはいかがですか。

<身体障害者・難病患者 問38>

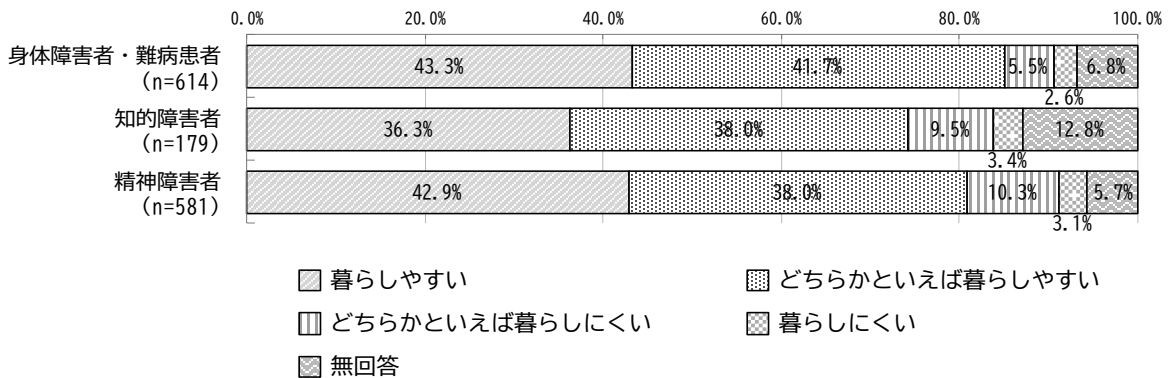
<知的障害者 問38>

<精神障害者 問38>

中央区の暮らしやすさについて、身体障害者・難病患者では「暮らしやすい」が43.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしやすい」が41.7%、「どちらかといえば暮らしにくい」が5.5%となっています。

知的障害者では「どちらかといえば暮らしやすい」が38.0%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が36.3%、「どちらかといえば暮らしにくい」が9.5%となっています。

精神障害者では「暮らしやすい」が42.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば暮らしやすい」が38.0%、「どちらかといえば暮らしにくい」が10.3%となっています。



第1章

調査概要

第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

第3章

調査結果  
(④子ども)

第4章

調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)



# 第 3 章

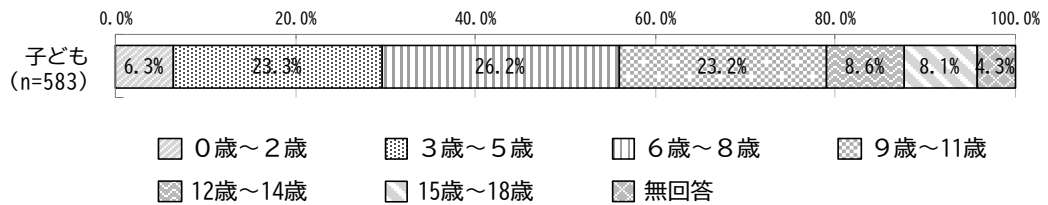
## 調査結果

### ④子ども

# 1 お子さんと家族の状況について

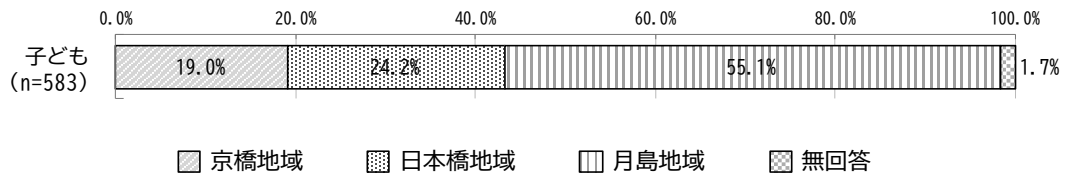
問2 お子さんの令和7年4月1日現在の年齢を教えてください。

お子さんの年齢について、「6歳～8歳」が26.2%と最も高く、次いで「3歳～5歳」が23.3%、「9歳～11歳」が23.2%となっています。



問3 お子さんが、現在、住んでいる地域はどこですか。

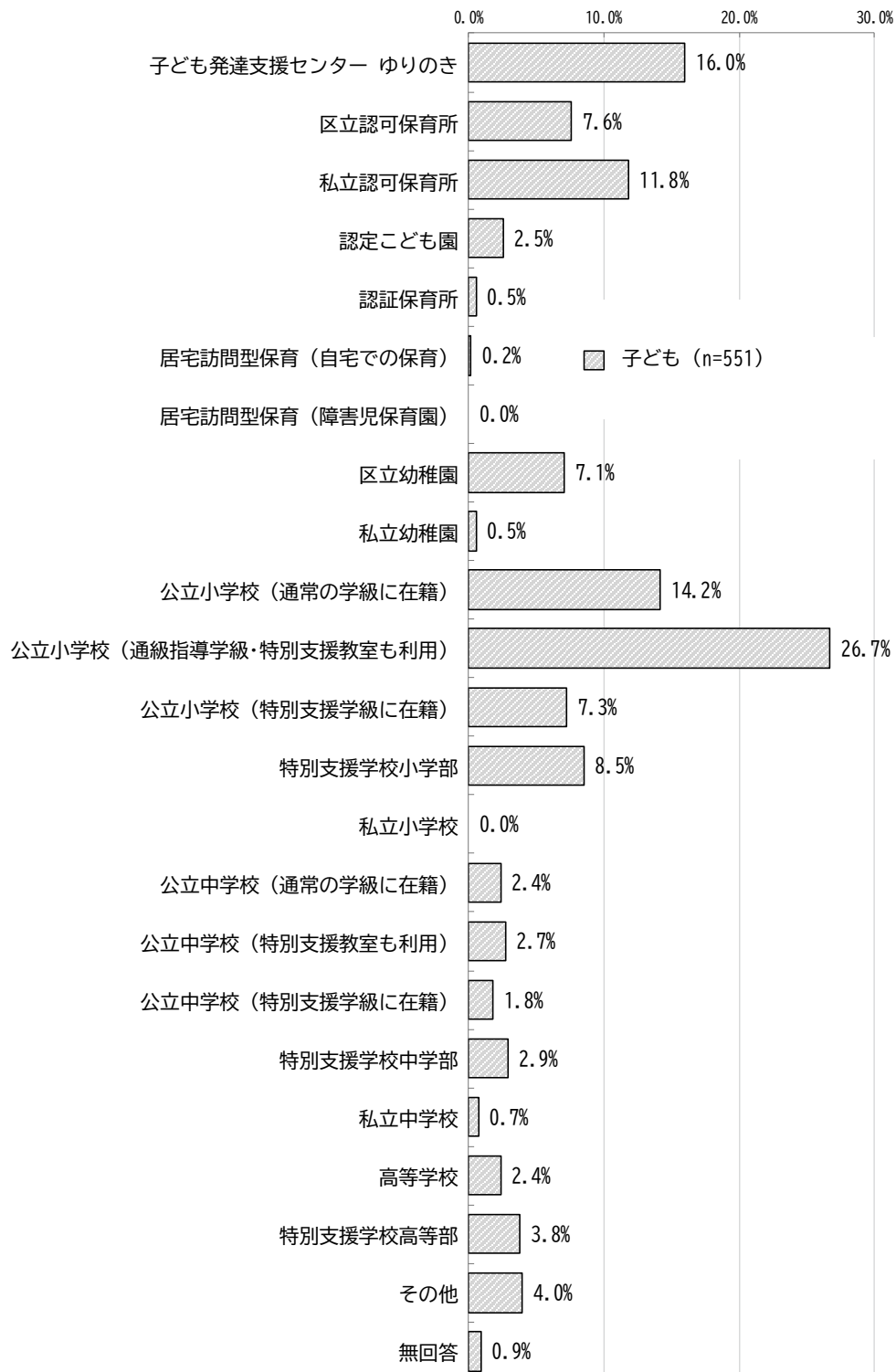
居住地について、「月島地域」が55.1%と最も高く、次いで「日本橋地域」が24.2%、「京橋地域」が19.0%となっています。



## 2 通園・通学の状況について

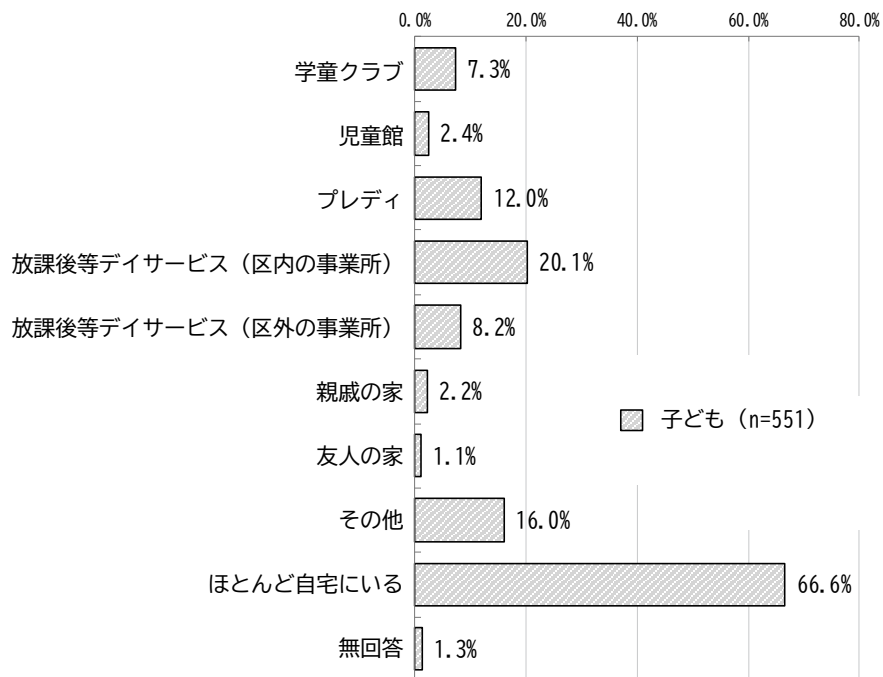
問5-1 お子さんが現在、通園・通学・通所しているのはどこですか。

通園・通学・通所先について、「公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）」が26.7%と最も高く、次いで「子ども発達支援センターゆりのき」が16.0%、「公立小学校（通常の学級に在籍）」が14.2%となっています。



問5-3 お子さんは、保育所・幼稚園・学校などが終わった後にどこで過ごしていますか。

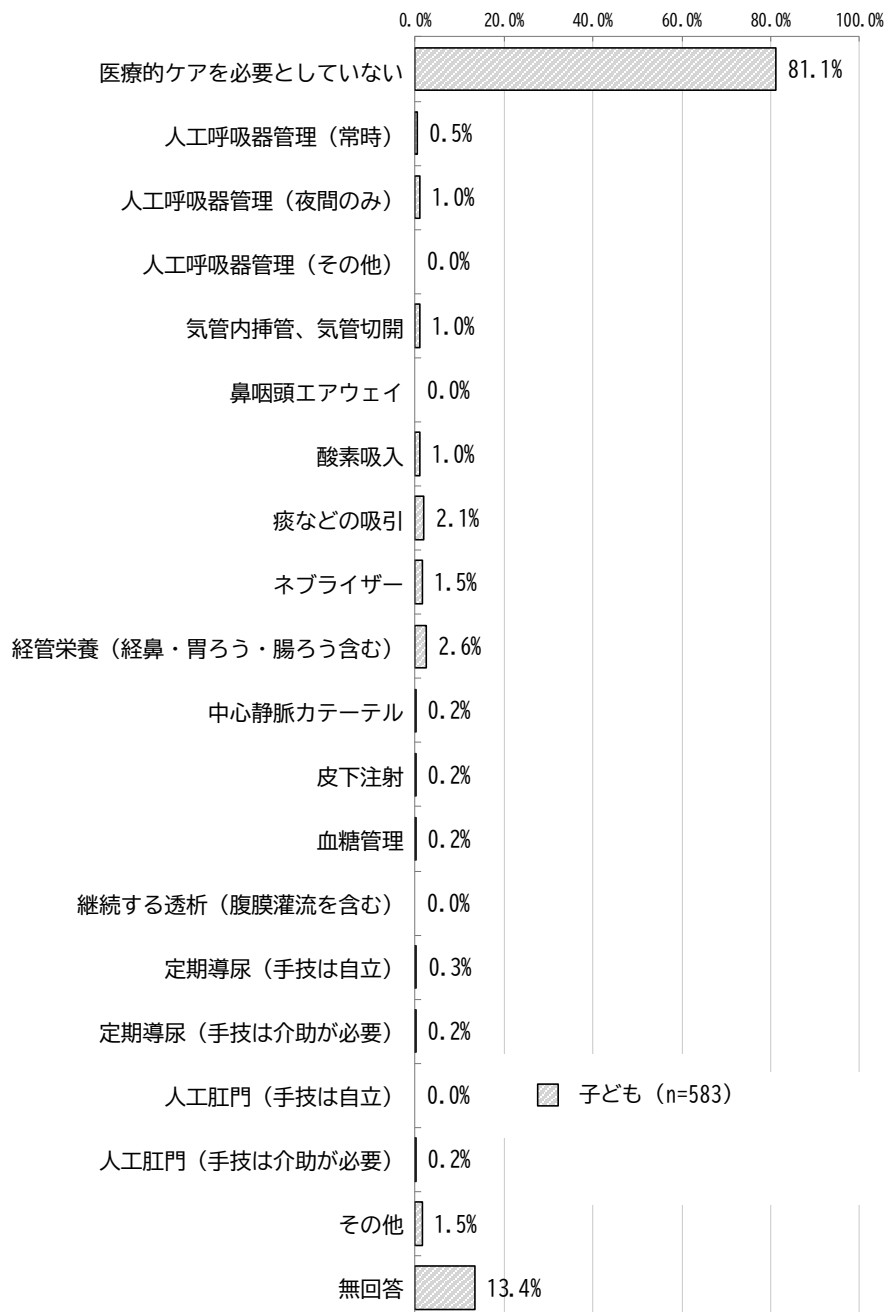
保育所・幼稚園・学校などが終わった後に過ごしている場所について、「ほとんど自宅にいる」が66.6%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス（区内の事業所）」が20.1%、「その他」が16.0%となっています。



### 3 サービスの利用状況について

問6 お子さんは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。

日常的に必要なとしている医療的ケアについて、「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」が2.6%、「痰などの吸引」が2.1%となっています。



第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

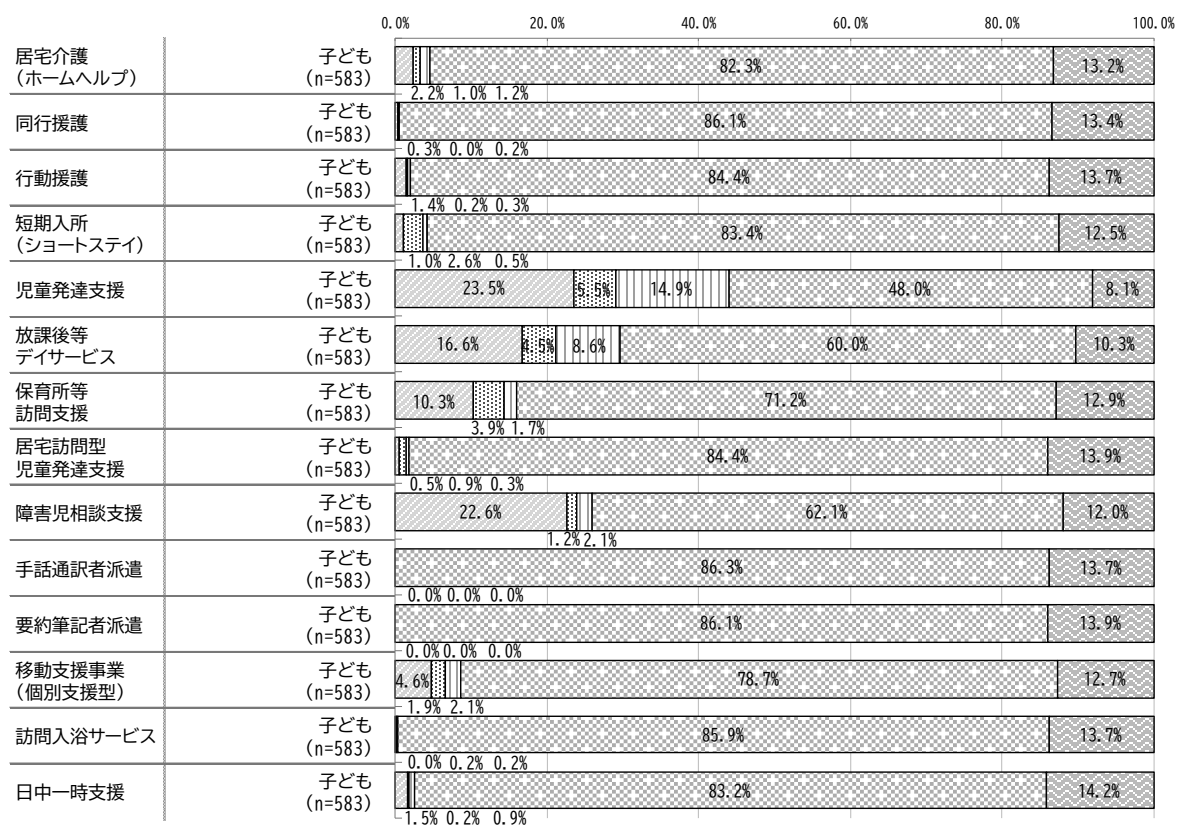
第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

問10 (1) 令和6年4月以降、お子さんは、次の障害(児)福祉サービス、地域生活支援事業を利用したことがありますか。ア)～セ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(2) お子さんが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。ア)～セ)の項目についてそれぞれ該当する数字に○をつけてください。

(1) 障害(児)福祉サービスの利用状況

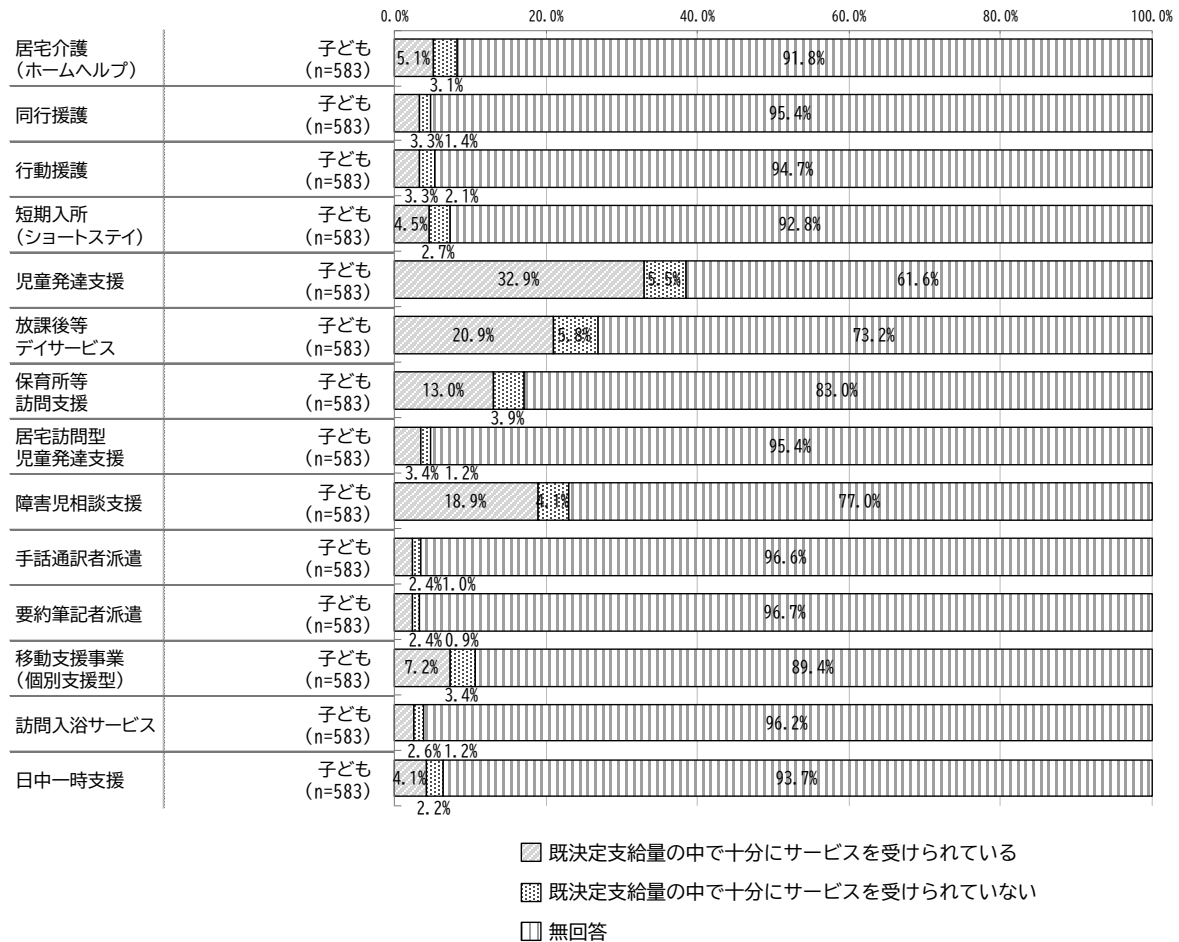
障害(児)福祉サービスの利用状況について、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援、移動支援事業(個別支援型)において5.0%以上の人が利用しています。



- 区内事業所を利用したことがあるが区外事業所を利用したことはない
- ▨ 区外事業所を利用したことがあるが区内事業所を利用したことはない
- ▤ 区内事業所・区外事業所両方を利用したことがある
- 利用したことはない
- 無回答

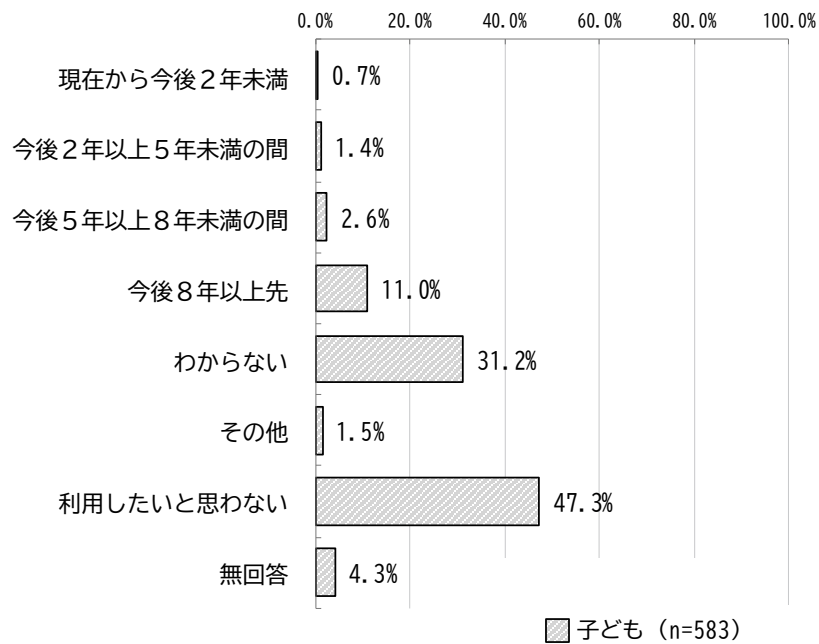
## (2) 障害（児）福祉サービス支給量のニーズ充足度

障害（児）福祉サービス支給量のニーズ充足度について、いずれの障害（児）福祉サービスにおいても「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられていない」が「既決定支給量の中で十分にサービスを受けられている」を下回っています。



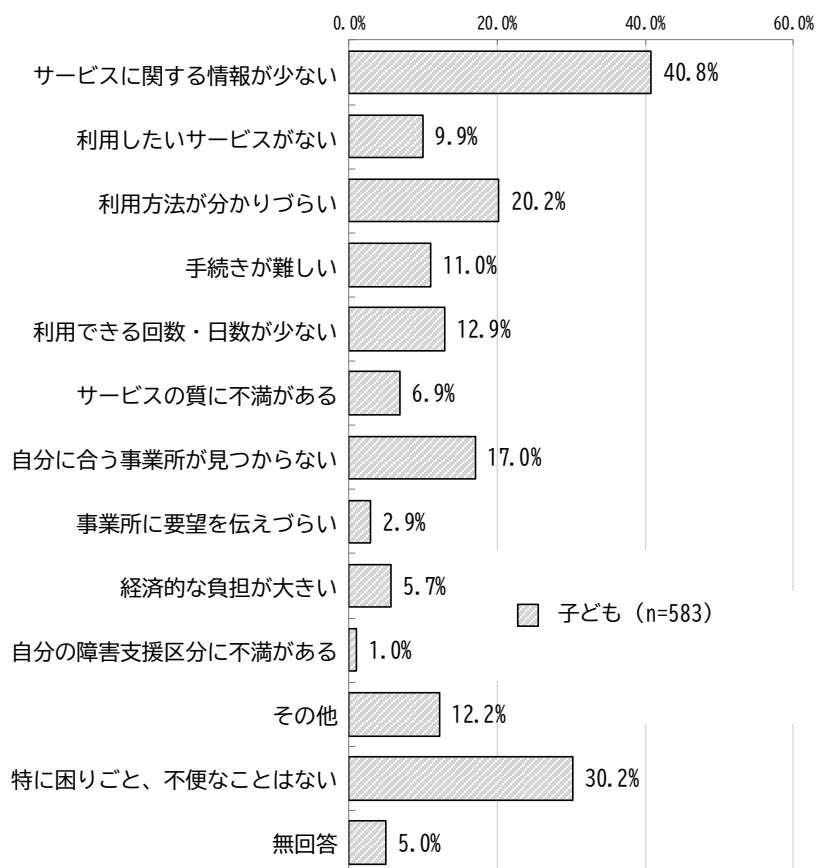
問11 中央区では、地域で共同生活を営むことができる18歳以上の障害者等に対して、主に夜間に共同生活を営む住居において相談等の日常生活上の援助を行う、共同生活援助（グループホーム）を提供しています。共同生活援助（グループホーム）はいつから利用を開始したいですか。

グループホームの利用を開始したい時期について、「利用したいと思わない」が47.3%と最も高く、次いで「わからない」が31.2%、「今後8年以上先」が11.0%となっています。



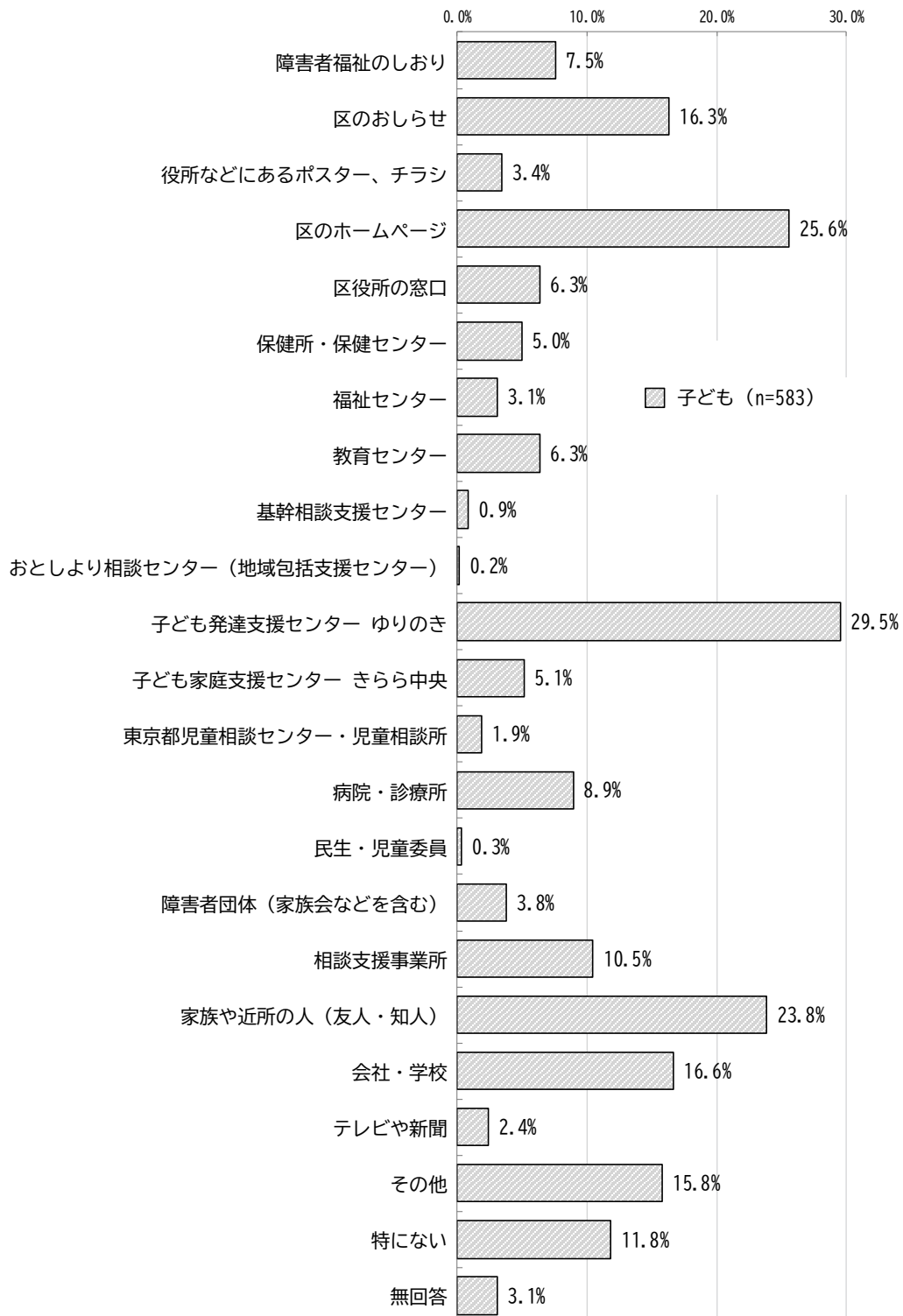
問13 サービスの利用で、困ったり、不便だと思うことはありますか。

サービス利用での困りごとについて、「サービスに関する情報が少ない」が40.8%と最も高く、次いで「特に困りごと、不便なことはない」が30.2%、「利用方法が分かりづらい」が20.2%となっています。



問14 あなた（主たる養育者の方）は、どこから福祉サービスなどの情報を得ていますか。

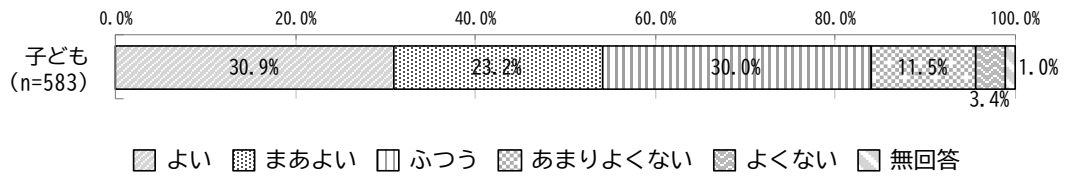
福祉サービスの情報入手先について、「子ども発達支援センターゆりのき」が29.5%と最も高く、次いで「区ホームページ」が25.6%、「家族や近所の人（友人・知人）」が23.8%となっています。



## 4 主たる養育者の状況について

問16 あなた（主たる養育者の方）は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。

主たる養育者の健康状態について、「よい」が30.9%と最も高く、次いで「ふつう」が30.0%、「まあよい」が23.2%となっています。



第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

## クロス集計結果

日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の主たる養育者の健康状態は「あまりよくない」の人数・割合が高くなっています。

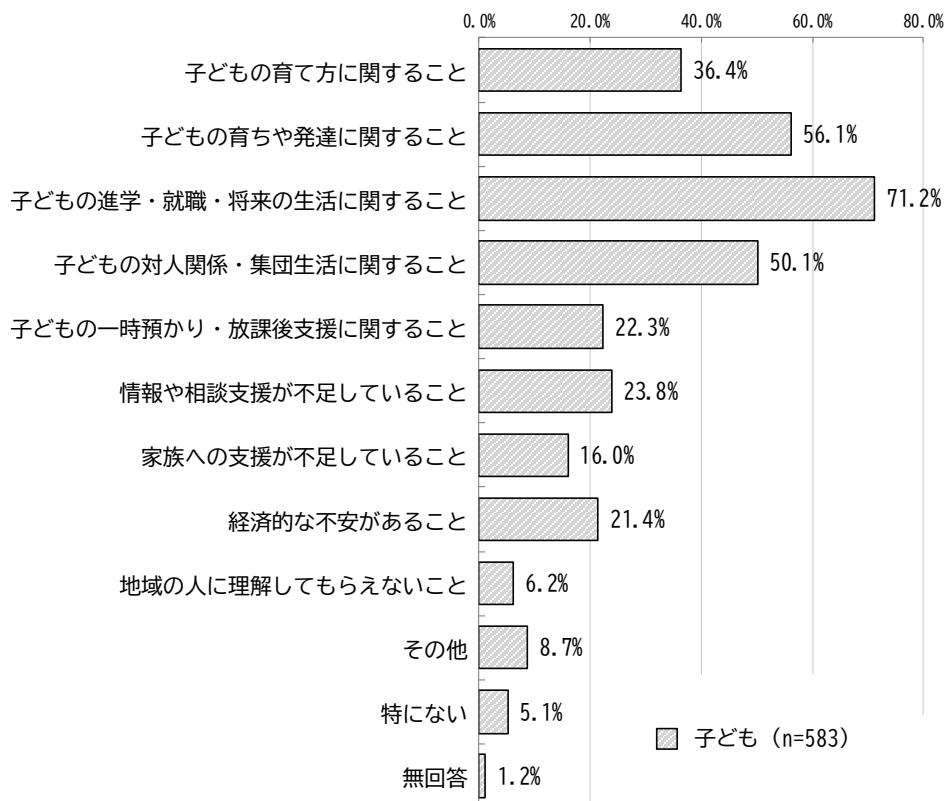
	1段目 人 2段目 %	合計	問16 主たる養育者の健康状態					
			よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
へ子ども 問6 日常的に必要なとしている医療的ケア	医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	152 32.1%	114 24.1%	140 29.6%	48 10.1%	14 3.0%	5 1.1%
	医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	8 24.2%	5 15.2%	7 21.2%	8 24.2%	5 15.2%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	気管内挿管、気管切開	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	酸素吸入	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%
	痰などの吸引	12 100.0%	2 16.7%	2 16.7%	2 16.7%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%
	ネブライザー	9 100.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%
	経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	4 26.7%	2 13.3%	3 20.0%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%
	中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

## 5 相談について

問18 あなた（主たる養育者の方）は、現在、困っていることや不安に思っていることがありますか。

主たる養育者自身の困りごとや不安に思っていることについて、「子どもの進学・就職・将来の生活に関すること」が71.2%と最も高く、次いで「子どもの育ちや発達に関すること」が56.1%、「子どもの対人関係・集団生活に関すること」が50.1%となっています。



### 第1章

調査概要

### 第2章

調査結果

(①身体障害者  
・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

### 第3章

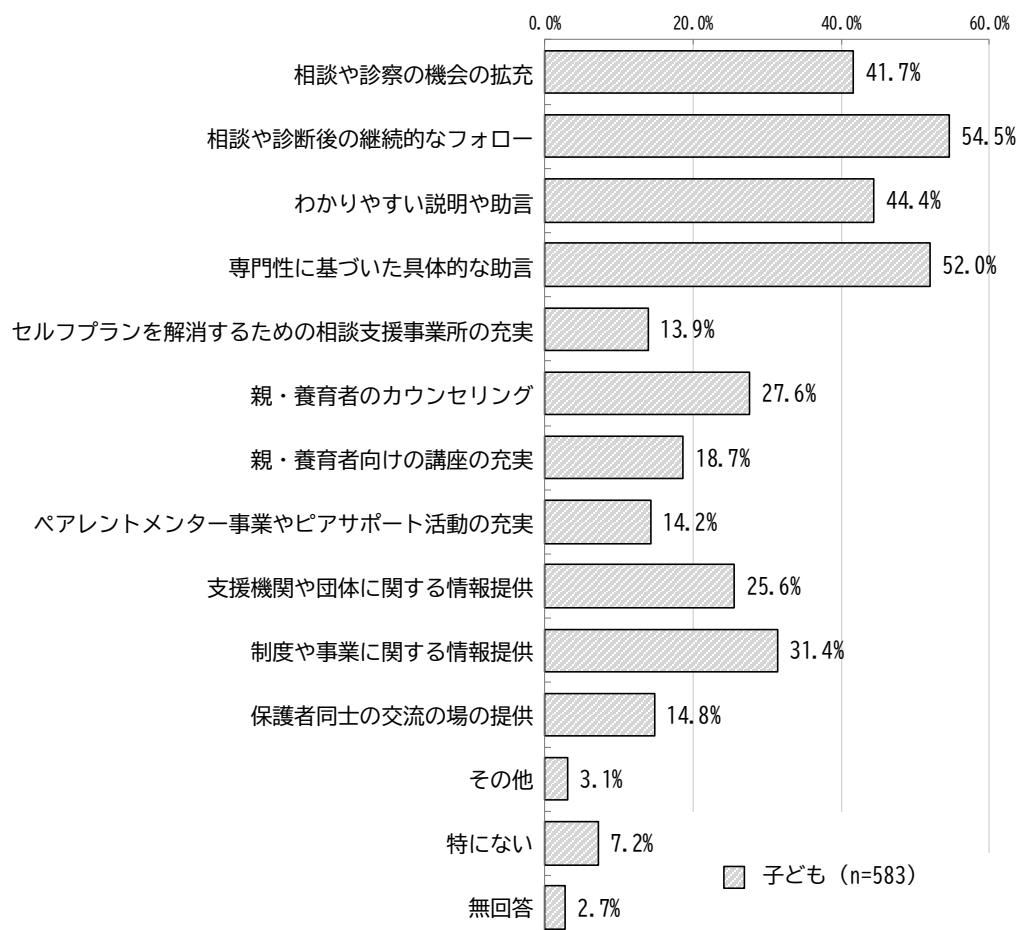
調査結果  
(④子ども)

### 第4章

調査結果  
(⑤障害福祉  
サービス  
事業所)

問22 あなた（主たる養育者の方）は、育ちや発達に関する専門機関や医療機関にどのような支援を希望しますか。

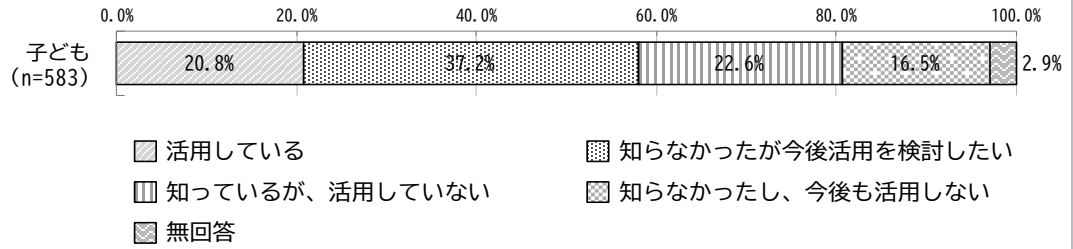
専門家に支援してほしいと思うことについて、「相談や診断後の継続的なフォロー」が54.5%と最も高く、次いで「専門性に基づいた具体的な助言」が52.0%、「わかりやすい説明や助言」が44.4%となっています。



## 6 子どもの育ち等への理解について

問23 「育ちのサポートカルテ」を活用されていますか。

「育ちのサポートカルテ」の活用状況について、「知らなかったが今後活用を検討したい」が37.2%と最も高く、次いで「知っているが、活用していない」が22.6%、「活用している」が20.8%となっています。



第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

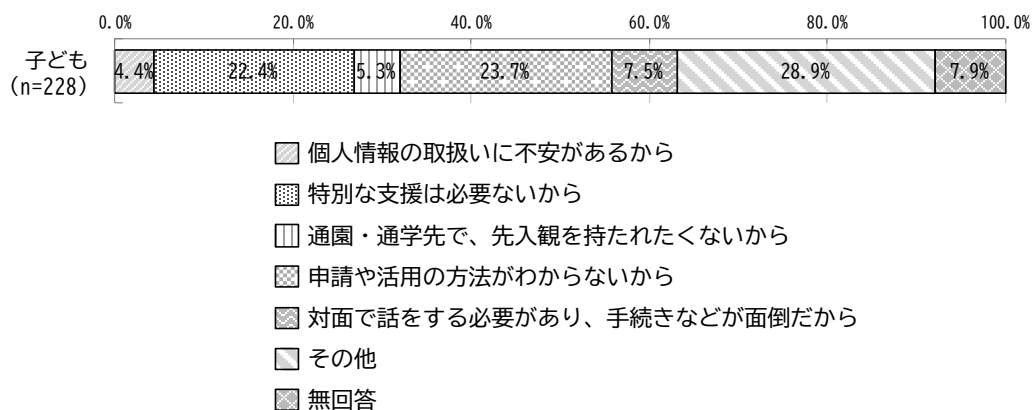
## クロス集計結果

通園・通学・通所先ごとにみると、特別支援学校小学部で「活用している」が他の通園・通学・通所先と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問23 「育ちのサポートカルテ」の活用状況				
		活用している	知らなかったが今後活用を検討したい	知っているが、活用していない	知らなかったし、今後も活用しない	無回答
子ども発達支援センター ゆりのき	89 100.0%	21 23.6%	41 46.1%	18 20.2%	6 6.7%	3 3.4%
区立認可保育所	44 100.0%	8 18.2%	18 40.9%	13 29.5%	5 11.4%	0 0.0%
私立認可保育所	67 100.0%	10 14.9%	31 46.3%	14 20.9%	8 11.9%	4 6.0%
認定こども園	15 100.0%	3 20.0%	2 13.3%	4 26.7%	5 33.3%	1 6.7%
認証保育所	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
居宅訪問型保育（自宅での保育）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居宅訪問型保育（障害児保育園）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
区立幼稚園	39 100.0%	11 28.2%	8 20.5%	12 30.8%	5 12.8%	3 7.7%
私立幼稚園	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
公立小学校（通常の学級に在籍）	79 100.0%	13 16.5%	27 34.2%	20 25.3%	17 21.5%	2 2.5%
公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）	150 100.0%	31 20.7%	64 42.7%	36 24.0%	18 12.0%	1 0.7%
公立小学校（特別支援学級に在籍）	41 100.0%	11 26.8%	16 39.0%	2 4.9%	11 26.8%	1 2.4%
特別支援学校小学部	47 100.0%	25 53.2%	9 19.1%	8 17.0%	3 6.4%	2 4.3%
私立小学校	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
公立中学校（通常の学級に在籍）	13 100.0%	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%
公立中学校（特別支援教室も利用）	15 100.0%	3 20.0%	5 33.3%	2 13.3%	4 26.7%	1 6.7%
公立中学校（特別支援学級に在籍）	12 100.0%	4 33.3%	3 25.0%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%
特別支援学校中学部	16 100.0%	3 18.8%	6 37.5%	7 43.8%	0 0.0%	0 0.0%
私立中学校	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
高等学校	13 100.0%	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	7 53.8%	1 7.7%
特別支援学校高等部	24 100.0%	0 0.0%	8 33.3%	3 33.3%	7 29.2%	1 4.2%
その他	24 100.0%	2 8.3%	16 66.7%	3 12.5%	3 12.5%	0 0.0%

### 問23-1 「活用していない・活用しない」理由をお聞かせください。

「育ちのサポートカルテ」を活用していない理由について、「その他」が28.9%と最も高く、次いで「申請や活用の方法がわからないから」が23.7%、「特別な支援は必要ないから」が22.4%となっています。



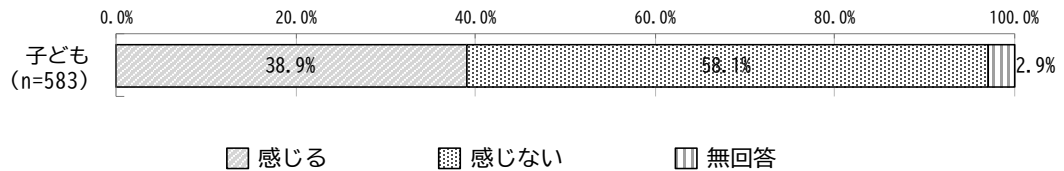
## クロス集計結果

通園・通学・通所先ごとにみると、子ども発達支援センターゆりのきで「申請や活用の方法がわからないから」が私立幼稚園以外の他の通園・通学・通所先と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合 計	問23-1 「育ちのサポートカルテ」を活用していない理由							
		個人 情報 の取 扱い に不 安が あ る	特 別 な 支 援 は 必 要 な い か ら	通 園 ・ 通 学 先 で、 先 入 観 を 持 た れ な い か ら	申 請 や 活 用 の 方 法 が わ か ら な い	手 続 き な ど が 面 倒 だ か ら	対 面 で 話 を す る 必 要 が あ り、	そ の 他	無 回 答
子ども発達支援センター ゆりのき	27 100.0%	1 3.7%	3 11.1%	3 11.1%	9 33.3%	2 7.4%	7 25.9%	2 7.4%	
区立認可保育所	18 100.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	6 33.3%	2 11.1%	6 33.3%	2 11.1%	
私立認可保育所	26 100.0%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	6 23.1%	1 3.8%	9 34.6%	5 19.2%	
認定こども園	10 100.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	4 40.0%	
認証保育所	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
居宅訪問型保育（自宅での保育）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
居宅訪問型保育（障害児保育園）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
区立幼稚園	20 100.0%	0 0.0%	4 20.0%	1 5.0%	6 30.0%	1 5.0%	5 25.0%	3 15.0%	
私立幼稚園	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
公立小学校（通常の学級に在籍）	39 100.0%	2 5.1%	18 46.2%	1 2.6%	4 10.3%	1 2.6%	9 23.1%	4 10.3%	
公立小学校（通級指導学級・特別支援教室も利用）	55 100.0%	1 1.8%	10 18.2%	5 9.1%	13 23.6%	7 12.7%	11 20.0%	8 14.5%	
公立小学校（特別支援学級に在籍）	14 100.0%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	
特別支援学校小学部	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	5 38.5%	1 7.7%	
私立小学校	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
公立中学校（通常の学級に在籍）	5 100.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	
公立中学校（特別支援教室も利用）	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	
公立中学校（特別支援学級に在籍）	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	
特別支援学校中学部	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	
私立中学校	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
高等学校	10 100.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	
特別支援学校高等部	16 100.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	5 31.3%	2 12.5%	4 25.0%	2 12.5%	
その他	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	

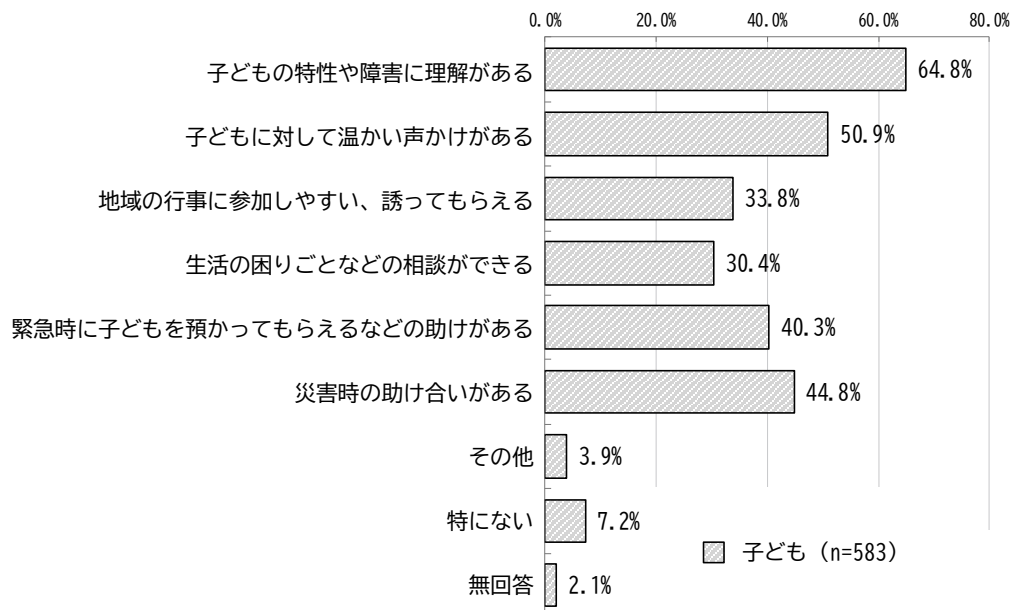
問24 あなた（主たる養育者の方）は、あなたの近所の人に、お子さんの育ちや発達について理解されていると感じますか。

近所の人から理解されているかについて、「感じる」が 38.9%、「感じない」が 58.1% となっています。



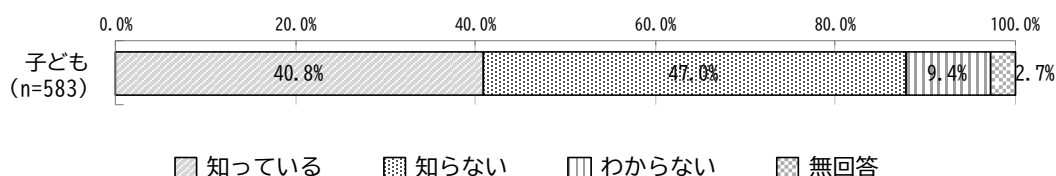
問25 あなた（主たる養育者の方）は、お住まいの地域がどのような地域であってほしいと思いますか。

主たる養育者が望む地域のあり方について、「子どもの特性や障害に理解がある」が 64.8%と最も高く、次いで「子どもに対して温かい声かけがある」が 50.9%、「災害時の助け合いがある」が 44.8%となっています。



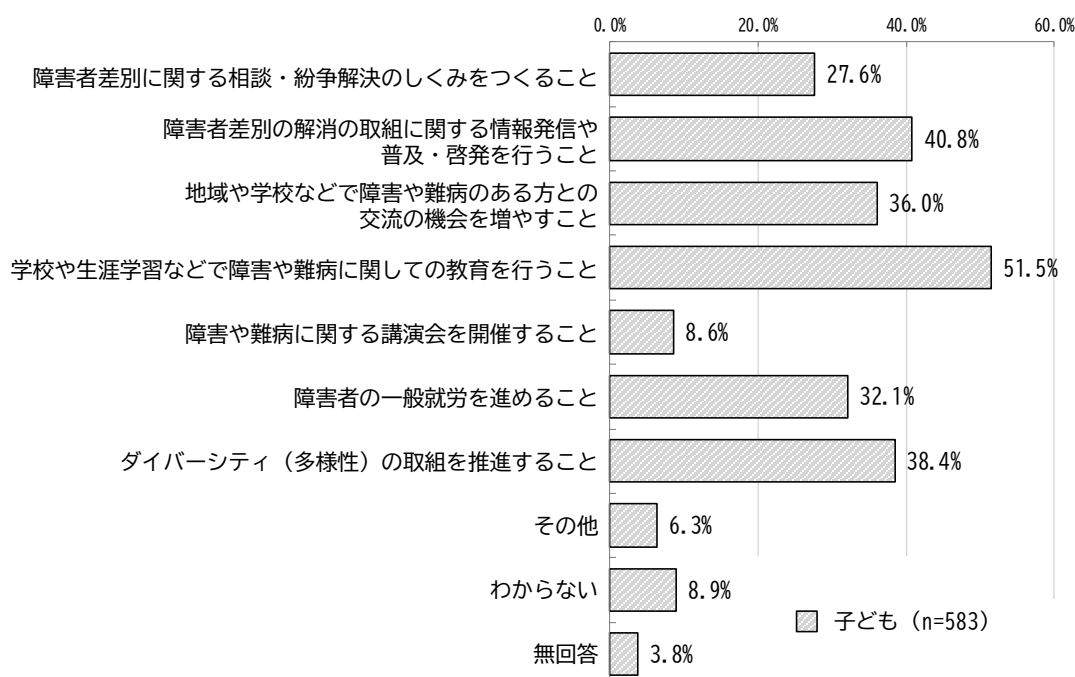
問26 あなた（主たる養育者の方）は、役所や会社、お店などの事業者が、正当な理由なく障害を理由に差別することを禁止し、合理的配慮（何らかの配慮を必要とする意思が伝えられた時に、対応すること）の提供を義務付ける「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を知っていますか。

障害者差別解消法の認知状況について、「知らない」が47.0%と最も高く、次いで「知っている」が40.8%、「わからない」が9.4%となっています。



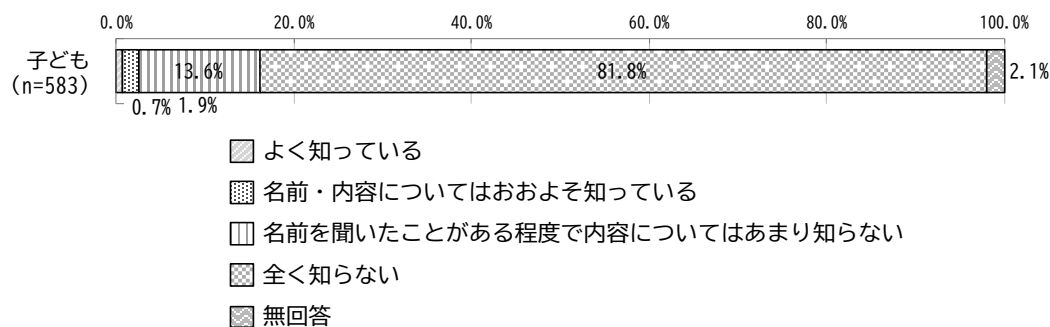
問27 あなた（主たる養育者の方）は、障害者差別の解消を推進するために、何が必要だと思いますか。

差別解消の推進に必要なと思うものについて、「学校や生涯学習などで障害や難病に関するの教育を行うこと」が51.5%と最も高く、次いで「障害者差別の解消の取組に関する情報発信や普及・啓発を行うこと」が40.8%、「ダイバーシティ（多様性）の取組を推進すること」が38.4%となっています。



問28 あなた（主たる養育者の方）は、「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」について内容を知っていますか。

「中央区障害者の多様な意思疎通手段の利用及び手話言語の理解の促進に関する条例」の認知状況について、「全く知らない」が81.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が13.6%、「名前・内容についてはおおよそ知っている」が1.9%となっています。



## 第1章 調査概要

## 第2章

調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

## 第3章

調査結果  
(④子ども)

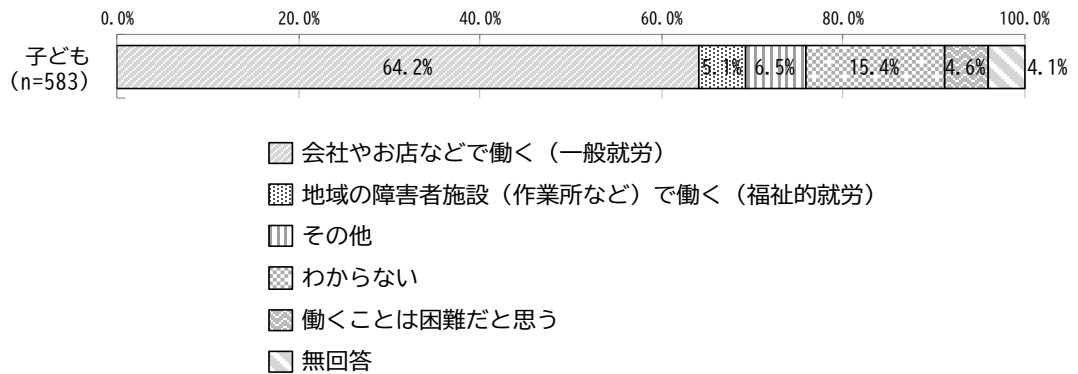
## 第4章

調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

## 7 子どもの将来について

問29 あなた（主たる養育者の方）は、将来、お子さんにどのようなところで働いてほしいと考えていますか。

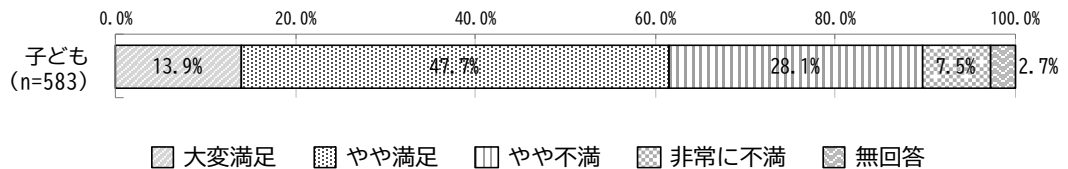
お子さんの将来の働き方の希望について、「会社やお店などで働く（一般就労）」が64.2%と最も高く、次いで「わからない」が15.4%、「その他」が6.5%となっています。



## 8 今後の区の実施について

問31 あなた（主たる養育者の方）は、中央区で実施している育ちに支援を必要とする子どもたちを対象とした施策について満足していますか。

中央区の施策・サービスの満足度について、「やや満足」が47.7%と最も高く、次いで「やや不満」が28.1%、「大変満足」が13.9%となっています。



### 第1章

調査概要

### 第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

### 第3章

調査結果  
(④子ども)

### 第4章

調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

## クロス集計結果

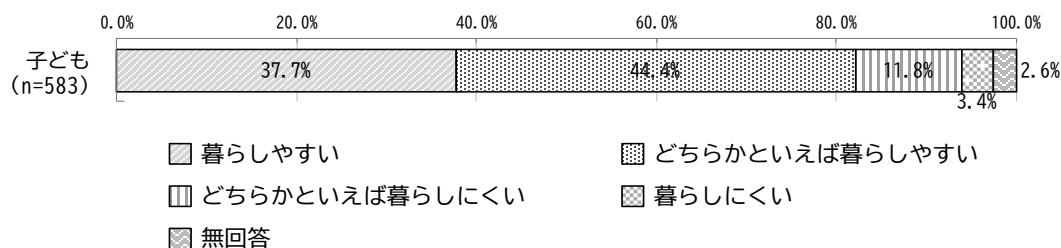
日常的に必要なとしている医療的ケアとして、回答が多い「経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）」や「痰などの吸引」が必要な方の中央区の施策・サービスの満足度は「やや満足」の人数・割合が高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合 計	問31 中央区の施策・サービスの満足度				
		大変満足	やや満足	やや不満	非常に不満	無回答
医療的ケアを必要としていない	473 100.0%	62 13.1%	225 47.6%	134 28.3%	37 7.8%	15 3.2%
医療的ケアを必要としている（※）	33 100.0%	3 9.1%	16 48.5%	9 27.3%	5 15.2%	0 0.0%
人工呼吸器管理（常時）	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
人工呼吸器管理（夜間のみ）	6 100.0%	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
人工呼吸器管理（その他）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
気管内挿管、気管切開	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
鼻咽頭エアウェイ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
酸素吸入	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%
痰などの吸引	12 100.0%	0 0.0%	7 58.3%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%
ネブライザー	9 100.0%	0 0.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう含む）	15 100.0%	1 6.7%	8 53.3%	4 26.7%	2 13.3%	0 0.0%
中心静脈カテーテル	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
皮下注射	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
血糖管理	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は自立）	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
定期導尿（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は自立）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
人工肛門（手技は介助が必要）	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%

※複数の医療的ケアを回答している方がいるため、「医療的ケアを必要としている」の回答数と「人工呼吸器管理（常時）」～「その他」の回答数の合計は一致しません。

問32 あなた（主たる養育者の方）にとって、区の障害児施策に限らず中央区での暮らしはいかがですか。

中央区の暮らしやすさについて、「どちらかといえば暮らしやすい」が44.4%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が37.7%、「どちらかといえば暮らしにくい」が11.8%となっています。



第1章  
調査概要

第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)



# 第 4 章

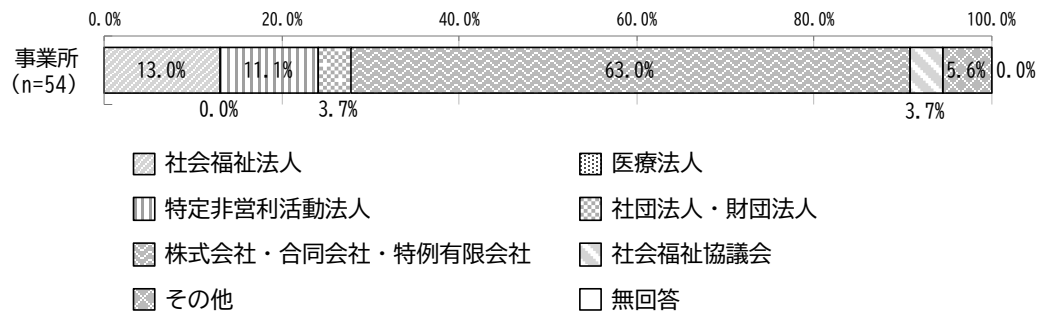
## 調査結果

### ⑤障害福祉サービス事業所

# 1 事業所について

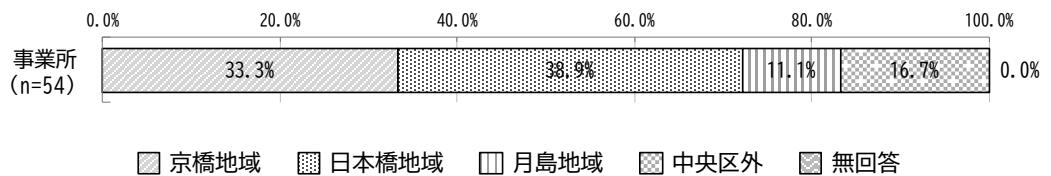
問1（1） 貴事業所の運営主体をお教えてください。

運営主体の種類について、「株式会社・合同会社・特例有限会社」が63.0%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が13.0%、「特定非営利活動法人」が11.1%となっています。



問1（3） 貴事業所の所在地をお教えてください。

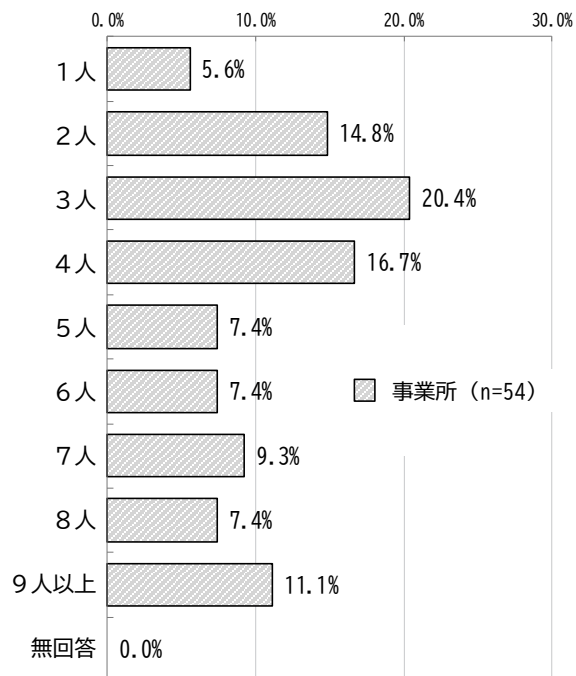
所在地域について、「日本橋地域」が38.9%と最も高く、次いで「京橋地域」が33.3%、「中央区外」が16.7%となっています。



問2 貴事業所の職員数について、常勤、非常勤のそれぞれ人数を記入してください。

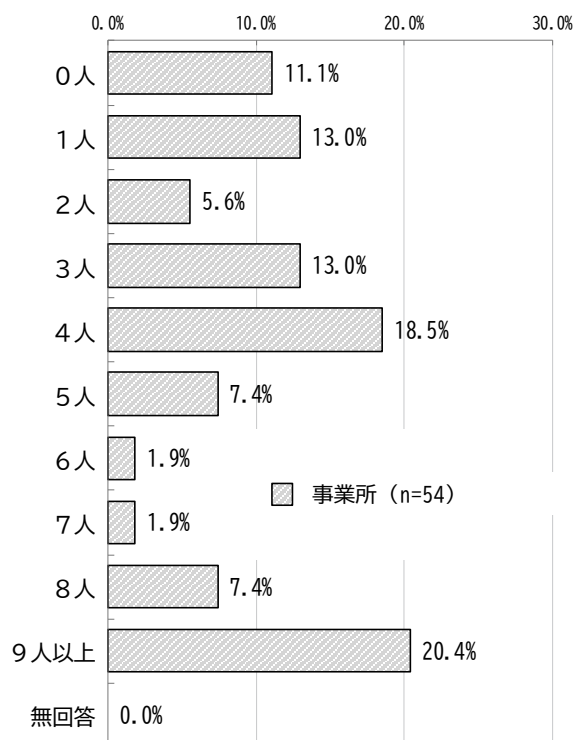
### ① 常勤の職員数

常勤の職員数について、「3人」が20.4%と最も高く、次いで「4人」が16.7%、「2人」が14.8%となっています。



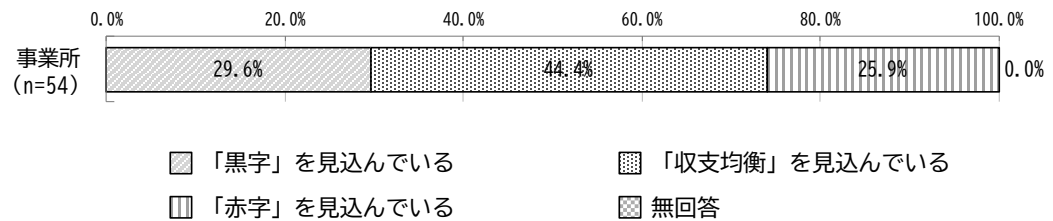
### ② 非常勤の職員数

非常勤の職員数について、「9人以上」が20.4%と最も高く、次いで「4人」が18.5%、「1人」「3人」が13.0%となっています。



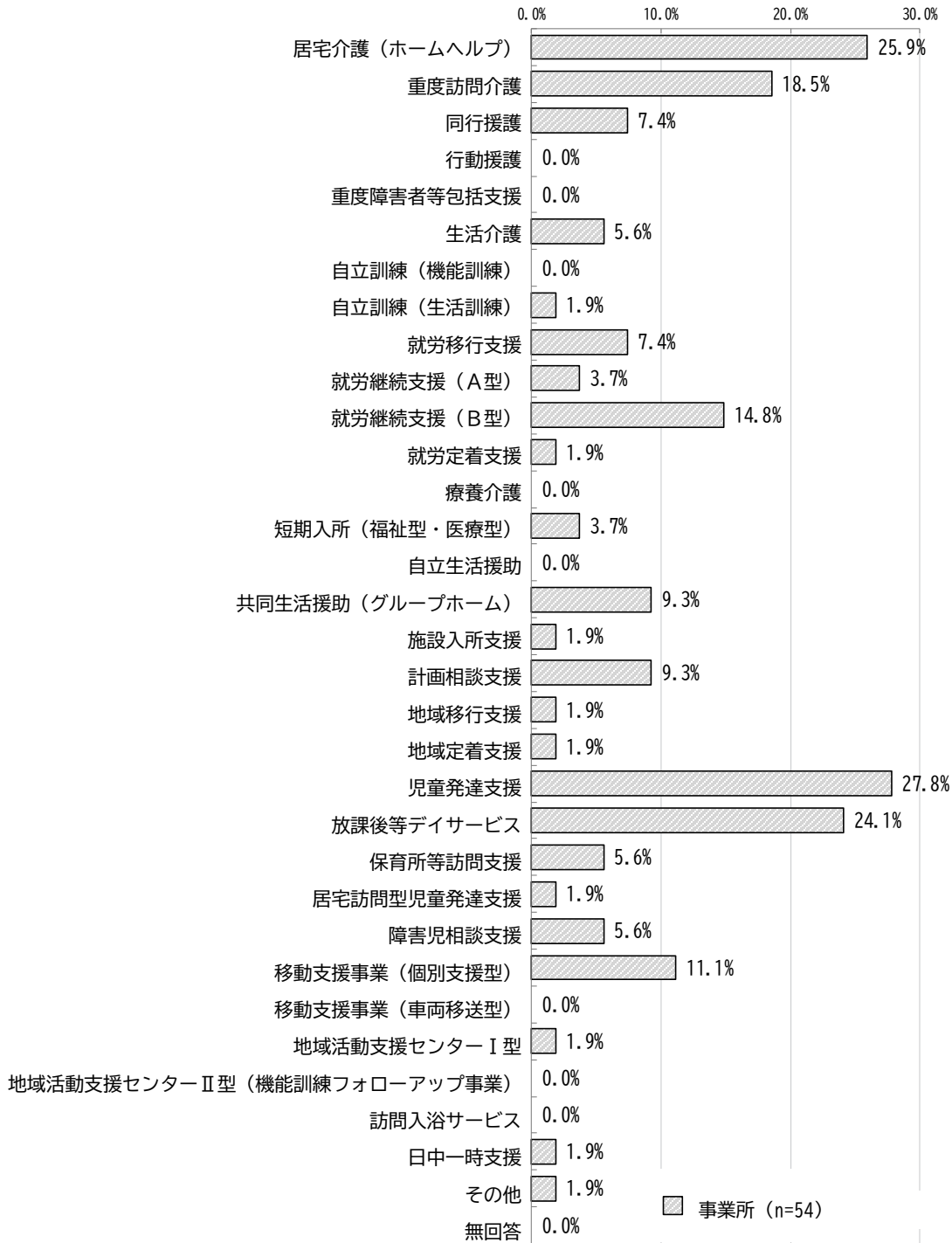
問3 貴事業所の今年度の収支状況（見込み）をお教えてください。

今年度の収支状況について、「『収支均衡』を見込んでいる」が44.4%と最も高く、次いで「『黒字』を見込んでいる」が29.6%、「『赤字』を見込んでいる」が25.9%となっています。



問6 貴事業所で提供している障害福祉サービスについて教えてください。あてはまる番号をすべて選んでください。

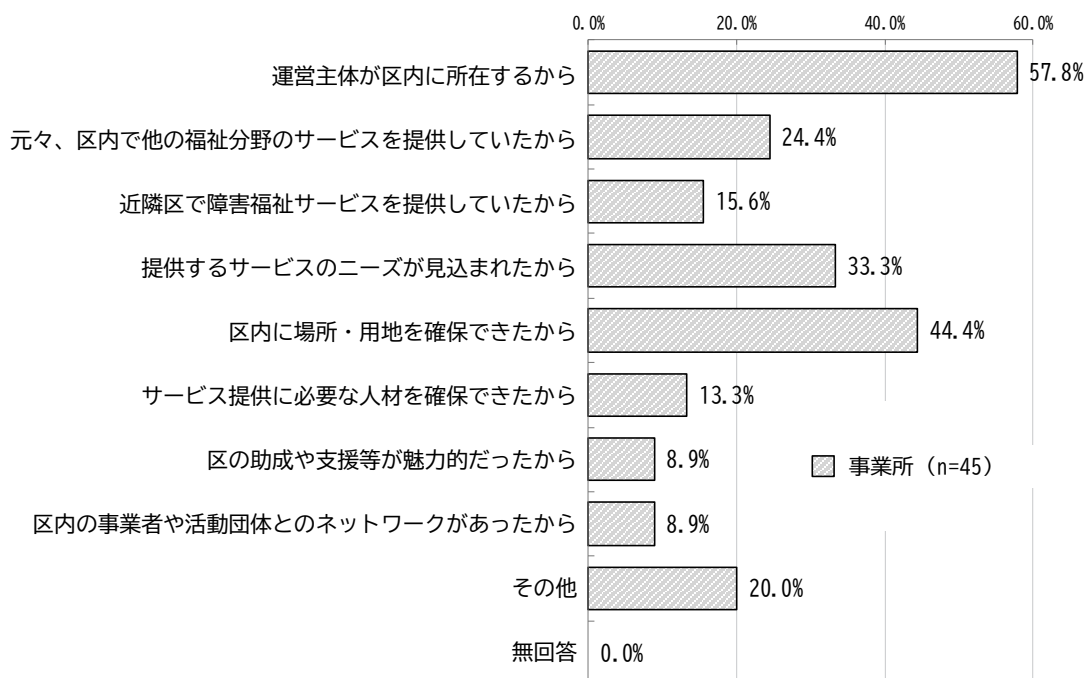
提供しているサービスについて、「児童発達支援」が27.8%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」が25.9%、「放課後等デイサービス」が24.1%となっています。



## 2 事業運営・サービス提供について

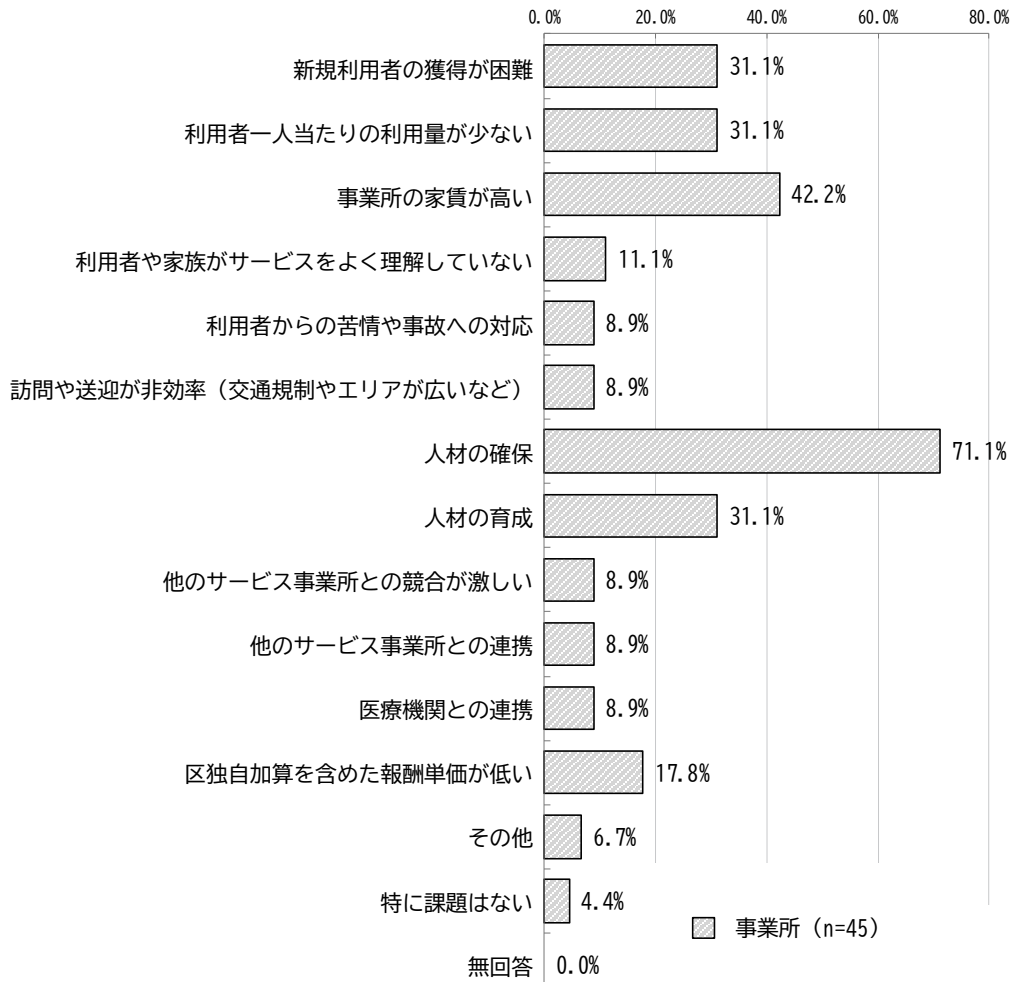
問9 貴事業所が、事業を運営する場所として現在の所在地を選んだ理由を教えてください。

中央区を選んだ理由について、「運営主体が区内に所在するから」が57.8%と最も高く、次いで「区内に場所・用地を確保できたから」が44.4%、「提供するサービスのニーズが見込まれたから」が33.3%となっています。



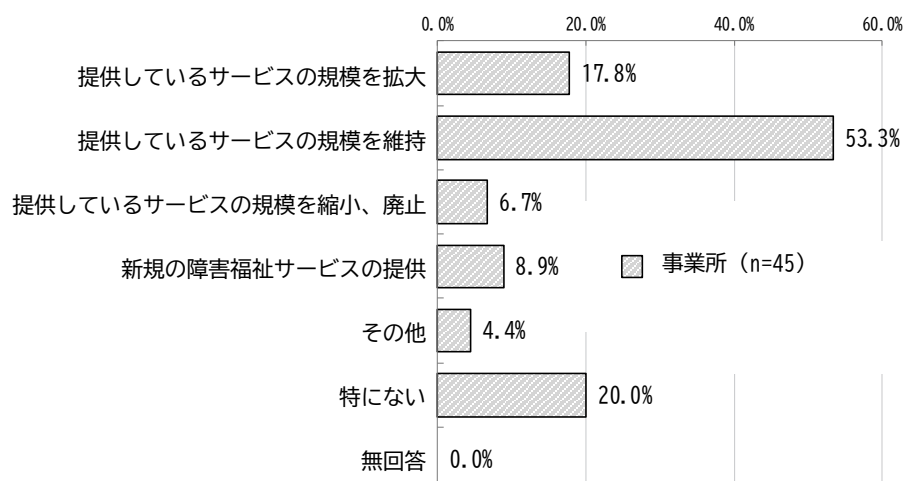
問11 現在、貴事業所が中央区内で事業を運営していく上での課題がありましたら、お教えください。

現在の運営上の課題について、「人材の確保」が71.1%と最も高く、次いで「事業所の家賃が高い」が42.2%、「新規利用者の獲得が困難」「利用者一人当たりの利用量が少ない」「人材の育成」が31.1%となっています。



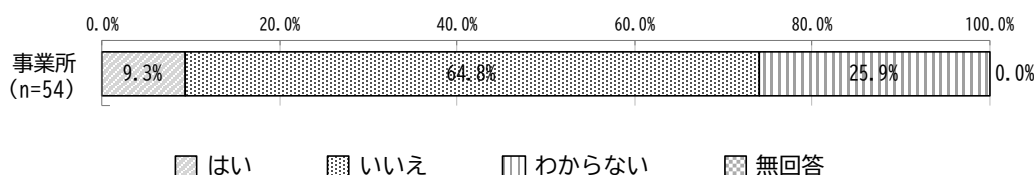
問12 中央区内で提供するサービスや事業運営に関して、貴事業所でご検討されていることや今後の展望がございましたら教えてください。

中央区内で提供するサービスや事業運営の今後の展望について、「提供しているサービスの規模を維持」が 53.3%と最も高く、次いで「特にない」が 20.0%、「提供しているサービスの規模を拡大」が 17.8%となっています。



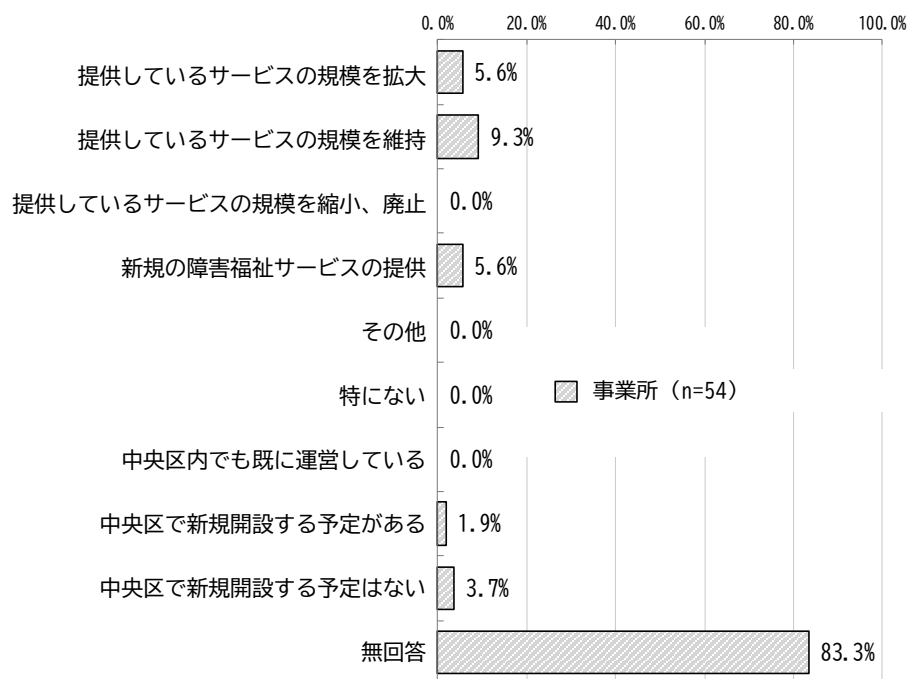
問13 重度心身障害児向けのサービスへの新規参入の予定はありますか。

重度心身障害児向けのサービスへの新規参入予定について、「いいえ」が 64.8%と最も高く、次いで「はい」が 9.3%、「わからない」が 25.9%となっています。



問15 提供するサービスや事業運営に関して、貴事業所（区外事業所）でご検討されていることや今後の展望がございましたら教えてください。あてはまる番号をすべて選んでください。

区外事業所が提供するサービスや事業運営の今後の展望について、「提供しているサービスの規模を維持」が 9.3%と最も高く、次いで「提供しているサービスの規模を拡大」「新規の障害福祉サービスの提供」が 5.6%、「中央区で新規開設する予定はない」が 3.7%となっています。



第1章  
調査概要

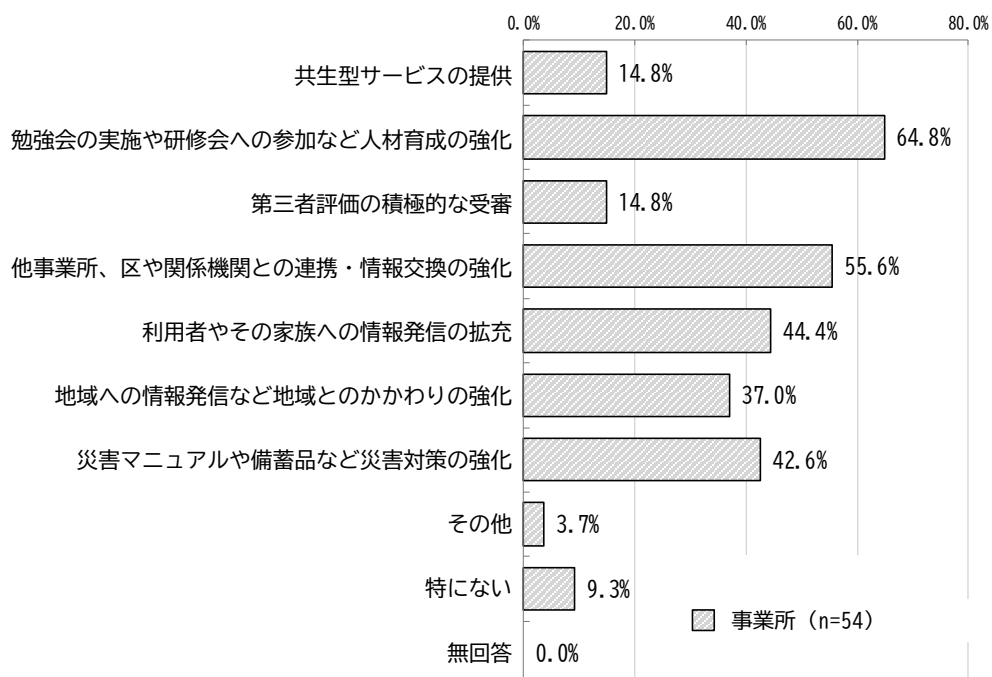
第2章  
調査結果  
(①身体障害者・難病患者  
②知的障害者  
③精神障害者)

第3章  
調査結果  
(④子ども)

第4章  
調査結果  
(⑤障害福祉サービス事業所)

問16 貴事業所で今後強化していきたいことがございましたら教えてください。

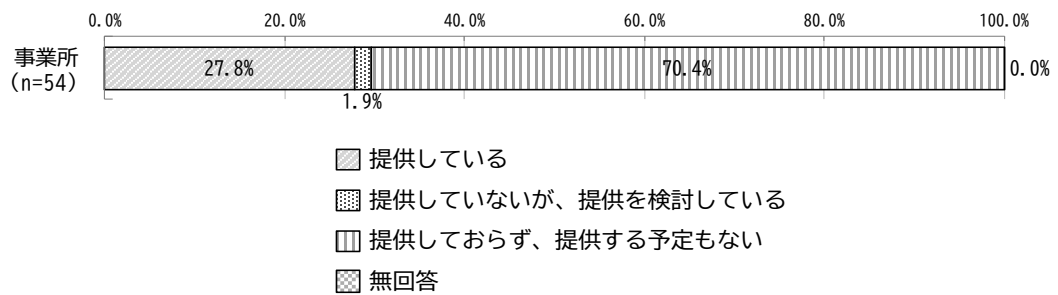
事業所で今後強化していきたいことについて、「勉強会の実施や研修会への参加など人材育成の強化」が64.8%と最も高く、次いで「他事業所、区や関係機関との連携・情報交換の強化」が55.6%、「利用者やその家族への情報発信の拡充」が44.4%となっています。



### 3 介護保険サービスについて

問19 貴事業所では、障害福祉サービスのほかに、介護保険サービスの提供を行っていますか。番号を1つだけ選んでください。

介護保険サービスの提供状況について、「提供しておらず、提供する予定もない」が70.4%と最も高く、次いで「提供している」が27.8%、「提供していないが、提供を検討している」が1.9%となっています。



## 第1章

調査概要

## 第2章

調査結果

- ①身体障害者・難病患者
- ②知的障害者
- ③精神障害者

## 第3章

調査結果

- ④子ども

## 第4章

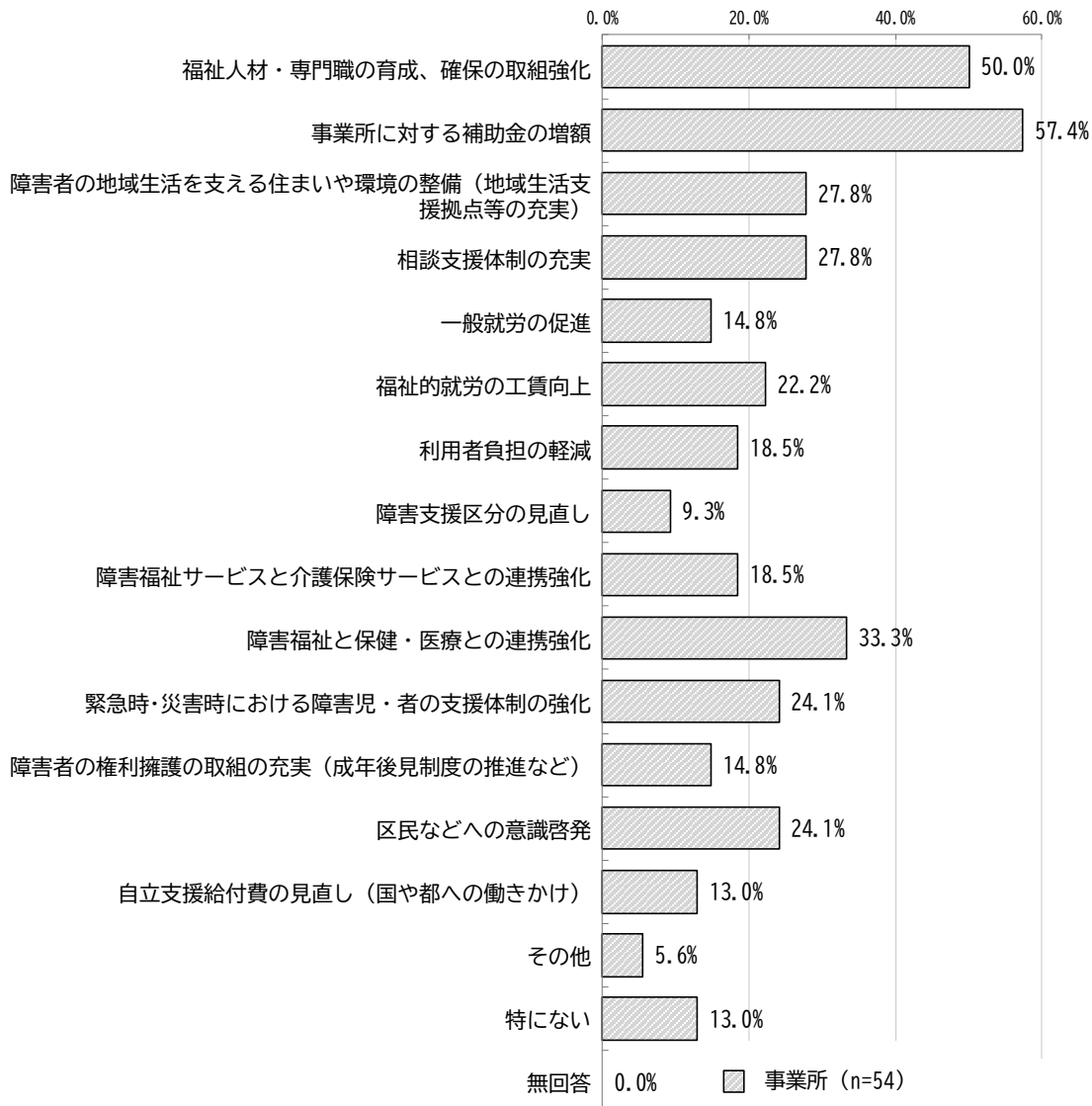
調査結果

- ⑤障害福祉サービス事業所

## 4 中央区への意見

問22 中央区の障害福祉施策について、今後、中央区にどのようなことを期待しますか。  
あてはまる番号をすべて選んでください。

今後、中央区に期待する障害福祉施策について、「事業所に対する補助金の増額」が57.4%と最も高く、次いで「福祉人材・専門職の育成、確保の取組強化」が50.0%、「障害福祉と保健・医療との連携強化」が33.3%となっています。





---

令和7年度  
中央区の福祉施策の充実に関する調査  
(中央区障害者(児)実態調査)  
【調査結果報告書(概要版)】

発行：中央区

編集：中央区 福祉保健部 障害者福祉課

住所：〒104-8404

東京都中央区築地一丁目1番1号

電話番号：03-3546-5389

調査機関：株式会社日本能率協会総合研究所

発行年月：令和8(2026)年3月 刊行物登録番号7-100

---





中央区